

卒業生が語る

# 合格への軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

|           |          |
|-----------|----------|
| 順天堂大医学部   | 2次合格     |
| 昭和大医学部    | 1期2次特待合格 |
| 聖マリアンナ医科大 | 前期2次正規合格 |
| 日本大医学部    | 2次正規合格   |
| 東京女子医科大   | 2次正規合格   |
| 北里大医学部    | 2次正規合格   |
| 愛知医科大     | 2次正規合格   |
| 岩手医科大     | 2次合格     |

1浪目のとき先生に質問するとか助けを  
求めにいくのが苦手だった、で、代官山、  
来てから人に頼れるようになって、  
先生とか親身になってくれて  
遠回りせずに、勉強することができた。

順天堂大医学部進学 長谷川 れい佳 さん(聖心女学院高校卒)



## 1 浪目のときは、すごく独り善がりな勉強ばかりしてて

長谷川れいかと申します。進学先は順天堂大学です。1次、受かったところは、岩手医科大学と愛知医科大学、杏林大学、北里大学、聖マリアンナ医科大学、女子医科大学、順天堂大学、昭和大学、日本大学です。はい。ちょっと想像してなかったです、私も。まさかここまで受かるとは。1浪目のときは、あの一、全滅だったので、こんなに受かるんだと思ってびっくりしました。母も、「代官山、すごいね」って、言ってました。「こんな受かるの？」つつて。すーごいびっくりしてましたね。

まあ、2浪になって、2浪が決まって、はい。それで、どこ行ってるのっていう話になるじゃないですか、塾。で、知り合いの方から、代官山 MEDICAL だったよって、いろいろ話を聞いて、ウィークリーとかマンスリーがあって、なんか「こまめに面倒見てくれたよ」「いい塾だよ」って聞いて、いろいろ聞いて、代官山 MEDICAL 行こうと思って、はい。

で、代官山、来て驚いたことは、やっぱり面倒見がとってもよくって、先生もとてもフレンドリーです。あの、結構 1浪目のときは、すごく独り善がりな勉強ばかりしてて。前の塾は、同じように少人数予備校だったんですけど、そもそも自習時間が大半だったんですよ、1日のうちで、午前と午後ちょっと授業で、あとはもうずっと自習とかそういう感じで、私もそんなに先生に、何ていうんだろう、すぐに行って、どうしたらいいですかって聞けるようなタイプでもなかったの、とにかく物理と化学を、ひたすら無我夢中で解くみたいな。なんか何も考えずとにかく、ひたすら、数をこなせば解けるようになるかなと思って、やっぱり考える力があんまり養われてなかったなって。で、そういうのもあって、やっぱり独り善がりな勉強になるので、得意科目の英語とか数学もどんどん落ちてしまっ。て。そういう 1浪目だったんですけど。なんか 2浪目になると、やっぱり先生との距離も近くって、授業中も結構、のぞき込んで見てくれたりするので、どうしても、距離、近くなるじゃないですか。で、そうになるとやっぱり、それ、それぞれ 4科目を均等にやろうっていう気持ちが大きくなって、先生方も毎日、全科目触れろっておっしゃっていて、バランスのいい勉強を 1年間することができたんじゃないかなって思いました。ノートとかのぞきこまれるのって、恥ずかしいっていうか、やっぱり。解けてないだろうなとか思いながらのぞき込まれるのは恥ずかしいですけど、でも優しいので、先生方みんな。

平野先生とか、薄先生もすごくのぞき込んで、アドバイスくれました。平野先生とかは私が結構、数学、ミスしてどんどん大きな失点につながってるっていうタイプでもあったので、ミスノート「作りなよ」とか言ってくださって、それから毎日、毎日、ミスしたことをノートに書き留めたり。毎日、書いてました。試験前はそ

れを見返して、ああ、しょうもないミスしてるなと思って。数学は本当に、どうしてこんな間違いするんだろうっていうぐらい、本当にあり得ないミスばかりして。月イチでマンスリーとか貼り出されるじゃないですか。やっぱりみんな結構、気にするので、上のクラスだとなおさら、上のクラスなのに、きょう、今回、何位だったねって、結構やっぱりみんなおっしゃるの…。メンタルは、やっぱり同じクラスの人と話し、話すじゃないですか。そういうのでやっぱり、同じクラスの人もうまくいかなかったときとか、やっぱりあるので、気持ちが分かってくれるですよ、地雷を踏まないっていうか、お互いに。なんかやっぱり気持ち分かってくれてるんだろうなっていう体でやっぱり話していると、自然とやっぱり元気つきます、それだけで癒やされました。同じクラスじゃなくても結構、仲良かったんですよ。お昼ご飯とかのときも話したりしてましたし。朝、直前とかは朝に過去問、一緒に解いたりしてましたし、解き方とか、今、これが苦手で、どうしたらいいのか迷ってるとか、そういうの結構、話してましたね。とってもプラスになりました、もう。本当にみんないい人ばかりで。友達の存在、大きかったと思います。仲良くしてた子たちは、意見交換してたからこそ、結構、言いやすかったです。

えっと一、山田君（東京慈恵会医科大進学：山田祐輔）とか、京極君（東京慈恵会医科大進学：京極政樹）とか、結構 2人とよく仲良くしてたんですけど、山田君とか京極君は、何ていうんだろう、私みたいにあんまりあたふたしないで、焦らないんですよ、で、問題一つ一つに、これはこうだからって考えて解いてるのを見て、あ、これ、私してないと思って。人のふり見てわがふり直すみたいな、そんな感じで勉強してましたね。人から得た部分もありますし、英語の勉強方法としては、分からない単語とか熟語とか出てきたら、すぐ付箋に書き出して。ワードノートみたいな、英語用のサイズのノートにどんどん、ぺたぺたぺたぺた貼っていった。





付箋を。それで行き帰りとか、ばあって見て頭入れて、また次の日も行き帰りの短い時間ではあって見てって感じで、隙間時間で結構、英単語は覚えてましたね。なんか付箋を貼って、で、覚えられたら剥がすんですよ。その作業がなんか自分の中でしっくりきてたっていうか、快感が。あ、終わったと思って剥がすみたいなの。長文は、読んだものを毎日、繰り返し読んでましたね。毎日です。毎日、長文は1ネタ、絶対、読んでました。授業でやったやつです。やっぱり英語は得意科目だったので、できる限り時間は割きたくなくて。そうになると、新しい長文じゃなくて、もう読んだ長文、授業で扱った長文を読んだほうが結構、効率がよくって。マーカーで前置詞とか全部、塗りつぶして、もう覚えちゃうぐらいに、赤シートをかざしながら、こうだ、確か次はこれだよとか思いながら、どんどんどんどん読み返すって。そうすると結構、熟語と単語は、何ていうか染み付くので、結構。マーカーだらけでしたね。長文は。前置詞はもう、はい。ほぼマーカー付けてって感じで。

### 苦手な物理は、寺澤先生の声でほっこりしました。

英語は、田中良平先生と、あと発音が独特な、三ツ橋先生。そうです、三ツ橋先生が印象的でした。三ツ橋先生は、すごい簡潔に教えてくださって。あの一、単語一つ出ると、それに派生して、これとこれがあって、これが出たらこれを覚えればいいって、何てんだろう。形をもう既に作ってくださってる。で、それが本当に勉強しやすかったし、私も、付箋にまとめる人だったので。それで結構、あっ、これが来たらこれ。っていう感じで書き留めて、私の性格にすごく合ってたっていうのもありますし、あと田中先生も三ツ橋先生と一緒に、派生したこと、難しいことでもたくさん単語、教えてくださって。あと豆知識とかも教えてくださって。結構、雑談がすごく面白かった印象がすごくあって。盆栽。盆栽の、あ、盆栽の雑談も面白かったです。はい、フフ。で、結構、長文の教え方もやっぱり熟語、うん。あの一、これは覚えといたほうがいい、これは覚える必要ないって、全部、言うてくださってたので。内容もそうですし、これは豆知識として覚えといたほうがいいよってこととかも全部、教えてくださってたので。そういうの、私、ちょっと常識に欠けていたって・・・いうのもあって、すごくありがたかったです。あ、石井先生は、毎回毎回、授業、始まる前に、勉強方法とかその時期に合ったアドバイスを必ずしてくださって。それを毎回よく私、聞いて参考にしてたので、すごくよかったなって思いますね。全科目、毎日、触れることとか、緊張することは、全く悪いことじゃないとか、勉強してる証拠とか、そういうことを言うてくださって、日々の勉強のモチベーションにもなりましたし、心の余裕にもつながってたっていうのもあります。一番前にいました。はい。確か一番前にずっといまし

たね。あの一、過去の先輩の、合格の軌跡とか見て。前、前がいいですよっていうのを見て、じゃあ途中から前にするより最初っから前にしちゃったほうが絶対、気も楽だと思って、一番前に最初っから座って、はい、当てられました。ウフフ。すごい緊張しました、なんか。答えられないときもありましたし、やっぱり答えられないと恥ずかしいじゃないですか。周りもいるわけですし、クラス授業なので、やっぱり記憶に残るんですよ、そういうのって、間違えたとき。そのときは本当、鮮明に、よく覚えてましたね。

数学の先生はやっぱりヒラパンと薄先生。ヒラパンは、マンスリーとかなかなか取れなかったとき、いつもヒラパンに、今回も低かったですっていつて報告しに行って、結構、慰めてもらってました、優しいので。ウフ、「次、次」っていつて。あ、「ミスを減らしなよ」つつて。「ノートを書けば大丈夫だから」とか。結構、言うてくださいましたし、そういうのもあって。あと薄先生は、私、確率がすごく苦手で、苦手なものをとことんプリントくださいましたし、すごいそれをいつも解いて。で、やっぱり確率ってやっぱり難しいんですよ。苦手な人からすると、なんか考え方がなかなか身に付かなくて。分からないんですけど、まあ、確かにそうなんですけど、まあそれで結構簡潔に、簡単に教えてくださるのがすごく私にとっては、その確率の問題の解き方、落とし込みやすかったなっていうのはすごくありますね。あと物理は寺澤先生。マンツーとかも、こんなのも分かんないのかっていうレベルの質問をいつもして、何ていうか、そういうあほな質問でもしやすい先生だったんですよ、私にとってすごく本当に何でも聞ける先生っていうか。なので、やっぱり物理が苦手科目だった私にとっては、こんなこと聞いてばかだっと思われるだろうなって質問も気兼ねなく聞ける先生。基礎の基礎からやってくださって。結構やっぱり基礎から教えてくださったとき、意外と抜けてることが多くって。力学とか。なので、そういう抜け落ちてたところを一つ一つすくい上げるっていう意味で、すごくいい先生でした。いやあ、楽しかったです。とっても。なんか。もう受けてるだけ、声、聞いているだけで楽しいですし、なんか数学受けながら、寺澤先生の大きな声がやっぱり聞こえてくるじゃないですか。ほっこりしたりして。最初は、寺澤先生、こんな先生いるんだと思って、すごいキャラ濃いっていつていうか、怖そうだなって最初、思ったんですけど、質問とかはちょくちょくしてて。レギュラーの、物理夜間のやつしか、演習のときしか寺澤先生のときは受けてなかったんですけど。

### お楽しみにしててくださいね、って順天堂の面接で言われた。

あと、面接対策と小論文。もう本当に大事だなって思ってた。私、1浪目まで全く、その、面接対策とか小論文対策とか受けたことがなかったんですよ。全く受けたことなくって、そういうもんだと思ってしまってた。



うーん。で、代官山 MEDICAL 来て、小論文と面接対策、受けて、初めて。4 月から受けて。で、小論文とか、書き方、本当に全く分からなかったんですけど、先生が本当に、すごく簡潔に教えてくださって、難しく考えなくていいんだなって初めて気付いて。そこから小論文におじけづかなくなったっていうか。もともと国語がすごい苦手だったので、小論文……。小論文、全然なってないだろうなって思いながら、代官山 MEDICAL に来てたので、小論文受けて本当によくなったって思いましたし、あと面接の授業受けて、一から教えてくださって、それで本番、面接、すごくなんの失敗もなく切り抜けられて、すらすら迷うことなく答えることができました。なんか順天の面接のときに、やっぱり、うーん。「小論文に 800 文字、加えるとしたら、何、加えますか」って、聞かれて。ええっと思って。あの一、一応、面接で、過去の面接、聞かれたことを全部ピックアップして、こう答えたら、こう聞かれたらこうって全部、準備万端にしてたんですけど、その質問は想定していなくて、その回答を用意してなくて。そのときにヒロ先生の授業、思い出して…。たしか、京極君が確か隣で、あの一、今、500 文字がそれぐらいで書いてると思うんですけど、本番のときにもっと多く書けって言われたら何書けばいいんすか、みたいなことを隣で聞いてたんですよ。で、それ聞いてて、で、ヒロ先生が、いや、なんか具体例を、自分の体験談とかを一つ二つ増やせばいいだけの話だよみたいな、「そんな難しく考えなくていいんだよ」って言うてるのを、すごく、思い出して、それで、迷うことなく自分の体験談、具体例を二つぐらいすぐに言えることができて。そう、そうですね、それで面接、受けた後に、いやあ、代官山で対策しといて本当によくなったなって心底、思った記憶が今でも覚えています。いや、本当にそうですよ。



いやあ、あの一、正直、順天堂受ける前もやっぱりどうしても、2 浪だから受からないだろう、受かるのかなって、思ってた。でも 1 次、受かったときは本当にうれしかったですし、まあこのまま 2 次も受かればいいなとは思ってたんですけど、やっぱり可能性が低いだろうなって思ってたので。でも、なんか、面接の終わりのときに、面接官の先生が、「楽しみにしてくださいね」っておっしゃったんですよ。で、楽しみにしててくださいねを言い掛けてたんですよ。なんか、「楽しみにして」。みたいな感じだったので、あっ、これもしかしたらいけるのかなと思って、でも、でも言い掛けてたから、もしかしたらなんか希望を持たせないほうがいいなと思って言っただけなのかなとか、悶々と考える日々でした。すごい考えてました。

## 2 浪目の自分に、コンプレックスがあった。

本当に、代官山に入ってなかったら本当に今の自分はないなって、すごく思います。本当に、1 次こんなに受かるって思ってなくて、2 次もこんなに受かると思ってなくて。やっぱり 2 浪っていうコンプレックスが自然と、なんか心の中であって。いや、私、恥ずかしいっていうか、受かりにくいのかなあって、やっぱり思っちゃう自分がいて。代官山、入った初期ぐらいは、M2 の周りは 1 浪ばかりで、2 浪がいなかったの、なんで、この人たちよりも、本当は、2 浪である分、もっと頑張らないといけないし、詰め込まないといけないって思ってたので。今、思うと結構、自分でプレッシャーかけてたのもあったんですけど、はい。本当に、やっぱり 1 浪目のとき、独り善がりな勉強をしてしまった自分がいて、で、代官山 MEDICAL 来て、そういうのがなくなって、先生とか、友達もたくさんできて、それで勉強の仕方が自然と改善できるようになりましたし。何ていうんだろう。コンプレックスは抱いてなかったんですけど、M2 は、やはり周りが 1 浪ばかりだったっていうのはすごい大きいと思いますね。そういうのでやっぱり気にしちゃってました。

1 年で本当に、苦手科目から、全く逃げなくなったっていうのがすごく大きくなって、やっぱり苦手科目であればあるほど考えることって大変じゃないですか、問題、解くときに。そういうのを本当に逃げてきてたので、この。無意識にやっぱり苦手を避けて、うん。そうなんです、だから代官山、入って、じっくり考えるようになって、授業中も。いくら 1 科目が得意だとしても、結局は総合点で決まるっていうのをよく聞かされていたことと、あと、やはりマンツーマンでいい、自分ができないことって本当によく分かるじゃないですか、マンツーマンを受けると、何がだめで何がわかっていないのか、そういうので、今の勉強じゃあ全く無理、駄目、なんか私の考え方が駄目だと思って、で、一問一問、焦らずに、時間をかけてじっくり考えるようになりました。



### 後輩へのアドバイス。

一つ目として、しないほうがいいよって思うのは、フフ、独り善がりの勉強をしちゃ駄目。さっきからずっと言ってるやつ。いや、独り善がりの勉強になると、いろんな参考書とかいろんな問題集に手出しちゃうんですよ。それ本当によくないんで、一番しちゃいけないことだになって。1浪目のとき、してました。で、2浪目になって代官山の教材だけを解くようになって。その全部、捨てましたね。アハ、はい。処分して捨てました。代官山の教材一本にして。代官山の教材を繰り返し、繰り返し解くっていう感じです。

二つ目は、諦めないこと。私、2浪だったんで、やっぱり自信がつきにくいんですよ、どうしても。やっぱりなかなか自信つけることってコンプレックスあるとできないと思うので、自信つけるためには本当に勉強あるのみにって感じで。どうしようって、ただ落ち込むんじゃなくて、落ち込んでたら本当に時間の無駄なので。そういうときはもう無心で、自信つけられるようになるまでやるって、心、自分でもう最初っから決めちゃったほうが1年持つと思いますし、気持ち的にも。本当に気持ち大事だと思うので。そういう意味で、諦めずに目の前のことに集中する。寄り道せずに。それが本当に大事だと思います。

三つ目は、人に頼ること。も、とても大事だと思います。なんか私が1浪目のときとか、現役生のときもそうだったんですけど、先生に質問するとか助けを求めにいくとかが苦手っていうか、あんまりしたことがなかった、したことがなくて。で、代官山、来てから人に頼れるようになって、先生とか。やっぱり距離が近いので。それに、本当に親身になってくださいますし。親身になってくれたことで、遠回りせずに、勉強することができたってすごく思うので、できるだけ、おじけずに人に頼りまくったほうがいいなって思いました。周りの友達を見てても、やっぱりよく先生に質問しに行ったり、頼ったり、コミュニケーションを取ってる子って、やっぱり勉強法がすごい確立されてましたし、はい。なので。はい。

最後に、ま、やっぱり、誘惑に負けないっていうか、自分との闘いじゃないですか。お昼休みも、自分で、もうこの時間になったら勉強しようって決めて単独行動。自分を甘くしないで、5分で食べ終えて。おにぎりをバァーって食べて、それですぐ自習室に戻ろうとか、そういうの徹底してた記憶はすごくありますね。スマホは封印してました。はい。封印。塾にいるときは、もう全く触らないで。家では見ちゃってましたね。だから家に帰ったらもう、全く勉強しないで。でも疲れてるので、もう寝たいって、なったので、そんなにスマホはいじる時間はなかったかなって思ってた。自分の中でも、なんか7時間寝たら、次の朝、頭がさえてるなって分かったたので7時間、毎日、寝てました。朝、早くから来て、6時半とかかな。6時45分までには来れるように頑張ってた、途中6時45分ちょっと

過ぎちゃったときもあったと思うんですけど、直前期とかは、もう6時15分ぐらいから勉強してって感じで。夜も10時ぐらいまで残ってって感じの生活で、起きてすぐ行くって感じ。





卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

東京慈恵会医科大 2次正規合格  
日本医科大前期 2次合格  
聖マリアンナ医科大 2次正規合格  
愛知医科大 2次正規合格  
東北医科薬科大医学部 2次正規合格  
国際医療福祉大医学部 2次合格

実際、慈恵は医科歯科落ち、千葉医落ちとか、  
慶医落ち、ざらっすね。本当に行きたい所の  
1個上、2個上ぐらいはもう周りに  
言っちゃうみたいな、感じでやってみました。

東京慈恵会医科大学進学 京極 政樹 君(浜松西高校卒)



慶應まで持たなかったです。もうちょっと、長過ぎましたね。さすがに。

進学先は東京慈恵会医科大学で、2 次正規だったのが、愛知と東北医科薬科、あと聖マリも正規です。あと 2 次通ったのが国際医療福祉と日医と、慈恵ですね。全部で 5 個ぐらい、あ、6 です。1 次は愛知、国際、東北、聖マ、東邦、えー、日医、順天、昭和、日本大学、あと慈恵。10 個ですよ！はい。うーん、慶應行きたかったんですよー。まあまあ、ちょっと慈恵の 1 次終わってから、うせちゃって。もういつか、みたいななっちゃって。ちょっと慶應まで集中力続きませんでしたね。持たなかったです。1 次結構出て、正規も出たりして、さすがに、もうやったなってなっちゃって。

**浪人が決まって、今年で結果を出さんといかんだろうって、東京に行くのを決めた。**

いや一応、高校では特進科みたいなのがあって、理系と文系合体でクラスなんですけど、一応特進ではあったんですけど、1 次一個も出てないです、はい。そう。現役のときは本当にポンコツでした。本当に。まじでポンコツでした。まあ、なんだかんだ受かると思っちゃってたんですよ。ちょっと夢見過ぎ？（笑）。今年のやった量とかストイックさとか比べたら全然。なんかやってないと根拠のない自信っていうのがあって、そういうもんっすね。いける気がしてました。合格最低点見て、いけんじゃん？、みたいな。点数だけ見て行ったら、なんか今年の点数めっちゃ上がってて、あのままだったらまあ余裕で届かなかったですね。

地元で、河合塾行くか迷ってて。その、河合塾に比べてまあ、金にかかるじゃないですか、こっちのほうが。でも結果は出さんとまずいだろうと思って、まあそこはやるって決めて来ましたね。もう俺東京行くわって。これで結果出せなかったら、さすがに地元帰れんなと思ってその分やった、まあやるからには、ね。まあなんか、あんまレビューはちょっとできなかったかも。まあそうっすね。

代官山は、どの先生とも距離が近い。いつもたくさん先生いるし、まあ、生徒一人あたりの講師の数が違うからだと思うんですけど、その距離が近いっていうので授業中も質問聞けるし、講師室にも質問行きやすく結構行ってましたね。大手とかだと多分、質問とか行かないタイプなんで、近い距離になってくれてないと、そもそも質問とか行く気にならないし。それにめっちゃ講義じゃないですか、いっぱいの人の中自分がいて、そういうのでやっていけるかなって思って。でこっち、代官山を選んで、来たら、なんか。いや、なんか最初入ったときに、深井（東京慈恵会医科大進学）と山田（東京慈恵会医科大進学）と大塚（東京医科大進学）が髪染めてて。いや、ちょっと、東京やばって思って。ハハハ。東京やべーな、入るとこ間違えたか、みたいな、普通に。怖いなって。でも、すぐ黒に戻してましたよね。雰囲気的に、違いますもんね。

物理で失敗。あー、落ちたなと思ったものの、まあちょっと何とかあと頑張るか切り替えた慈恵受験だった。

いや、でも過去問はいけたんすよ、めっちゃ。で、あ、もう慈恵は物理で何とかするしかないなとか思って、試験行ったんすけど、物理が難しかったんですよ。ぶっ殺されて。石井先生が、一般的には慈恵は化学先やれって、でも物理が得意な奴は物理先やれって、おっしゃってたんで、もう俺は物理だろうって思って、物理から行ったら、物理の大問 1 がむずかったんすよ。終わったと思って。落ちたって。ハハハ。落ちましたーって思いながら、半分、力学の単振動っていうか、バネと自由落下みたいな問題で。いや、なんか最初はただの自由落下なんですよ。だけど設定がいろいろ難しくて、座標とか置かれてて。そこで読み違えて、大問 1 が多分、3、4 割ぐらいしか解けなくて、やっぱーみたいな感じになって、そのメンタルで大問 2 も計算が汚くて、小数の。それも多分できてなくて、まだ答え見てないんですけど。で 3 もなんかどっかの…、昭和の過去問でなんか同じような問題あったっぽいんですけど、もう…。まあ物理は手応え的には 3、4 割で、あー、もうこれ落ちたなって思って、過去問だと化学は良くて半分ぐらいしかいかなかったんですけど、まあ化学行ったら、まあ意外と耐えれたかなみたいな。そこそこできて、まあ多分半分は行って、まあ 6 割ぐらいですかね手応えは。で、まあちょっと何とかあと頑張るか、みたいな。数学と英語、数学できるか分かんないけど、みたいな感じで行ったらまあなんか。数学は大問 3 の整数問題がほぼ捨て問みたいな感じで、多分、解ける人、少ないのかなっていう…。英語は、まあ 6 割ぐらいですかね。はい。合格最低点は 50 パーぐらいで。なんとかうまくいきましたね、慈恵は。はい。いや、自分自身も慈恵が。そもそもこんなに受かるとは思わなかったんで。6 人すよ、代官山。まあでも、慈恵より正直、日医のほうがきつかったっすね、やってた感じは。はい。英語、あれ。いやー、もう読む気、うせましたね、長文長過ぎですね。おい、知らねーぞ、なんでこんな長文、長いんだってなって。しかも長文の後、作文あるじゃないですか。作文でこのことについては書くなって、書かれてた内容で、作文書いてたんですよ。なんかもう長過ぎて集中力切れちゃって、で、アクセントとか解いた後に、あの作文。むずかったです、自分には。

**初めは萎えたけど、落ち込むのは効率よくねえなって思って、順位に固執はしないように、切り替えた。**

うーん。何回目だったかな。なんか 1 回宮永さん（慶應大（医）進学）が全体のランキング 2 位取ったときに、お、次は俺頑張ろっかなって思って、で、それ終わってまあ、あんま良くなくて、まあそっからはまあ、よし、切り替えてこう、みたいな。切り替えました。はい。



まあマンスリーの順位はそんな…。そんな固執はしてなかったと思います。はい。実は 2 回目のマンスリーの後だけはへこんで、萎えて。それで、萎えるのをやめましたね、そこで。もうなんか、落ち込むのやめようって思って。塾で勉強してる時、自習してる時に萎えるのはあんま効率よくねえなって思って。いや、もうなんか、まあ、どうせマンスリーだしみたいな。最後、結果、出しゃいいだろ、みたいな。そんな感じになりました、途中からもう。よし、切り替え切り替え、みたいな感じですね。その切り替えが良かったのかもしれないですね。でも、マンスリーのあとに、見直しはしてましたね、すぐ。教室でみんなも解いてましたね。それはやってみました、島田（順天堂大医学部進学：島田泰隆）、清水（東京慈恵会医科大進学：清水遥）、あと長谷川さん（順天堂大医学部進学：長谷川れい佳）もっすね。みんなで、どう解いたとか、なんとか言いながら。

### 合格座談会での先輩の話を聞いて、俄然やる気に。

まあ、さすがに遊び行く所とか知らないんで。まあちゃんと来てましたね、塾には。その最初、（合格者）座談会、終わって鹿山先輩（東京慈恵会医科大進学：鹿山竜輔）の話聞いて、そっから一時期、頑張って 6 時台に来てたんですけど、ちょっと挫折しましたね、途中で。もう本当に頑張ったんすよ、あの一、前期だったかな？鹿山先輩がなんか、6 時台に来てたって話してて。俺と同じ寮じゃないっすか。で、なんか頑張ってたって言ってたんで。やっべって思って。そのぐらい頑張らないと慈恵いけないのかって思って。いや、もう慈恵には受かろうと思ってたんですよ。まあ、あわよくば慶應みたいな感じで思って。で、なんかあの一、鹿山先輩が慈恵行った先輩の話も聞いて、じゃあ鹿山先輩の後を追ってこうかなと思ってやりましたね。そ



の（合格者）座談会の後は頑張りました（笑）。

### 寮は広くて、居心地良かったです。

寮のベッド好きでしたね。はい。居心地良かったです。ベッドでかいつすね。いや、今住んでる所は本当はシングルなのにセミダブルのマット買っちゃったんすよ。で、ベッドの台座から出ちゃって。びろーんみたいな感じになってますね、今。代官山クオリティーで持ってくと、はみ出しちゃって。あー食事付寮めっちゃ広かったなと思って。いや、もう一回戻りてーみたいな（笑）。寮良かったです。寮はあの一、朝ごはん、最初、食べてたんですけど、なんか鹿山先輩は朝ごはん食べなかったって言ってたんで。で、もう、やっぱ悠長に食べてちゃ駄目なのかって思って（笑）。で、朝早く来てたときは食べなかったんですけど、朝ちょっと無理ってなって食べてから来るように。でも直前期はまた食べなかったです。直前期食べずに、何となく。ハハ。めっちゃ気分屋です。朝ごはんはコンビニでいつも買うおにぎりを買って、それを食べながら化学のノート見たりとか、朝の過去問、解きながらおにぎり食べるみたいな感じにして、それがルーティーン。周りも早く来てやってたんで。まあ意志弱いほうなんで、うん。意志は弱いっすね。んー、ここ（代官山 MEDICAL）は周りがやっぱやってるから感化されるっていうか。んー、大手だったたらちょっときつかったかもしれないです。周りに流されて、絶対、途中で遊んじゃってました、きつと。うん。

### 覚えちゃうくらいテキスト繰り返し読んだ。毎日追われてる、間に合わねえと焦りながら、面倒くさいと思いつつも、受験で戦えるようにならないと、って思ってやってましたね。

なんかやることを決められない人間なので、そのなんか、授業いっぱいあったから、なんか復習する内容もいっぱいあって、まあ課題もあって、出されたのを、やっぱそう、復習しなきゃいけない、やばいみたいな感じの焦りを覚えるときが多々あったので、そこでちゃんと復習できてたのが良かったのかな。結構、追われてるって、間に合わねえって。夏ぐらいに追いつくかと思ったんすけど、いやー、最後まであんま追いつききれなかった感がありますね。まあなんか、完璧を目指すのは途中で諦めました、はい。なんか取りあえず解けるようになろうみたいな。なんか取りあえず受験で戦えるようにならないと、って思って、その完全理解というより、なんか受験でよく出る内容を理解できる、受験で解ける範囲の理解に変えましたね。数学のテキストなんか、前期のだけやるとかじゃなくて、後期のテキストとか、すっげー面倒くさいと思いつつもやってました。なんかもう 3 回ぐらい解いた、ん？いや解かされた。うん。これもう俺、解き方知ってるし、うっぜーみたいな感じで思いつつも解いてましたね。覚えるぐらいまでやっちゃった感じです。それに 2 学期

は演習増えて、途中からテストになったじゃないですか。あのテストの問題は解けるようにしよう、みたいな感じにしてみましたね。プリント 3 周したんですよ。だからまあ、覚えちゃいますよね。何ていうんですか、自分が前までやってた方法で解けて、解けなかった問題もなんとなく覚えてるみたいな感じなんで、なんかつまづいた所で覚えてるみたいな感じで、あ、これだったわ、みたいな。うわ、これ嫌い!、みたいに思いながら解いてました(笑)。

### 慈恵目指すなら、慶應って言っちゃおうぜ、みたいな。受験会場で戦うから、もっと上を見据えて。

そうですね。なんかあんまり、なんか何て言うんですか、いちいちとらわれ過ぎないっていうか、そう、なんかテストの順位とかテストの点数とか、まあこだわるのは大切なんですけど、別にそれで死なないんで、なんかその、終わった、みたいになるのはちょっと面倒…。なんかそれをやってるともう疲れるじゃないですか。なんかどんどん嫌になってくんで、もうなんか途中でやっぱ自分で踏ん切りを付けるっていうのは大事かなっていうのと。まあ、あとは、その勉強つらくなったらまあ、その日は帰ってもいいかなっていうふうに個人的には思いますね。個人的にですよ。まあ、あんま褒められることではないかもしれないんですけど、まあそれでめっちゃ無理やり頑張っても明日に続かなかったら意味ないんで。自分が続けて、行きたい大学目指す、っていうゴールが一番なんで、そこを大事に。続けるっていうかその日、勉強をし続けるっていうのを目標にしない。最終目標じゃないんで。まあそういう日もあってもいいんじゃないかな、みたいな。あとまあ、志望校を上げるっていうことですかね。いや、なんか、正直、日医とか受かるとは思ってなかったんですけど、2次とか。その慈恵も、慈恵第一志望って言っていないですよ、あんまり。で、慈恵、なんかその正規とかで受かってくる人って、なんか慈恵第一志望とかってめっちゃ少ないじゃないですか。だから、石井先生もおっしゃってましたけど、ワンランク、ツーランク志望校を上げないと、行きたいところを、もう第一志望って言っちゃうと、その下から降りてきた人たちに勝てないんじゃないかなって思うんで、もうなんならもっと上目指して落ちてこうぜ一緒に、みたいな。アハハハハハ。まあ慶應は本当に行きたかったんですけど、まあ慶應以上ないんで、まあ国立受けなかったんで。なんですけど、まあそう思いましたね。なんか日医を第一志望にするのは、する人はするのにも別にいいかもしれないんですけど、まあMなら、日医目指すなら、もう慈恵って言っちゃおうぜ、みたいな。慈恵目指すならもう慶應って言っちゃったほうが、その自分が、そこまで頑張ろうとするし。やっぱその、慶應目指して落ちて慈恵っていうのはあるんですけど、慈恵目指して、落ちて慈恵にはならないじゃないです

か、で、他の、周りの受験生とも、受験会場で戦うから、なんかもっと上の層がいるからその上の層を見据えて、自分の志望校っていうのは決めないといけないのかなっていうふうに思いますね。実際、慈恵とかだって、医科歯科落ち、千葉医落ちとか、慶医落ち、ざらっすね。いや、慈恵、第一志望ですとか言って正規で受かるのは、もう猛者ですよ。それはもう。まあでもなんか、難しいと思います本当に慈恵、第一志望にして慈恵を正規。まあ補欠でも受かるのむずいと思いましたし、正規で受かるとかかってなるともっと難しくなっちゃうんで、やっぱ目指すなら、まあ本当に行きたい所の1個上、2個上ぐらいはもう言っちゃうみたいな。周りに言ってもうそれ無理やり目指すみたいな感じのほうがいいんじゃないのかなって。千葉医とか医科歯科落ち結構いますからね、結構、東大理IIIもいたような気がしますね。なんで、やっぱそういう連中と戦うんで。まあ別に大学の難易度とかはいっぱいあると思うんですけど、やっぱ上のほうを目指したほうが、後々いいんじゃないかなというふうには思いました。





死ぬ気で全力になる1年がないと  
受からない。ダラダラやって  
死ぬ気になんないと医学部無理。

昭和大学医学部進学 伊藤友梨那 さん(立教女学院卒)

卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

埼玉医科大

公募推薦合格

なんか運が良かったのか分からないですけど、  
A8→A6→A4→A1って、クラスが最後めっちゃくちゃ  
上がったんで、モチベーションになりました

## 1月に高校が自由登校になってから、もう代官山の寮に入って勉強を始めました。

父親の茨城の同僚で、代官山 MEDICAL 経由で医学部に入った人を知って、その人に父親が話を聞きに行つて、なんか代官山の石井先生ってのがめちゃくちゃいいみたいな話を聞いたらしくて。現役の埼玉推薦落ちちゃって、正直推薦駄目だったから一般（入試）も駄目かなって。もう全部 E 判定でしたし、それでももう浪人も見据えてって感じで1月から。12月に面接で石井先生に会って、ちょうどその日に、面接とマンスリーと一緒に受けさしてもらって、それで1月に高校が自由登校になってから、もう代官山の寮に入って勉強を始めました。

## マンスリーのランキングに載らなかったことで、本気でやないとやべえんだなって意識させてくれた

最初の12月に来たときに、その年の最後のマンスリーで、そのマンスリーの平均点にも全然届かなくて、これやべーなって思って、頑張っちゃおうかなと思って、課題もやりつつ、2月の先取り講習も受けて。俺としてはめちゃくちゃ頑張って、英単語帳とかもやって、『WIZ』を、配られたのをやって。でも4月のクラス編成テストが全然できなくて、なんか先取りの授業で一緒になった人、古澤君（北里大医学部進学：古澤幸征）とかも、なんかA2行っちゃったし、なんかみんな2号館行っちゃって、あ、これこのままだと俺、に、二浪しちゃうのかな、ハハ、みたいな感じで思っちゃって。本当、2号館行く予定だったのに、A8でちょっと本当にやばいし、なんか下、下からめちゃくちゃ近くて、三つ目？そんな時、そっからもうあせって、本当にもうこの1年で本当、後悔しないぐらいちゃんと頑張ろうって思って、いろいろ変えていきました。本当に最初、ランキングにも載ってなかったんで、正直それで、本気でやないとやべえんだなって意識させてくれたのがよかったですね。それにマンスリーが載れるようになる前は、ウィークリーが救いでした。やっぱり、言っちゃんですけど、あの一、ハイレベルのウィークリーテストってめちゃくちゃ難しいじゃないですか。やっぱ、あれで点数取るより、ベーシックとか、ベーシックの下…、ありましたよね、ああ、スーパーベーシック、そのスーパーベーシックの人のほうが正直、点数取りやすいじゃないですか、ウィークリーとかだと。だからウィークリーで、まあ、めちゃくちゃ載れるようになってから、それから、マンスリーも1科目くらいは載れるようになって。2回目のマンスリーで載っちゃったときは、物理、めちゃくちゃうれしかったですね。寺澤先生に言いに行きましたね、さすがに。よかったけど、おまえ次落ちんなよって、言われたんですけど、次、落ちちゃいましたけど（笑）。何も言わなかったです、寺澤先生には。落ちました、みたいな、言えなかったですね。えっと、量は物理が一番…、一応やった、やつ

たっちゃ、やったんですけど（笑）。

## やっぱりウィークリーって、そのベーシックの人が唯一輝ける場みたいな感じなんで…

現役の時みたいに、中間期末テストの前だけ、一度にガッツと復習して、ある程度点取るみたいな感じじゃなくて、代官山は、1日やったら、ちゃんとそこの復習も毎日していける環境だったんで、強制的に。自分の現役時のこと振り返ってみたら、あーなんか、毎日やなくてよくなかったなあって。それで毎日、ちゃんと復習するように。復習に重点を置いてました。でも、最初のほうは全然、時間足らなくて、結構きつかったですね。でもやってくと、なんとか自分でその、時間も作れてきて、復習のサイクルみたいなのができてきて。それに1週間前の授業でやった内容が出るウィークリーテストが月曜日にあったから、日曜日が自習だけでフリーだったので、その3日前から再度復習し直して、ウィークリーに備えて。やっぱりウィークリーは、正直A8とかA9の人って、教科書がベーシックだから、そのベーシックの人が唯一輝ける場みたいな感じなんで、A8の人ってみんなウィークリー良かったですね。周りも、めちゃくちゃできて、田中さん（東京女子医科大進学：田中理恵）も、めちゃくちゃやりましたよね。1位取ってましたよね。俺も正直1位取りたかったんですけど、勝てなかったです。すごかったですもん、本当に。でも頑張りました。あと俺、なんか運が良かったのか分からないですけど、（クラスが）A8→A6→A4→A1ってなんか、最後もめちゃくちゃ上がったんで、毎回マンスリー受ける度に点数もめちゃくちゃ上がっていったんで、それもモチベーションになりましたね。で、最後そのA1って分かった次の日に埼玉受かったんで。まあ、A1の授業を受けてないんですけど、めちゃくちゃ受けたかったですね、A1の授業。いや、本当、2号館に行くっていうのを目標にしてたんで、いや、本当は、あの一、誰にも言ってなかったんですけど、Mに、Mに行きたかったんですよ。そうなんです、M行きたかったです。まあ、行けたらの話、行けたら行きたかったです。

## 物理が劇的に伸びましたね。

物理は、寺澤先生にずっとやってもらってたんですけど、めちゃくちゃ良かったです。寺澤先生一番分かりやすいと思った、すごく。原理をいっぱい教えてくれて、そう、ま、原理だったら、野村先生とかも、めちゃくちゃ原理大切にしている先生なんで教えてくれるんですけど、なんか、ともかく、寺澤先生だったら授業なんか寝ないみたいな、なんか興味を持てる。あと寺澤先生のプリントあるんですけど、それもらってずっとやってましたね。なんか、授業終わって、慣性力やりたいんですけどって言って、慣性力のプリントとか用意してもらったりとかして、良かったですね、寺澤先生。なんか変色してますよね、髪。一時期、夏に金色と黒みた



いな感じになっちゃって、最初見た頃と全然違いますね。物理はそのプリントと代官山のテキストしかやってなくて、ベーシックの。野村先生とか小澤先生とかも授業めっちゃくちゃ理解しやすかったし、分からないのはやっぱり先生に質問に行きましたし。質問はすごく大事だと思います、やっぱり。セミナーはちょっと僕は手が回らなかったです。化学はやったんですけど、物理はちょっと回らなかったですね。いや、やってないっていうのは語弊があるんですけど、あの一例題は全部やったんですけど、基本問題、あれは幾つかやったんですけど、全部はできてないですね。でもテキストはやりましたよー。化学はセミナー全部やったんですけど。化学は3、4周くらい。なんか、4周もやってない、ちょっと盛ったかもしれない、2、3周だったかもしれない。でも物理も劇的に伸びましたね。

### 1浪だけれど、埼玉医科大学の推薦を勧めてくださった。

なんかここで、夏にガイダンスやったじゃないですか、代官山で。あの、何だっけな、東医とか慈恵とか大学の先生来てくださって、塾でのガイダンス。日医とか聖マリとかいろいろ。正直、なんか最初行くの恥ずかしかったんですよ。ですけど石井先生が、そういうのを受けて大学を知ること、モチベーション上げといたほうがいいみたいな話をされてたんです。だからあの、東医の行くの恥ずかしかったんですけど。東医のガイダンスの席が何とか取れて、で、ガイダンス出たら、なんかめっちゃくちゃ行きたくなくなっちゃって、東医、第一志望にしたんです。でも僕、一浪じゃないですか。で、一応、評定もギリギリ4あったんで、本当、ギリギリだったんですけど。その一埼玉っていう選択肢を選ぶか、それとも埼玉受けないで、そのまま一般入試に向けて地道にやって東医いくか、っていうのあったんですけど。石井先生にカルテ(個人成績表)見てもらって、まあ君、この伸び率でいったら、別に一般で受けても受

かと思うから、思い切って埼玉受けてみたら、と背中を押してくださいました、うれしいことに。やっぱりそれは、石井先生に言われて(笑)。君だったら一般(選抜)は、多分受かるから、勝負したほうがいいと思うよって。で、そのときに埼玉の推薦受けた過去の合格者の実際のデータの情報を教えてくれて、その情報の紙もくれて、こういうの出る傾向があるみたいの教えてもらったんで、それから埼玉の推薦対策は高橋浩先生にやってもらって、埼玉の推薦の過去問に加えて、一般の小論文も。推薦こけても一般でも戦えるような小論文もやってもらいました。面接も結構やってもらったんです、先生に。やっぱり面接の回数も増やせたので、やっぱり、それはめっちゃくちゃよかったなって思います。

### 朝は8時半には登校してましたね。

朝は8時半ですね。学則で8時半に来なきゃいけないっていうのがあったんで、8時ギリギリ、ギリギリに行ってたんですけど。でもあの一、なんか石井先生の授業がある日だけは早く来て。なんか前のほうに座ってるやつみんな受かってるジンスあるじゃないですか。それでなんか、でも、なんか一番前、俺そんなに気大くないんで、そんな一番前に座るとか…。めっちゃくちゃバチバチじゃないですか。正直、楽に取れる席っていうのが2、3列目とかだと全然大丈夫だったんで、俺1年間ずっと同じ席だけに座り続けたんです。あの、3列目の通路側あるじゃないですか。あそこにずっと座ってたんです。左側の通路側にずっと座ってて、そこだったらあの、6時50分ぐらいに並ぶと、ま、大体3番目ぐらいに並べたんで、そこ、まあ、それくらいだったら普通に付箋貼って取れるんで、ハハ。

### 1回受験におちて、後に回すとどうせやらないから、今すぐやっとかないと思うように。

今年成長したなと思うのは、んー、やっぱり1人暮らしできたこと。ご飯用意したりだとか洗濯。洗濯とか、ご飯を自分でやったこともなかったです。作ってないんですけど、ただコンビニで買って食ってただけ、買ってただけなんですけど、ま、そういうのに慣れる力みたいな、あ、生活力か。それに、忍耐力が多分付いたと思いますね。前とかだと、なんとなくめんどくさいから後でいいかなみたいな感じであと回して、結局やらなかったんですけど。今はやっぱりその、ある問題があったとして、ちょっと後に回すとどうせやらないから、今すぐやっとかない、みたいな感じで。まあ、一回、受験とかに落ちたことによって、やっぱりそういうこと考えるようになりましたね。寮での生活は、まあ普通に生活する、遊ばないで生活する分には、めっちゃくちゃ適してる。予備校に通って、ただ勉強して寝る場所、あの、石井先生も言ってたじゃないですか、寮では勉強なくていいって言ってたんで、俺も、その要は、ちっちゃいご飯食べる用の机とかあったんですけど、本当に大きい、なんかその、学習机と椅子があっ



て、そこでなんか帰ってからも勉強してたって感じではなかったですね。なんかほとんどご飯は塾で。たまに寮で食べてすぐ寝て、また起きる場所みたいな、そんな感じでしたね。うん。塾に自分の自習席があって集中できたし、快適だったし。最初の頃、わざわざ、携帯のゲームとか動画見ながらご飯食べたかったから、俺、寮に帰って、ご飯って、また戻ってきて、昼飯のたびに。なんですけど、石井先生が昼飯の時間を有効に活用したほうが、活用したやつが受かるみたいなことを、おっしゃってて。それで、あ、寮で食うのやめようと思って。それからちょっと 8 階で、ラウンジですぐ、おにぎり 1 個すぐ食って、自習室に戻ってましたね。でも、めちゃくちゃいいですよ、寮もコンビニもめちゃくちゃ近くて。

### やれって言われたことは取りあえず、できることは全部やりました。

石井先生、フフ、なんか石井先生、なんか謎の説得力ありますよね。本当に石井先生、崇拜してた人いて。なんかあの、マンスリーのテストの結果が出る度に、なんか並んでたじゃないですか、あそこに。やっぱ石井先生に、聞きに行く、なんか救いを求めるみたいな、いや俺はそのタイミングでは行ったことなかったんですけど。なんか並ぶのなんか、嫌だったんで。授業は、一番楽しかったですね、石井先生の授業が。石井先生の授業、めちゃくちゃ楽しかった。めっちゃ予習してましたね、やっぱり。あと写経もしてました、写経。ちゃんと。要するに、やれって言われたことは取りあえず、できることは全部やりました。今までなんか英語って、その、長文読んでるときもフィーリングで読んでたんですよ。でも授業で品詞分解も意識するようになりましたし。その、石井先生と岩崎先生なんかちょっと似てるんですよ。石井先生の教え子ですよ、確か。岩崎先生も、品詞分解して、わざわざ教えてくださるんですよ。一つ一つ、論理的に説明してくれたんで、めちゃくちゃよかったですね。それで、岩崎先生のマンツーマンの授業を取ったら、わざわざ単語テストを毎週作ってくださったんですよ。『WIZ』の、作って、で、やってもらったんですけど、細かいところも出るんですよ。この単語に付随する知識まで、派生系、派生語みたいのがいっぱい載ってて、それを試すテストを作ってくれて本当に、細かく。だからフィーリングから抜け出せた感じです。

### 振り返ってみて、やろうとしたけど、できなかったこと。

できなかったこと、やっぱり石井先生の一番前に座ることですよ。やっぱそれだけ周りの殺気がすごくて、すごい殺気(笑)。座りたかったけど座れなかった。見たことありますか？あの石井先生の 1 列目めちゃくちゃすごいですよ。貼ってあるんですけど、たまにはわざとはがすやついますからね。知らないですか？貼っ

てあるのにはがしちゃう、そういうやつも、たまにいます(笑)。

なんか、関係ないですけど、古澤君(北里大医学部進学)は、付箋貼ってたんですけど、のりで裏貼られて(笑)、付箋の裏にのり付けられて、パッと貼られて、なんかはがせないみたいなことやってましたね。すごいんです。特に最後のほうの 10 月とか 11 月とかは、やっぱり付箋貼る人めっちゃいたんで、やっぱりその競争は激烈でしたね。まあ、先生ごと、先生によって、それぞれ特徴があると思うんですけど、ま、やっぱ石井先生はなんか、その、英語を教えるのも違いますし、あと、なんか威厳があったんで、やったことは絶対覚えなきゃっていう気になる、そういう感じで。そういうのが自分には大事だったと思うんですよ、やっぱり。基本的に先生が言ったのは忘れないみたいな、めちゃくちゃ良いこと教われてよかったと思います。すげえ、ためになりましたね、まあ、やっぱそうやって論理的に説明してくれる先生が、僕は好きでしたね、うん。

### 数学は真中先生と村上先生、化学は僕はずっと白井先生でした

数学はめちゃめちゃできなかったんで、救いようがなかったんでマンスリーが終わったたんに、真中先生が、できないところはできないとして受け入れて、ま、やって、次、頑張ろうって励ましてくれました。僕、落ち込んでたんで、そのとき(笑)。これだと本当に A11 くらい落ちちゃうんじゃないかって、なんか思ってた。マンツーマンを真中先生と村上先生もとってやってましたね。あと、筋肉マンって呼んでる先生、典先生の授業が、A4 になってあったんですよ。典先生の授業を初めて聞いて、ああ、この人も分かりやすいなと思って、12 月からの冬期に取りたいって申込出して、うまく取れたんですけど、埼玉受かったから受けずでしたけど。化学は僕はずっと白井先生でした。個人的に、僕は





番なんか相性が合う先生だなって思っていました。臼井先生も、独自のプリント、まとめたプリントがあって、無機化学ができなかったんで、無機化学のプリントを、あの、後半のほうであせり始めたときにもらってやってましたね、ずっと。化学は伸び悩みましたが、最後なんとか伸びてクラスも上がった感じです。

スランプのときなんかは、そうですね。先生に相談して、その教科ごとではなく、主にやっぱり石井先生の所に行きましたね、やっぱり。んー並んでっていうか、僕は並んでない時間帯を見つけて、さっと入り込んで行っていましたね。あと、石井先生に、マンツーマンの先生を選ぶとき、たくさん先生いるから、自分でだと迷っちゃうんで、それでどう取ったらいいですかみたいなのを聞いてましたね。ま、そうすると、君は、俺の場合は、この先生の授業が合うとか、物理をメインにとか、言われて、先生に言われたとおりにやったんですけど、やっぱりその、どんなふうにやったらいいか、やっぱり、この予備校初めてだったんで分からないじゃないですか。そういうのが相談できる先生だったのよかったですね。

### 1学期の小論文はもっと真剣にやっておいた方がよかった

えーと、高橋浩先生って一番人気じゃないですか、小論文も、やっぱりキャリアも。ここの予備校でキャリアもありますし。秋の頃からなんか高橋浩先生、授業なかなか取れなくなるんですよ。マンツーマンが取れなくなるんで、最初の頃と違って普通に全然取れるんですけど、もう、なんか秋頃から全然取れなくなっちゃうんで、僕が取り始めたのが夏からマンツーマンずっと取り続けてたんですけど、やっぱりあの、1学期の頃ってなんか正直、小論文甘く見てたんですよ。1学期の小論文ももっとちゃんと真剣にやるときゃよかったなっちは思いました。小論文苦手だったんで、もうちょっと上げたかったなっていうのありましたね。例えば、ある原因があって、こういう過程を経て、結果が出るみたいな、なんかそういう当たり前なんですけど、そういうのを全然意識して小論文とか全然書いてなかったんで、代官山で教わるまで、作文に近い小論文みたいなものずっと書いてたんで、そういう普通の原理みたいな、なんかそういうのを知れてよかったですね。学ぶべきこと、めっちゃくちゃ多かったと思います、やっぱり。うん。本当に。じゃなかったら、受かってたかな。正直、なんか、これ高橋浩先生と話して、よく笑い話にしてたんですけど。あの、個人、予備校名とか言っても？ あの医専のNあるじゃないですか、Nに俺、実は、あの一、現役の埼玉の推薦対策で、えーと、ちょっと通ってたんですよ。そのときに小論を教えてもらってたんですけど(笑)。小論の授業のはずなのに、なぜか東京大学の英語解かされて。なんかその先生が、どっかの大学で講義してるみたいで。でも、ねーって感じで。でも代官山だと、ちゃんと埼玉こういうの出

るよみたいな、なんかやっぱ、石井先生が言ってくださったようなのをやるんですけど。あそこはこういうの出るよみたいなのがなかったんで、ちょっと正直、ここ来たとき驚きましたね。やっぱそういうの、違うんすよね。代官山は、的確な対策をしてくれたんで、正直そういう面見ると、ここに来なかったら、ちょっともう1年くらい、ハハ、本当に2.5年くらいかかってたのかなって。

卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

獨協医科大  
岩手医科大

2次合格  
2次合格

代官山に来る前は…、  
駿台模試の偏差値42.1で、ここに来て  
64.8に、22も偏差値が上がった。

獨協医科大進学 吉住 拓真 君(成蹊高校卒)



いろんな先生に質問に行っていましたね、遠慮なく(笑)。

受かったところは、岩手医科大学、獨協医科大学に受かりました。岩手は166番で3月26日に来ました、繰上げ。獨協も、補欠で、でも番号なしで、こっちは3月3日でしたね(笑)。代官山は紹介していただいて。去年代官山に通ってました水村君(同じ成蹊高校出身)っていう愛知医科大学に進学した彼にここの授業はものすごく先生たちが手厚く教えて頂けるから、というのを聞いて、自身も行ってみようと思って石井先生と話したら、すごくいいお話を聞いて、自分もここで勉強してみようとおもったのでここに入ろうと思いました。

正直、うちの家系は医者ではなかったんで、料金を見たときは最初「高いね…」ってなったんですよ。でも、サポート面見てみたら、授業だけじゃなくて、授業外でもみんな質問にいけるし、専用の自習席はあるし、これだけ手厚くやってくれるなら、両親には申し訳ないですけど、絶対受かるって思えたんで、決めたならパツとここにしようって、でも…、こんな言い方あれですけど、元は取れましたね！(笑)先生に質問しまくってたんで、それだけでも相当かかっていると思うんですよ。分からなかったら悩むと思うんですけど、ここならちょっと考えて分からないなら「先生！分からないです！」でいいですしね(笑)そういう意味で本当に積極性が大事ですね。

**『1浪目は駿台でやってたんですけど、そこでは全然、正直結構やってたと思うんですけど伸びなくて』**

1浪目は駿台でやってたんですけど、そこでは全然、正直、結構やってたと思うんですけど伸びなくて、多分42.1ぐらいだったと思うんですけど、第3回の判定を受けてないので、現実を見たくなくて逃げてしまって、第2回の時に42.1だったのが、2浪目ここに来て第3回(全国模試)を見て64.8に上がって、ここじゃなかったら…。普通にやったらこんなに上がることも無いだろうし。

最初、本館のA4から…、A4から始まったんですけど、物理と化学とかも、正直恥ずかしいんですけど、無機とか有機とかほとんど知識なくて、正直、理論だけって感じで、1浪の時、状況的におかしいんですけど、理論だけやって、無機と有機はほとんど抜けてて、もうボロボロで多分…。偏差値も40前半とか、理科。で、ここの4月のクラス分けテストで、結果見てみたらA4で、本館のこの席です、って言われた時は正直やばいな…って、ちょっと本腰入れないとやばいなって思いました。もうやるしかないってもう、石井先生と話した時に、絶対石井先生に言われた通りやってれば受かるって言う自信はあったので。やるしかない、と。

**『帰国子女で、ある程度英語に自信があって…、そうすると英語の先生の話って素直に聞きにくかった、駿台とかでも。』**

なんか正直自分はある程度(英語は)取れていたんで、文法は全然わからなかったんですけど、駿台のときに「文法分かりません」って聞いたら「文法やるべきだ。日本の大学を受けるなら英文法がないと駄目だから」って。けど、石井先生にも聞いてみたら「お前は文法を一からやるんじゃなくて語彙を増やしたりだとか発信型の英語で勝負して」って言われて、初めて自分の英語の勉強で「文法はやらなくていい」って言われて「俺の言ったとおりにやれば受かるよ」って言うてくれて、自分の中で「え、本当にいいの？」と思ったんですけど、石井先生にそう言ってもらったんだから、写経とか最初馬鹿にしていたけど(笑)あ、口悪いですね…。それはちゃんとやろうって。英語のスペシャリスト中のスペシャリストが言ったことは絶対にやろうって。

**『現役、1浪と、“絶対受かる”っていう気持ちがあんまりなかった。』**

授業をちゃんと聞いてたんですけど、その…、こう現役の時勉強しなかったんで、それが続いて1浪の時に軽く触ったくらいで、正直そんなに全然演習とかしてなかったですし、そういうところでちょっと知識の抜けとか、まあそもそも努力するとか、絶対受かるっていう気持ちがあんまりなかった。それで、自分はそういう自己管理もできないで、2浪になってしまったので、こういうところでがちり見てもらったかなと。大体スケジュール立てる時でも、最初の2日、3日は出来るんですけど、それを2か月とか夏休みとかって考えた場合、長期の計画ってなると、だらけたり、フェードアウトしたりしてそういうこと結構多いので、それをここの代官山の先生たちはものすごく皆優しいので、自分が計画崩れてしまったらそれをちゃんと素直に「すいません、(計画が)ズレてしまいました」って言うとか「ここと、ここを変えてみたら？」とか臨機応変に、その、自分で決める場合ってのもスケジュールどんどん前倒し…遅くなっちゃうんでそういうところをちゃんと見ていただけたので、ちゃんと決めたことをやれたってのが大きかったなって思ってます。

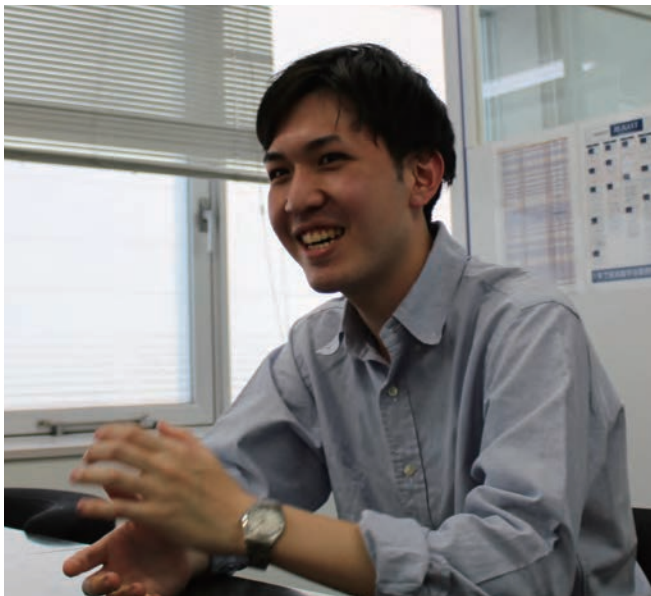
**『壊滅的な化学はマンツーマンで…。』**

マンツーマンは夏からとり始めて。化学は高橋龍先生だったんですけど、「正直、自分何も分からないんで…」って丸投げしてしまって「何覚えればいいですか？」と。そこも正直分かってなかったんで、そしたら授業のことはちゃんとやるって前提で、プリントとかを頂いて「これは絶対覚えろ」って言われたんで、先生に言われたことは絶対にやろうって今年は決めていたので、そのプリントを覚えようって思ったら岩手は通ったから、ちゃんとやれてたのかなって。やっぱ出

るところを厳選して「これだけでいいから取り敢えずやれ」ってことを言ってくれて、素直に全部ちゃんとやったことが勝因になるっていうか、そうですね、ものすごくプリントとかはすごく手厚くて、自分でもできるだけ多くの先生に聞こうって決めていて、最初の知識を入れるところは本当授業を聞くところから始めて、ひたすら聞いて分からないところは絶対聞きに行くようにして、あとプリントも先生オリジナルでよかったし、色んな先生に聞きに行ってたので、先生によって解説も違うからよかったですね。ただ、貰ったプリントはさすがにやらないと失礼になるのでそこはしっかりやって。で、二回目くらいから偏差値がかなりあがって「これはいける」って思って。英語はマンツーマンを取ってなかったんですけど、クラス授業は三ツ橋先生とか朝岡先生とか。朝岡先生にはエッセイのライティングを、マンツーマン取ってないんですけど、授業後の時間とかで、順天堂の過去問の英作文のところを毎回見てもらっていて、もちろん嫌な顔せずやってくれました。あと、田中先生、岩崎先生の授業もすごい良かったなって思いますね。直前期のやつ取ってたんですけど、人気のやつで。そこで医学の単語入れてもらって。帰国子女とはいえ、医学の単語は皆無なんで、そういう部分を補ってもらって、石井先生の授業を基本復習する感じですね。ホント親の次くらいに信頼していたんで（笑）石井先生がいうんだからそうなんだって。実際河合の模試でも成績伸びてましたし、ちゃんと数字でもでていたんで。英語は石井先生メインで単語とかエッセイライティングを補ってって感じですね。なので自分の得意科目が更に伸びましたね。

### 『英語以外は自分が教わってない代官山の先生にも全員に聞きましたね。』

そうですね、授業受けていると好きな先生ができると思うんですけど、そうすると昼休みもすごい並ぶと思うんですけど、昼休みは必ず、左手にカロリーメイト



持って、やってましたね。二浪してるんで昼休みは絶対やろうって決めてましたね。その中で、色んな先生に聞きに行かないと一辺倒になっちゃうんですよね。もちろん決めた先生に付いていくのは代官山の先生なんで、絶対いいことだと思うんですけど、上の解法とか知りたかったんで、ひとりに固執するのは危ないんじゃないかなって。結構一番に言いたいですけど、自分が教わってない先生に聞くのはちょっと気が引けちゃう、自分がこんなにできないんだって恥ずかしい気持ちもあるんですけど、自分が受かりたいっていうそういう気持ちがあるんだったら、自分だったら英語は出来たんで、英語以外は自分が教わってない代官山の先生にも全員に聞きましたね。数学・物理・化学は先生全員に聞きましたね。最初はひよって、うわきついなって思ってたんですけど、自分をあげるためには、こんなじゃ成績あがらないって思ってやってましたね。とくに数学なんか、授業を受けてない先生でも誰でも聞きに行き、あー、村上先生とか…。マンスリーが悪かったら先生の所に行き、励ましてもらったり、毎朝積分のプリントもらって「積分は毎日やったほうがいい」って言ってたんで、それをやって、最終的には試験会場にまで持って行ってましたね。ほんとに村上先生は心から大好きです。化学は高橋龍先生。プリントがすごく良くて、授業中の理論の教え方がすごい明快で「こうやってやれば解けるよ」っていうのを教えてくれて。それでやれば受かるんだって、出来るんだってわかって。で、物理はほんとに寺澤先生で。授業でも「おーい！」みたいに大きい声で（笑）声もすごいし、髪の毛もすごいし、面白い先生なんですけど（笑）意外と聞きに行くと色々教えてくれて、最初は結構怖いなって印象だったんですけど（笑）言われたとおりにしよっかって。で、あと英語は、正直英語はマンツーマン取ってなかったんですけど、石井先生に聞きに行こうかなって思っても先生結構忙しくて…。でも忙しくてもちゃんと時間作ってくれて、まあ僕帰国子女っていうのもあったんですけど、どうやって勉強すればいいとか聞いて。最後の三か月くらい英語（の成績が）落ちてきちゃってたんですけど、なんで成績落ちちゃってるのか自分で分からなかったんですよ・・・で、石井先生に聞いて写経と音読に戻りましようって言われて、それでやったら最後は8位にまでなって（マンスリーが）、写経が大事だなんて思いましたね。意味あるなって。授業終わった後の空きコマの1時間は絶対に英語やろうって決めて、自分が授業で教わったこととかを思い出しながら、「石井先生がこれ言ってたな。類語表現ってこれだったな」とか。自分英作文がある大学も受けていたので、実際にその英作文を自分でやったりもしましたね。ひたすら書いて頭の中に入れるって感じですね。これが結構ほんとに意味があったなって。「再現性」というか、類義語とかも覚えますし。英作文出すところでも英文がスラスラ出てきたんで、石井先生の言うとおりにしてよ



かったなって。でも、やっぱり最初は「え、写経？意味なくね？」…みたいな(笑)、なっちゃいますよね。でも石井先生が言っていたことはちゃんとやろうって決めていたので「お前は写経をやれ」「はい！やります！」みたいな(笑)で、最後の方のマンスリーではランキング上位にも入って来たんで。疑わないでやりましょうってみんなには伝えたいです。

**『勉強面だけでなく、そういう面もサポートしてくれたのは本当に大きいですね。』**

マンスリーの結果が出なかったりだとか、結構夏って暑くてダレたりしたんですけど、自分で解決しようって決めてダメで一浪してたので、正直に石井先生に言ったり、村上先生にも「すいません、勉強が進まないです」って言って。ま、解決策なんて「勉強しろ」の一つなんですけど(笑)。で、村上先生は結構ポジティブな方で「大丈夫、お前絶対受かるよ」って言ってもらえて、「あ、じゃあ俺絶対受かる」って思って、「ありがとうございました」って言ってすぐ勉強に戻ってみたいな。ほんとに代官山の先生方には力になっていただけたって感じです。そうですね、勉強面だけでなく、そういう面もサポートしてくれたのは本当に大きいですね。こんなことしてくれる予備校ってここだけだと思います。本当に感謝してます。ほんとに去年だと、なんていうのかなあ…こう、結構サバサバしてて、先生は授業終わるとすぐ帰っちゃってって感じで。質問行けば答えてくれるんですけど、偉い感じで近寄りたくて…。ここまで手厚くしてくれたのはほんとにここだけです。自分が取ってない授業の先生でも、聞きに行けば気さくに答えてくれますし、嫌な顔しないでやっていただけるのはほんとに環境に恵まれてるなって思いますね。

石井先生のθ(シータ)の授業の最初の20分くらいって「医学部に受かるには」とか「医者を目指す考え方」とか「医者になる自覚」とか教えていただいて、θって週に2回あるので、毎回そういった話を聞いてると、自分が弛んでいる時に「あ、俺は医者になるんだから、今こういうことが出来ないと、患者を救えないな」って自覚が出てきてなんかモチベ上がって、英語の成績もそうなんですけど、人としての成長をさせてくれたって思ってます。こう実感できてるのも全部石井先生のおかげですね。なんか、例えば、マンスリーの話で失点の原因をなんとなく「ケアレスミスだ」って済ませちゃってる人は、例えば患者さんがいた時にケアレスミスで済むわけじゃない、どんなに無駄だと思ってることでも完璧に終わらせることが必要だよって授業で仰っていて、毎回授業では本当に圧倒されていて、僕前に座ってるんですけど、絶対受かりたかったんで、毎回の授業、前の左の席に座って。でちゃんと合格したんで、今年は後輩にも前に座れって言ってあげてください(笑)。前の席だとノートを石井先生が見てくださって、その時に「あ、これ違うよ」って言ってもら

えて、すごく得した感がありますね。たくさんあてて振っていただけましたし。勉強だけって考えたら授業の最初の20分はいらないって考えるかもしれないんですけど、石井先生は、受かることは大前提なんですけど、人間としても成長して、応援してくれてたので、本当にこの塾は素晴らしいなって思います。

あと石井先生に言われたのが、自分の身の回りのことができなかったら医学部受かる確率落ちていきます、ってか、自分のことを自分でやらない奴は、知識の詰めが甘い、って言われて、最初はベッドとか汚くしちゃってたんですけど、途中からベッドの整理とか始めて、畳んだりとかして、洗濯物も畳んだりとかして、人としてこういうことやるべきだなって思うようになって、なるべく母親の負担は減らすようにしました。むしろ身の回りのことは親のバックアップがあって、勉強に集中するっていうのが予備校っぽいついて思ってたんですけど、ここは逆だったんです。そうですね、途中から感謝の気持ちもでてきて。もちろん親にテストが辛かったとか、勉強やめたいとか弱音は吐きますけど、両親は絶対自分よりも苦しんでるって、そりゃ二浪もしてるんで。自分じゃなくて両親のほう。一浪したとき、どこも一次受かんなかったときに、母親が夜中にポロポロ泣いている姿を見てしまったので、自分が勉強して合格すればこういうのは無くせるのに…。やっぱり両親には申し訳ないなって。

勉強を教えたりとか医学部の英語のことだけじゃなくて、石井先生って親との付き合い方とか、親にどういう風に勉強を補助してもらっているとか、先生はちゃんとそういうことも言うんですよ、はっきりと。実際に両親がどう思っているかは先生がすごくよくわかってくれていて、自分たちが弱音を吐いちゃうけど、両親はこう思っているからもっとこうしたほうがいいんじゃないか、そういう勉強だけじゃなくて、人間として、両親ともどう付き合っていくかをちゃんと教えてくれたのは本当に貴重なことだったと思います。

**『自習の時間は1コマ80分を半分に割って、40:40で時間を使えって言われましたね。』**

石井先生に「自習の時間は1コマ80分を半分に割って、40:40で時間を使えって教わりました。そうやって必ず全科目に触れる。自分は英語は得意でしたけど、それでも英語に触れるようにしてましたね。同じ科目を1時間とって、出来るんですけど、集中力が続かなかつたりするし、40分って決められた時間があるので、普段よりもめっちゃ集中しなきゃ終わらなくなりますね。あとは…、そうだな、あとは授業合間の少しの休憩時間も、僕は自習室に戻ってましたね。友達と話すのも実際楽しいんですけど、石井先生が授業で「受かった仲間が本当の仲間」って言われて、ここにいる友達は確かに友達ですけど、将来仲間なのかっていうと分かんなくて、受かった人たちが仲間だって言ってたんで。なんで、休憩時間も自習室に戻って暗記系のやつとか

やってましたね。人との差別化を図るってのは大事だと思いますね。同じ事やってても、はい、ダメなんで。自分は正直そう言われないとやらないって分かってたんで、家に持って帰ってやろうって思っても、家でやろうって決めてもどうせ、風呂入ったら、疲れて携帯いじっちゃうし、絶対代官山で終わらせる、その代わり40分40分で集中する、みたいな。家でやったら勉強量は稼げるかもしれないんですけど、正直だったらになっちゃうって思うんで、代官山で40分毎に区切って、真剣に、携帯とかいじらないでちゃんとやる。ぼく、個人的に石井先生にひと月に2-3回くらい質問に行っていて「勉強に疲れました」とか「最近は一時間で勉強区切ってたんですけど集中力が続かなくてどうすればいいでしょう」とって相談したときに「40分、40分の方がタクマには合ってるよ」と言われて、皆にむけたやつじゃなくて、僕に向けたアドバイスだったし、「過去問10年分をやったほうがいいですか」とって聞いたら「タクマはこういう性格だからしなくていいよ」とって一人ひとりに違うアドバイスをしてくれて、自分結構真面目タイプではなかったの、「10年分過去問やって満足して終わっちゃうだろ」とってばれていたんで(笑)なんで、テキストの問題をいっぱい解いた方がいいかな、体で覚えた方がいいかなって言われて。でも別の友達は「10年分の過去問を解いてまとめろ」と言われてましたからね。石井先生は普通の授業でちゃんと自分を分かってくれてましたね。自分にとって一番適切なアドバイスをしてくれていましたね。やっぱ石井先生はその人を見抜くっていうか、塾長であれば画一的なことを言って終わりでもいいんだけど、一人一人に焦点をあてているってのが、大変なのに、でもそれが変わったきっかけだったと思います。

### 『結構アレなんですけど、欠席が多くて高校三年間で64回もあって(笑)』

高校は評定も3.2とかで、部活もやりきってそんなで…。そんなんでも浩先生のおかげでどうにかになって。普通欠席64回とかやばいじゃないですか(笑)！で一次通ったうちの2校ちゃんと合格してるのってそういう二次対策をしっかりしてくれたからなんですよね。文の作り方から色んなことが学べるので。浩先生がいなかったら確実に二次落とされているんで本当に感謝しています。二次で欠席のことを聞かれて、そうですね、大学の名前は伏せますが、結構突っ込まれて…。自分では絶対に気づかなかったことを、浩先生は、二次でこういうこと聞かれたらこう答えると面接官にわかってもらえるんだって教えてくださって。さすが過去の合格者のストックがあるんで、どう答えるかっていうのが明確でしたね。正直、1学期から小論文の授業を受けていたので、本番では全然緊張しなくて、自分が代官山で学んだことを言えば二次で落ちることはないかなって思ってたんで。もちろん対策したものが全部出るわけじゃないですけど、途中から面接楽しくなっ

ちゃって(笑)何聞かれても大丈夫って感じでしたね。石井先生からは人間として成長できましたし、医師の素質が自分にはあるって思えるようになっていたので自信をもって臨むことが出来ましたね。

### 『毎週医学部を諦めたいなって思っていました(笑)。』

毎週思っていましたね医学部諦めたいなって(笑)。そう弱気になることはしょっちゅうありました。でも、周りがサポートしてくれていたの、頑張らなきゃなって思っていましたし、もし他の予備校に行ったらこんな風に考えることも無かったんじゃないですかね。だって、他の周りの友達は遊んでるし、インスタでも楽しそうにしてるし、で、自分は昼休みもご飯食べながら勉強して、左手にカロリーメイトもって、俺なにやってんだろって思っていましたからね(笑)でも、自分になりたいことだったんで、親に医者になってくれって言われたわけじゃなくて、自分になりたいものだったんで。自習時間も場所を変えたりして気分を変えて、そうですね…。自分は空き教室も使っていましたね。自習室も、色んな教室を転々としながら、つのが自分のスタイルだったんで。周りがおしゃべりしていても勉強できてましたね。息抜きしようと思ったら普通コンビニに行くと思うんですけど、「じゃあ空き教室行って勉強するか」とってやりましたね。受験直前期とかになると、勉強しているときに問題を出して教えたりとかもしていましたね。あの、東邦に受かった石原君とかと一緒に、無機なら無機の問題を出して、分からないところとかを聞いたりして、そういうのって開放教室じゃないと出来ないじゃないですか。

### 『成蹊(高校)の4人の中で自分が一番下だった。』

自分のいた成蹊からは、4人合格していて、鈴木くん(東医進学)、土田君(帝京進学)、町田君(日医進学)と僕。





自分以外、その人たち全員Mクラスで、自分はA4で本館で。絶対負けられないじゃないですか。負けたくないって、本当にライバル視しながらやってましたね。同じクラスの友達との付き合い方も、遊びに行こうぜとかコンビニ行こうぜ、とかじゃなくて「自分の勉強は自分でやる」って決めて、少し空き時間に話をするくらいにして「勉強の調子どう？」くらいにして。こうやって切磋琢磨できる友達がいたのは本当に大きかったですね。今でもそういう友達とはLINEで繋がってますからね。「また会おう」とか「今度そっち行くね」とか、一生の友達が出来たなって。他の予備校だと模試の回数少ないじゃないですか。でも代官山なら毎月ありますし、ランキングとか点数見て「お前これ高いじゃん、低いじゃん」て話して「俺これはこうやって勉強したんだけど、そっちはどうやったの？」みたいな会話してて、もちろん仲良く合格するっていうより蹴落とすって気持ちもあったんですけど、そこはやっぱりライバル関係があったのは大きかったですね。石井先生は「水は低きに流れる」って言うっていて、人間関係もちゃんと見てくれていて、自分の周りでも良くないところは先生から注意されてましたしね。だから、友達を作りに行ってたんじゃないって、受かるために友達を作ってたね。同じように努力をして結果を出せた友達同士じゃないと分かり合えないこともありましたからね。だから、いろんな方法で自分のモチベーションを上げて、本当に勉強は勉強で本気でやれば僕みたいに一年で偏差値20はあがるんで、後輩の人たちも本当に頑張っしてほしいですね。本当に。

### 『A8でも、なんならA11でも合格してますからね（笑）』

自分も結構合格の軌跡読んで、「こういう勉強してたんだ」とか見てて。自分ってA4スタートでちょっとA3にあがって二号館に行けたんですけど、最後にまた本館に戻ってきてしまって、成績悪かったんで。自分は余裕を持って合格したわけじゃないんで、自分も結構苦労してて、本館のロールモデルじゃないですけど、出来ることはたくさんあるんで、上の人たちは受かるために色んなこともやってるかもしれないですけど、自分が本館ってことはまだ知識が正直足りてないってことなんで、言われたことをやるしかないなって。本館から受かるんだったら、自分は最終的には本館フィニッシュだったんで、でも本館からも東邦進学2人とか女子医もいっぱい出てるんで受かるは受かるんですよ。A3までに行ければどこかしらには受かるんだと思うんですよ。でも、A8でも、なんならA11でも合格しますからね（笑）自分は二号館出身の人、ではなくて「本館の人」なんで、マジで本館の人に合格してほしいんですよ。今日撮りに、このインタビューきたのも、そういう人たちにできるって知ってほしかったからです。本気でやれば偏差値40くらいからでも受かるんで。もちろん二号館の人たちにも受かってほしいです

けど、自分みたいな境遇の人でも一年あれば本当に受かるんだよっていうのを、この合格体験記で話せたらなって。



卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

|          |       |
|----------|-------|
| 東京医科大    | 2次合格  |
| 杏林大医学部   | 2次正規格 |
| 東京女子医科大  | 2次合格  |
| 北里大医学部   | 2次合格  |
| 帝京大医学部   | 2次合格  |
| 岩手医科大医学部 | 2次合格  |

代官山で積み上げてきたことや、  
自分がやったことをちゃんと見て、  
これぐらいやってきたから、  
準備してきたから、もう自分を  
信じるべきだって思えたから合格できた。

東京医科大進学 鈴木 優 さん(山脇学園高校卒)



## 東京医科大の代官山勢は 11 名の大所帯。そして、代官山、選んだきっかけ。

東医は補欠 45 番でした。

代官山勢は、11 人かな、近藤さんと近藤有香さんと鈴木航大君と。鈴木雄哉君と、松脇君と国香さん、あとは竹吉君。あと、雨宮さんっていう現役の。あと誰がいたんだっけな。渡辺アノンさん、益田君、自分入れて 10 人。あと 1 人。あと 1 人、ちょっと待ってください、あと 1 人は。あつ、大塚。あつ、そう、大塚新太郎君、いました。すいません、全くしゃべってないんですけども、全然。いや、結構、大所帯、もし、本当につるんでたら大所帯なんですけど、でも結局、みんな、あの、それぞれのまあ仲いい子と、あの、グループ組んでるんで。で、まあ、きっかけは、特に周りに代官山の卒業生がいたわけじゃないんですけど、インターネットで、まあ浪人をするって決まったときに、ネットで浪人、一浪、医学部、合格っていうワードで検索して、調べて、そしたらいっぱい出てくるじゃないですか。その中で、やっぱり合格者数が、一つの校舎当たりの合格者数が、圧倒的に多かったの、あと、自習室が朝、早くから開いてて、それにあの一、最初に説明聞きに行ったとき、どんな感じだろうなっていうふうに見たんですけど、そんなとき、すごい質問してる生徒がもういっぱい、もう 3 月の 10・・・私、3 月の 2 週目ぐらいに確か来たんですけど。遅かったですけど、それで昭和 II 期の直後に来たんですけど、もうそしたら既に、浪人の人とかもいるし、まあ現役の制服着てた子もいたんで、すごい、もう並んで先生のその、横にめっちゃ行列ができてるのがすごいあの、なんか何ていうんでしょう、衝撃的っていうか、そんな映像見たことないんで、活気があるっていうかもう勉強してて、結構、ラフに質問できる環境なんだなと思って、それに、すごい、事務の方が温かい感じだったんですよ。そうなんです。授業始まって、名前をちゃんと覚えててくれてるし、あの一、何だろう、結構、エレベーターで一緒になったときとかも、なんか、「最近、大丈夫?」とか、結構。いや、「最近、どういう感じですか」みたいな、「最近、調子どう?」みたいな感じで言われてたんで、私、あの、友達がもう圧倒的にいなかったんで。すごいなんか、何だろう、心の支えっていうか、なんか結構ほっこりしたんですよ、心が。だから、なんか結構、勉強だけじゃなくて他の精神的な面でも。ほっこりしました。フフフ。いやまあ、そんなに多分、時間からしたら少ないとは思いますが、私が人としゃべらな過ぎで、その、印象が強いんですよ。いや、私、多分、あんまり、まあ確かに何人かしゃべってましたけど、ほとんど、あの、自習室の前で結構、休み時間とか、集団でしゃべってる人いるじゃないですか。そういう、仲間に入るのが苦手になっちゃって。まあ、でも別に、塾だからしゃべんなくていいし、学校じゃないから仲良くなくてもまあ別にいいかなと思って、まあちょっと内心、寂しくはあったんですけど。まあ、1 年やり切れば、

まあ別の学校に行くわけだしとか思って、ちょっとひねくれてたのかもしれないんですけど。

ちょっと、ちゃんと、今までよりもちゃんとしないと本当に 1 年で終わらないぞって思って。で、もう絶対、1 年で終わらしたかったんで、それでまあここはちょっと心を閉ざしてました。はい、自分の世界だけにしようと思っちゃって。まあ、ちょっと、それが悪い、なんか友達と切磋琢磨して、こう高めあっていくところでは、ちょっとそれ、できなかったんで、まあ、もったいなかったかもしれないんですけど、でも、多分なんか集団でしゃべってるより、やっぱりその、受験が近づいてくると愚痴のほうが多くなってたりするんで、だったらまだなんかマンツールのときに先生としゃべってたほうが、まだ、なんか、ためになるし。例えば、三ツ橋先生がマンツー、取ってたんで。三ツ橋先生と、成績が出たときにこんな感じになりましたみたいな感じで、ちょっと相談したりとか、なんか基本的にそんな悪いことは言わないですよ、先生。まず、いいところを褒めてくれるんで、それがすごくなんか精神安定ですよ。

## 落ち込んだ時は、考え方、切り替えましたね。

あの、M5、ずっと M5、M5 だったんですけど最後に A1 になって 1 個クラス落としちゃったんですよ。なんか、すごい、帰った後にもものすごい、なんか落ち込んでますっていう雰囲気を出しながら帰るんですけど、でもなんか、ふいになんで落ち込んでんだろみたいな感じの気持ちになるんですよ。まあ私、塾の帰りにあの坂? 桜のあの坂。はいはい、渋谷駅行くまでの坂で、すごい音楽を聴くのが気分転換だったんですよ、帰りに。だから例えば 11 月とか 12 月とか、ほんとに直前のときは、なんか、もう逆に暗い曲聴いてましたね。ファイトソングっていうのは疲れるんですよ。もう頑張れ、頑張れとか言われても、なんか頑張ってるから。もうなんか、あんまり心に染みなくて、それはもう 4 月までで終わりなんですよ、そういう歌は。暗い歌っていうか、なんかニルヴァーナとか聴いてて。いや、暗いっていうか、ちょっとなんか病んでる感じじゃないですか。で、家帰ったらお風呂入って。ちょっと泣いて、でもなんか次の朝ぐらいにはもう結構忘れてるんで。それで、・・・あの、代官山内では使ってないです。音楽禁止なんで。使ってないんですけど。帰りますよ。帰りにちゃんと電源を切ってたのを、その坂でびって入れて、で、ああ、聴こうと思って、それがすごい気分転換になってました。ニルヴァーナ聴いてました、フフ。

うーん、お風呂の中でふいに涙がつって出たときありましたよ。

ありましたけど、でも、なんか別に、泣いたら結構すっきりするんで、お風呂で泣いてました、ばれないんで誰にも。フフフ、はい。家のお風呂で泣いて、その後すっきり。

なんか、まだ受験も始まってないし、なんか落ち込んでんのも何してんの？みたいな。だからなんか別に大学もなんかまだ2浪するって決まったわけじゃないし、まだなんかテスト何回かあるから、別にそんなに大したことじゃないって思って。いや、もう私はM5だと思ってM5のつもりでもうなんか、やり切りました。私、M5だしみたいな。別になんか何だろう、心に、心はそう思ってもいいよねと思って。私はずっとM5だったと思ってました。実際のクラスはA1だけど心はM5みたいな。まあなんかでも結構それが、そういうずぶといとこがちょっと、なんか本番で生きたのかもっていうのは思います。

### 薄先生の授業が物凄いインパクトだった。

数学取れたのは結構、勝因だと思いますけど。まあやっぱり薄先生の授業がものすごい、まずインパクトが最初の大きかったし。もうちょっと分からない人なりに考えるみたいな、数学が苦手で分からない人なりに考える視点がものすごいんですよ、薄先生って。だから、なんか今まで会った先生だと、なんか論理、論理からちゃんと考えましようとか、そういう先生が数学は多かったんですけど、そういうことやってる場合じゃないから浪人生だしそういうことやってる場合じゃないから、もう、おまえら、もう、この方法だみたいな感じなのが、すごいハマったっていうか。

まあ、だからそれが、まず面白いじゃないですか、授業が。だから聞いてて、こう印象に残るんですよ。

すごく、だから、数学は最後まで苦手ではあったけど、でもやっぱり全体的に、その自分のまあ高3のときから見たらすごく伸びてるし、それはすごい、薄先生の授業が一番、印象に残ってるのがあります。あと、数学の太郎先生が最初の授業のときに、数学が苦手な人は授業で、やった内容とかを「もっかい思い起こしながら自分の字で板書書いてみるといいよ」っていうふうにおっしゃってたんで、それでやろうと思って前期

のスタンダードは全部それ作って。いや、でも、やっぱ、あれやんないとちゃんと、インプットされてないときあったんで、あとやっぱりその、自分が疑問ないと思ってても、もっかいやってみると、なんかやっぱよく分かんないかもっていうのはあるんですよ、幾つか。だから、そういうのをもっかい、うーんって考えたり、あの、する機会がそれでできるんで、もっかい授業受けてみたいになるんですよ。だから確かに時間取られたのはあったけど、自分は数学が苦手だったんで、もうそれぐらいやんないともっと沈んでました。絶対、そう思います。

### 朝たるむと成績が下がる、それがバロメーター。

なんか波があって、初めはまあ大体、7時とかに来てたんですよ。4月5月とか。で、なんか急に夏ぐらいに、なんか起きるのが遅くなって、なんか7時半とか、まあ遅かったらもう8時とか、そういうときもちょっとあって、だから成績がたがたしてるのと朝起きる時間がたがたしてるのって、結構、比例してるなと思って。

たるむと朝、来れなくなって、そうすると成績も下がってって、それがバロメーターです。

でもなんか、朝一番早く、もう6時とかに来てるほうがいいとかっていうよりは、自分の合った時間にずっと同じ時間に、だから7時半とかだとしてもまあ、とかもって言っちゃえば8時だとしても、ずっと8時に来続けてるほうが安定するんで。でも、えっと、あの一、なんでしたっけ、高3の現役の。宮永さんじゃなくて、東京女学館の、塩尻さん。塩尻さん、ものすごい早く来てて。だから私も開館と同時にあの、来てたときは来てた時期もあったんですよ。もう暗いときから夜、夜みたいな感じというか。夜、夜みたいな、まだ陽が上がってないし。上がってないときに、あそこの入り口のところで並んで来た時期もあったんですよ。その時期に塩尻さんが、まず現役だから制服着てるじゃないですか。学校きょうあるのに来るの？と思って、朝来るんだと思って、で、まずその開館と同時に入ってタイムカード押して、もうなんかさっそうとこう、上がってって勉強を淡々として、私、席が向かいだったんですよ。なんか、すごいなと思って、うん、何だろう、リズム崩さないってこういうことだなと思って見てたんですけど、まあ、でも、私はちょっとそこはちょっとまあ直せなかったですね、直前のときに。なんか、すごいと思います。いや、さすが、そのたまものだと思います。本当にすごいと思います。

何ていうかな、なんかほんとストイックっていう、自分はまだそこまでストイックになれてなかったっていうのが。いや、まあ高3のときよりはそうなりましたけど、うん、でも、でも上には上がいるんで、エヘ。でも、そういうのがあったから、ちょっと、そういう早く来なきゃっていう焦りを感じつつ、焦りがないと行動できないんで、そういうのをちゃんと感じながら





来てたんで、やっぱり、それがない、全く比べる人がいない環境とかだと、だれたらもうとことんだれていくだけなんですけど、それを回復、だれてて、でもやばい、やんなきゃっていうふうに思わせてくれる要素がいっぱい塾の中になんか散らばってるんで。

鈴木さん（鈴木美結：昭和大医学部進学）、上のクラスの鈴木さんって女の子でいたんですよ、えーっと。

上の M2 とか M1 ぐらいの方で鈴木さんって。いや、でもまあとにかく上の M2 のクラスの人とかで早く来てる子いたんで、まあ、なんかやっぱり上にいるからには理由があるんだなって。

### シータの授業は当ててもらいたかった。

石井先生の授業は大体、いつも 2 列目ぐらいの所に座って、まあ 2、3 列目のぐらいの所に座ってて。

ちょっと 1 列目はちょっとなんか、あの、ちょっとまあ自信がなくて。やっぱちょっと、あとまあ普通に首が痛くなるかなと思って。1 列目はちょっと座んかったんですけど、2 列目の端っことか、まあ右端っことか左端っことかぐらいに座ってて、で、なんか始めのほう結構なんか当てられてたんで、なんか当てられるとやっぱり、ちょっと嫌だっていう気持ちもあるけど、まあ、うれしいんですよ、存在をちゃんと確認されてるってことなんで。だから、すごく当ててほしかった、なんか、当ててほしいっていう、こう視線を送ってました。

うん、当ててほしいんだったら、あの、あっ、でも逆に先生は、ちょっと、ぼーっとしてる人を当ててるっていう傾向もあるんで。だから、ちょっとぼーっとしてるふりをしてるときありました。

当ててもらうために、ちょっとこの辺、こう見たりして、ウフフ。でも、本当にぼーっとしてたら当たったときに答えられないから、ちゃんとぼーっとしてないんですよ、自分は。でも、当たって、じゃあ、「鈴木優」って言われて、ああ、何とかですとか言って、まあ、その正解したかどうかにかかわらず、とにかく存在を認められてるってこと自体がうれしいんで。あとでも、やっぱり、あの、1 週間に 2 回、シータの授業があるから。1 週間に 2 回あるから、あのー、なんか結構、月曜日はやる気があったとしても、なんか、だんだん終盤に行くにつれて、まあ、だれてきたりする。病んだり、あと、ゆ、自分に対して甘くなったりあるんで。そういう心を定期的に引き締めてくれる授業なんで、あとやっぱりその、石井先生しか、もう知らないような、あの、医学部の内情、内情っていうか、まあ小話みたいなのもいっぱい話してくださるし、やっぱりあの、他の普通の塾でしか、あ、普通の塾ではなんか聞けないような情報とかも教えてもらえるんで、そういうのを聞いて、何だ、そういうのを聞いて、まあモチベーションが上がったりもするじゃないですか。

だから、あの、モチベーションの維持は自分の精神もあるけど、あの、石井先生の言葉とか、一つ一つの言

葉とかでも結構なんか、その、感銘受けたらノートの隅とかに書いて。ちょっと書いてました。例えば、何だろう、つるんでる、大体、人とつるんでるやつっていうのは、自分よりも成績が下のやつとつるむとか、そういうのもなんか、まあ、ちょっとそうかもと思って、フフ。だから、そういう気持ちでつまらないようにしてたんですよ、なんか。だから自分がつまんでなくても、それを正当化してくれる一言だったんで。

だから私はつままないんだと思って。ちゃんとノートの端っこ、いっぱい書いてました、フフ。

### 1 年振り返ってみて…今思うこと。

終わってみてです、はい。本当にあのー、受験が始まるまではってか、まあ東医の合格が 1 次、合格通るぐらいまでは、なんか本当、実感がなかったんですよ、どこに受かるかっていうのが、だから終わってから思えることは、とにかく自分を信じるっていうか思い込むこと、都合のいいように思い込むことがいいと思います。受験直前に一番必要だったのは私、やっぱり自分を、なんか自分を本当に信じるって、まあ自分を信じるっていう言葉よくあるじゃないですか。

あれの意味がよく分かってなかったんですけど、なんか受験終わってから、やっぱり私って自分を信じてたから、結構なんかいい調子で受かったんじゃないかなって思って。なんか何だろう、今までこう代官山で積み上げてきたことを、自分のやったことだけを見るんですよ。他人がこれをやったとかじゃなくて、自分がやったことだけをちゃんと見て、これぐらいやってきたから準備してきたから、もう自分を信じるべきだって、もう最後はそうやって思ってやったほうが、なんか、それが一番分かれ目だと思います、受験の直前だと。やっぱり自分をちゃんと信じてるか信じてないかとか、まあ、ちょっとメンタル的なところで差があるんじゃないかなって私は思うんで。代官山、本当にやっぱり浪人生活、ここに決めて間違いはなかったし、うん、なんかやっぱり、まあ学業、学業というか、その、科目のあの、学業の面でもすごい質がいい授業もあるけど、それ以外の、メンタル面で支えてくれる人も、まあ先生以外にも、さっき私が言った事務の方とかも、もうそこにいる全員が本当に合格のためだけにこう、生徒のことを見てくれるんで、もうそれがすごくあのー、良かったので、あの、ぜひ、ぜひというか、もう本当に迷ったら代官山に来たほうがいいと思います。

卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

東京女子医科大

2次合格

愛知医科大

2次合格

埼玉医科大

2次合格

金沢医科大

2次合格

ウイークリーは、基礎的でありつつも、本当、  
入試本番でも出る重要な分野たくさんあるので、  
そこで点数をしっかりと取るっていうのは、結構、大事。  
マンスリー載れないから、せめてウイークリー  
だけでも載ってやろうって思って。名前載ると、  
うれしいから、モチベーション上がりました。

東京女子医科大進学 田中 理絵 さん(新潟明訓高校卒)



### クラスはA8でした、最初。

クラスはA8でした、最初。行った所は、東京女子医科大学です。1次が出た所は、女子医、愛知、埼玉、金沢。4つです。で、2次が来た所は女子医、愛知、埼玉、金沢。全部、来ました。フフフフ。でも、待ってる時、いやあもう、本当に、結構、しんどいです。もう、することないし、もうなんか、掲示板見て……。見て、わあみたい。今年も危なそうだなと思って。で、草野(草野真理：東京女子医科大進学)が、もう、割と早めに北里来ちゃって……。だから、もう、それでも、周りが来ると結構、焦るし。最初、(最終2次合格)来たのが愛知。36番。来ないかなって、無理かもって、そう、(愛知)正規合格で、たくさん取ってるから……。結構……。90人ぐらい多く。それが全部、はけてだから、結構、厳しいかなあと。来た順番は、愛知来て、埼玉がその2日後ぐらいに来て。で、ちょっと期間空いて……。

埼玉はすぐ蹴っちゃった…その後、金沢で……。ただ、女子医は無理だと思ってた……。フッ。本当に。女子医、89番。去年、だって、ぎり、来て……。91番とか。そしたら、女子医も思ったよりねえ、がんがん流れて。最後、結構。でもなんか、ほんつとにばたばたしてて、荷物を送り返したり、愛知に行った荷物を、フッ。家も探したり。で、すぐ入学式あったり。結構、近かったから。3月の30。女子医がぎりぎり。まあ、親はどっちでもいいって感じだったけど、でもやっぱり、父親が割と女子医推しで、やっぱり、実家から近いのが、一番大きいです。

### 代官山を選んだきっかけっていうのは。

代官山は、当初はあんまり来る予定じゃなくてえ。二つ予備校見に行って、少人数の所に……。みたいな感じの所。フッ。もう覚えてない。でもなんか、取りあえず時間あるから面談来て、お母さんと。石井先生と面談して、なんかそのときに、一番可能性、自分に可能性が見えたのが代官山だった。なんか、下のクラスからでもいいっぱい受かった人がいて、なんか結構、浪人決まって絶望してたから……。浪人決まって、この世の終わりみたいな。フッ。本当に落ち込んで、なんかもう、親に当たるしかないみたいな生活。なんか結構、関係性も悪かった。「あなたの存在がストレス」とか言って。もう逃げるように、取りあえず家出したいって思ったりして。そんな、どん底にいた。なんもう、何もやる気起こらない感じ、体、毎日重いみたいな。フッ。携帯を12時間以上、ずっとこう、いじって。寝て、YouTube見てみたいな。そう。廃人。本当に廃人。フッ。でも、歯学部も受けてたから、歯学部は、結構、受かるんじゃないかって思って。昭和の歯学部。フッ。ちゃんと落ちました。ええ、でも数字と英語は、なんかその、まあ、そんな難しくもなかったから、アハハ、結構いけたかなって思ったんですけど……。物理で多分本当、5点ぐらいだったかな、多分。そんぐらい

しか取れないんで。私もともと、化学を高3で諦めて、ほぼ勉強してないっていう。だから、去年受けたのが、帝京と東海で、化学切って受けたって感じ。3科目で受ける所……。そこしかない、フッ。ちょっとなめてるっていう。歯学部も落ちて、じゃもう、絶望のどん底。本当にそんな感じ。親もやっぱり、浪人するなら東京でやったほうが絶対いいって言ってたから、もう乗っちゃって、よし、家出ようみたいな。少人数の小さい予備校は、んー、親が、やっぱりメンタルが弱いから、こういう競争、代官山ってなんか、競争させられるから、なんかその中で絶対付いていけないって、多分、考えたらしく。なんか、少人数の所で手厚くやってもらったほうがいいんじゃないかってことで。エッヘヘ。フッ。お母さんは、特に、んー、なんか私も、なんか、少人数の小さい予備校のほうが、最初はいいかなあって。でえ、自分も、そういうふうに思ってたんです。半分決めてたっていうか、もう、メディカルフォレストさんに。多分、通うんだなあと。そう。自由が丘にあつて。ちょっと、土地勘があんまりないから、向こうも見てきました。でも、やっぱり、授業数は少ないし、なんか、うーん、生徒も少なかったから、やっぱり、自分に甘いから、ここじゃ無理かなって、正直思った。フッ。フッ。うーん。お母さんには、もう、そのメディカルフォレスト見に行った後に代官山に来て、で、もう、代官山の外出たときに、もう「やっぱりこっちがいい」って言って、フッ。代官山にした。入ってみたら、草野(東京女子医科大進学)と河野廉太郎(福岡大医学部進学)がいて、フッフッ、ビックリして、もともと幼なじみだったから。小学校一緒に。廉太郎も一緒に。草野と廉太郎は県高で、私だけ中学受験しちゃったからそこで別々に。なっちゃった。

### マンスリーはすごく気に入りました。



(マンスリーで)名前載ったのって、化学は途中3回ぐらいで。物理は1回。でも、全体で、やっぱり載りたくて。一つの科目とかだったら載れることはあったんですけど。やっぱり、全体で載れることなくて、本当、最後だけ。最後だけ総合載ったって。フッフッ。多分、その前、前と前の回で、結構、悪くて、それが逆に悔しくて、最後…。頑張ったかなって。絶対、高分子来ると思って。アハハ。フッ。絶対、高分子と思って。高分子だけ、固めていきました。そしたら、がち来て、よしみみたいな。やっぱり、あの、載るのってというのは、燃える、めっちゃ燃えます。なんか自分も載るっていうよりかは、その、だから、なんか、仲いい友達とかが載ってると、わって思って。草野とか、やっぱり、奥村とか。2人とも、本当に、なんかやばい、全然なんか分かんないみたいな感じにしてるけど、ちゃっかり取ってくるから…。こやつと思って、いっつも。で、マンスリーが伸びないときって、なんか。やっぱり、マンスリーが伸びないときは、この『合格への軌跡』を読むっていう。あの、下のクラスから、受かった人を探して、もう、フッ。田中瑠さん(A9から杏林大学医学部進学)とかあと、井上瑞木さん(A8から日本医科大進学)とか、そう、なんか、下のクラスのから受かった人。そういうのを見ると、やっぱり、全然なんか、諦めようっていう気持ちにはならない。フッフッ。だいぶ、成長した。そう。本当に、成長したし、明るくなったし。フッ。お母さんに当たってばかりで、高校ときもなんかもう、アハッ、学校行くのも嫌で。いや、もう、落ちる前からもう、行くのしんどくて。学校嫌いだったんで、なんかその、勉強できないから、その授業中とかも、演習の時間が高3で多くて、でも私、何もできないから、周りががりがり解いてる中、1人何もすることなくて。そう。授業切って、更衣室で、寝るみたいな。アハッ。あんまり、人とも口利かなかったりそう。なんか、人見知りなのもあったけど。あ、でも、最初、そうでもなんか、本当、A8のクラス、すごい良かった。ウフ。廉太郎とか葉山君(葉山稜太:埼玉医科大学進学)とか。

### 化学は春のさきどりから基礎の基礎からやってもらいました。

やっぱり、私はもともと、すごく低かったんで、通常授業じゃ、結構、追いつかない部分もあったので、マンツーマンは前期から2セット入れてました。小林先生。基礎からも全部。有機化学が特にできなかったの。ばっちりやってもらって、炭素骨格から。本当、基礎の基礎からやってもらって。結構、春の先どり期間から、取って。で、春の先どり期間で、ある程度基礎固めて。結構、早く来てて、こっち、2月22日に来てた。でも、一番最初の授業、多分、3月だった気が。それで、ま、練習。有機化学は結構、練習用にやって、点数が取れるようになるから。毎日、結構、毎日、あの、構造決定とか。あと、1学期に入って、レギュラーのテキストで、なんか結構、私、分からないとすぐ聞きにいつちゃうタイプだった

んですけど、なんか、三上先生に、一回その夜間で厳しく言われたっていうか。そんなに厳しく言われてはないけど、なんか、もっと自分で考えろって、すごい言われて。そのときに、なんか、ああ、もっと自分で確かに理論化学とか考えないとできるようにならないなと思って。そこから結構、意識変わって。まず自分で資料集とか見て、調べたりしてから、やって。で、その自分の考えを、先生に質問して、合ってるかどうか聞くっていうのを、結構、やった気がします。うーん。なんか、理論化学は、なんか結構、流れみたいなの大切だから、公式だけ覚えてるだけじゃ、その分からないことも多かったから、それはかなり力になったなと思って思います。

数学は、前期のテキストをひたすら繰り返しました。ええ、でも、私、結構、でも本当に数学、最初分からなくて。1回目のマンスリー15点だもん。なかなか、でもテキスト5回回せてないと思います。なんか、そこまで、時間取れなくて。他の教科のバランスとかも考えて。でも、できない所は本当、4周ぐらいはやったと思います。最初、数学偏差値37.8ですよ。フッ。それから、50まで、2回で到達して。ま、あと、いろいろ下がったりもあったけど、最後、58.8。そう。アハ。最後、結構、いけた。前期のテキストずっと繰り返して、ま、基本的に、それが一番大きかった。もう一回自分で解いて、で、解けなかったら答えをもう一回にチェックしてって、なんか、そ、考え方自体もよく分かってなくて、もう本当、覚えるぐらいの勢いでやって、でも、その本当に分からないときなんかは、なんでこの作業をしなきゃいけないのかとか、分からなくなったら、もうすぐ質問に行って、えっと、長澤先生とかに助けてもらった。そう。結構、でも本当に、意外と数学って、なんか、経験値みたいなのも結構、大事になってくる問題とかあるから、そういうのはもう本当に、流れを覚えるぐらい復習してた気がします。でも、本当に、前期のベーシックの数学のテキストが、一番力付いたと思う。

物理は寺澤先生と数学、佐藤祐先生取ってたのかな。佐藤祐先生めっちゃめっちゃよかった。なんか、相性がすごい良かった気がします。あと、物理の柳瀬先生。そう。柳瀬先生も、なんかその、後期、スタに上がってから授業に付いていけなくて助けてもらった。熱力学は、多分、うーんと、金沢と女子医で多分、熱力出て、私、熱力だけは、本当結構、アッハ、得意で。あの、寺澤先生の熱力、本当に分かりやすくて。本当、私も結構、できるぐらい、得意になったぐらい、本当に分かりやすくて。でも、熱力来たときは、もうラッキーと思って。取りにいつて。取れて。そう。ほぼ、完答してると思う。そじゃ、熱力が来た所は、結構、いい成績が…。そう。女子医と金沢。埼玉は、多分、物理、難し過ぎて、埼玉、本当に問題難し過ぎて、多分、あんま差がつかなかったのかな…。愛知は、もう本当に、先生のおかげです。もう、いろんな先生のおかげ。ほぼ、



問題当たったのが多くて。テキストの、そう、テキスト、その直前の、三井先生の授業のテキストとか、そのまま出たし。数学もそう、マンツープリントから、結構出て。なんか、ボーナス加点がたくさんあったなっていうイメージ。それはちゃんと復習したから覚えてたことで、やれって言われたことをきっちりやった。本当に、今年は結構、大人のいうことを聞こうと思って。フフ。やさぐれないで。

### 合格してみても思うこと：ウイークリーの重要性和落ち込んでも休まないこと

結構、私は1学期からベーシックレベル、ずっと、最初のほうは、ウイークリー受けて、で、結構、その、やっぱ、基礎的でありつつも、本当、入試本番でもこう、出るような、重要な分野たくさんあるので、そこで点数をしっかり取るっていうのは、結構、本当、大事だったなと思います。マンスリー載れないから、せめてウイークリーだけでも載ってやろうって思って。結構、名前載ると、うれしいから、モチベーション上がる。ランキングに(名前が)出なかったときやマンスリーで落ち込んだ時は、自習室で、泣いてたこともありますね。でも、泣くとすっきりしちゃう感じ、結構、もう。もう次、取れ、取ればいっかあみたい。そう。なんか、そこで駄目になっちゃうのももったいないなあと。思って。だいぶ、成長したっていうか、だって、親に当たってたのに、そう。本当に。何度も逃げたくて、もう、全部、いろんなのに理由付けてもう。そう。一応、逃げたかったかなって。アハハハ。一応、やり切った感。最後まで。さっきの少人数のとき(メディカルフォレスト)に行ってた、自分の位置もわからないまま落っこってたと思います。間違いなく受かってない。うん。間違い、いや、もう、本当、代官山じゃないと絶対、駄目だったと思う。うん。本当、駄目人間だったから。こういう所じゃないと本当に、もう、駄目。絶対、無理。ウフ。絶対、無理。

### 最後になんか言い残したことがあれば。

言い残したこと。何だろう。代官山への感謝。やっぱ、その、そのいろんな予備校がコロナで、こうオンライン授業になる中、やっぱ、4月から、本当、対面授業で、本当、授業受けられたっていうのが、本当にすごく大きかったなあと。思って。あのその、4月からの対面授業なかったら、やっぱ、こんなに成績伸びてないと思うし。だから、本当にそこは、感謝しています。あと、その、先生とかも、結構、感染症対策で、毎日、窓を開けたり、もう本当に。もう大変だったと思う。雨の日も、窓開けて・・・。

もうびちょびちょになったりして、本当大変だったと思うんですけど、そういうところも徹底してくださって・・・。本当に、ありがたい。1日も体調崩したりせずに通いきれたので、本当、先生がたのおかげだと思ってます。現役の時は、映像授業、衛星予備校だったので全然だった。いや、もう、集中力がもう、ぜん

ぜん違う。フッ。本当に。今も大学でオンライン授業あるんですけど。ああ、もう、すぐ、違うこと考えるし。ヒッ。もうなんか、パソコンとかで見て、他の通知来たら、そっちすぐ行っちゃうし。もう絶対、対面じゃないと駄目だと思う。

それと、2次落ちしなかったこともですね、感謝です。結構、運良かったのかな。いやあ、でも、本当、ヒロ先生(高橋浩先生)にも、結構、厳しいと言われるぐらい、え、なんか普通に、愛知と女子医の対策してもらったときも、なんか、「よくそれで本当、愛知補欠の番号来たねえ」とか、普通に。言われるし、夏、マンツーマン取ってたときも、結構、しゃべれないから。高校時代のこと聞かれても、あんまり記憶ないから、答えられなくて。もう、つくるしか、そう、だから、でっち上げるしか。フッ。そう、でも、やっぱ、ヒロ先生、すごい。すごいです。いろいろアドバイスしてもらって、そのとおり、本当にやりました。あ、結構、2次回ってきたってことは、本当に4校とも2次来たってことは、2次対策がよかったことで・・・。一個も落ちてないんで。



卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

|        |        |
|--------|--------|
| 東京医科大  | 2次合格   |
| 愛知医科大  | 2次正規合格 |
| 東邦大医学部 | 2次合格   |
| 杏林大医学部 | 2次合格   |

本当、基本的な教養がないんで、  
常識がないんで、“ブラックリスト”(面接要注意)  
に入ってるんすよ。いや、論理性とか、  
本当にゼロで、ヤバかったす、ほんと  
ヒロさん(高橋浩先生)のおかげですね。

東京医科大進学 大塚 新太郎 君(桐蔭学園高校卒)



## 1 次受かったところ、2 次受かったところ、進学先を教えてください。

はい。大塚新太郎です。進学先は東京医科大学に進学しました。1 次受かったところは、愛知医大、岩手医大、杏林と帝京、で、東邦、それと、昭和 1 期、あと東医。2 次が来たところは愛知と東邦と、杏林と東医。7 戦 4 勝みたいな感じです。最初は、なんか高 1 のときかなんか、他の医専予備校とか、英語だけの塾とか、そう、なんか合わせて 3 つぐらい掛け持ちしてたんですけど、どこだっけな、医専で赤羽橋に生徒が 2 人ぐらいの塾があって、あとは、高校の近くのちっちゃい塾と、あとは、あれっすね、市ヶ谷の T 医進学院に行っていました。その、高校の近くは、英語だけで、P●東京は、英語と数学。で、T 医進学院で、理科と数学。え、ちょっと数、数弱だったんで。今思えば、すごく士気が低くて。あんま、やる気が出なかったっす。で、まあ、ちっとなんか、その一つの塾に絞りたいなってことで、なんか全部の塾に、まあ、不満もあったんで、高 3 から、この塾に絞ろうかなってことで、代官山 MEDICAL を。まあ、一つに絞れたかったんで。不満は、英語の塾はなかったんですけど、他のちょっと二つが、あまり良くなかったなっていう。人が少ないんすよ。全然いない。実績とか。

## 現役のとき、それなりに頑張って 1 次が出たけど、やっぱり何が足りなかったと思いますか。

高校の時、現役の時、聖マ、1 次 1 個、受かったんですけど…、まあ、今年浪人になって思ったんですけど、振り返ってみて、頭の使い方とか、思考力が足りなかったなと思います。いや、浪人になって最初、M1 に入れたんですけど、ちょっと周りのレベルが高過ぎて、やっぱ、ちょっとこれ、全然自分、考えられていないんだなって自覚して、肌感覚で、そこから結構、考えるようにはなりました。浪人してっすね。現役んときは、もう、ちょっと努力が足りてなかったなと。え、なんか、ただ、無心で手を動かしてただけなんですよ、現役んときは。そう、頭を使わずに。いや、1 浪んときには、なんかその問題の中でも、なんかどこが大事なんだろうとか。そう、なんかピンポイントで、全部要所要所押さえてったところが、良かったかなって思いました。東医は 53(補欠番号)っすね。そうっすね。それで、結局、回って来て。なんとか、2 回目発表(東医の 2 回目補欠発表)だったんで。1 回は、1 回目(補欠繰り上げ)発表は、たしか 38 か 7、とか。そこら辺でストップ。で、蹴っちゃったやつは蹴っちゃって…、はい、ほっとしました。でも、なんかたまに不安で、1 回目の発表前から、石井先生のところに行って、なんか、東医(僕回って)来ますかって、結構質問っていうか、聞きにちゃってて、え、元が心配性で、え、不安だったんすよね。でも、ちゃんと相談乗ってくれて、え、石井先生は優しいっす。アッハハハ、ハー。本当。助かりました。アッハハ。いや。だって何回行ったか、覚え

てない、先生んところ、相談に。先生忙しいところに、でも、僕のために時間取ってくれて。いや、そうっすね、一生懸命、一応、本当、忙しいの知ってます。

でも、今年、東医うち、多いっす。11 ? 11 人っすね。え、鈴木優と(松脇)伊吹と、あと、現役が 2 人と。あと鈴木雄哉と、(鈴木)航大。スズキばかり、ハハハハハ。いや、今年、なんかスズキ 6 人いるっす、東医の中に、あと、近藤有香。あ、あと国香。あともう一人いたな。あ、そう、グループ LINE があるんで、なんか、誰が受かったんだらうなって調べて、そうなんす。あ、あと、益田っすね。アッハハ。

今年、東医結構、小問系は結構、好きだったんで。301 が合格最低点かな。500 点満点で。成績開示できるんすよ、東医。受かって(開示)できるんすよ。アッハハ、ハハ。英語は(制限時間内に)終わってないっす。英語終わってないっす。量が多過ぎて。最後がなんか日本語の、なんか加わったんすよ、新しく。そこが、丸々 1 個終わってない。和訳っていうか、日本語で示せみたいな。マークじゃなくて書くところがあって、みんなできないかなって思って。マークのほうに時間使っていました。マークのほうは終わりました。数学が 77 点で、物理が 69 で、化学が 54 で、英語が 67。合計が、面接 20 点、小論文 30 点で、317。500 点満点っす。面接が 40 点で小論文が 60 点なんすよ。あれ、いや、100 点、100 点、100 点、100 点。いや、なんか大体、受かってる人は、小論文面接で、合計して 50 点以上の方が多かったす。で結構、301 が最低で、317 って割とぎりぎり。16 点差で。あ、それで補欠だったんだって。なんか自己採点だと、なんか 4 ミスぐらいかなって思ったんですけど、もうちょっとミスってたかな。でも、結構、数学で助かった、数学で。そうっすね。

## 浪人生活突入で、途中へこんだときとかはどのように？

いや、だいぶ、へこみました。メンタル。取りあえず、石井先生のところ行って。もう、そのときに、なんか「失敗するだけ失敗しろ、失敗からなにか教訓得るって」みたいな、言われた。「君は一回、普通に失敗したほうがいいよ」みたいなって言われて、割と心を救われました。それから、その緊張しない自分なりのルーティーンみたいなのを作ったんす。え、この、この腕を伸ばして、そう、本当に、本気でその試験始まる 10 秒前にこうやって、こうやって伸ばして、で、背でってやると緊張、取れるんすよ。これ、まじで。え、だから、そう、そこから上がってって、本番でもやって、ずっとやってきました、マンスリーごとに。今でもやってる。

腕をこう組んで、前にこう伸ばして、こうほどうて、それ 1 回やって京極(東京慈恵会医科大進学:京極政樹)がなんか 1 回なんか、どっかで失敗かなんかしたときに、「これ、やってみるといいよ」って、失敗してました。アッハハ、ハハ、ハハ。もう一回失敗してた、失敗してます。ウフ。だから、ちょっとあんま、効き目はな

いと思います。そう、ちょっと仲悪いんで。いや、仲悪いんすよ。ちょっと諸事情があつて。

### 浪人の1年で、自分自身、変わったなあと思うことは。

いや、もう、本当、現役よりかは、自分的にはもう、めっちゃ成長した感じがしますね。なんか頭ん中で考える力とか。現役で、聖マ2次(合格)来てて、行ってたら、留年してましたね。アッハハ。いや、本当に。本当に。え、でも、多分、最初に M1 に入れたことが、めっちゃでかつたっすね。でも、M1 から、最後、M3 に落ちましたけど。そうっすね。M...M1、M2、M3 って感じ。いや、でも、まあ、石井先生に、なんか順位的にはまじで、M5 ぐらいまで落ちる順位だったんですよ。でも、めっちゃショック受けて、石井先生に「ちょっと M3 にしていただけないでしょうか」みたいな。アッハハハハ。うん、言っちゃった。M3 がいいなあ、みたいに、ちょっとなんか、「M3 にしてもらえないですかね」みたいな。俺、ちょっと、言っちゃ駄目かもしんないっすけど、M3 がいいなあ、て言ったら、アハ。M3 にしてくれて、それで、もうそっから、え、元からなんか M1 は無理だったんすよ。テキストレベル見ても。M1 の TOP レベルは、もう証明とかばっかで、なんか自分がいるようなレベルじゃないなって思って。M3 ぐらい、M3 ぐらいって言っちゃあれだけど。なんかトップからスタンダード行くのもちょっとあれかなって思って、アハ、ハイならまだ、メンツが保てるかなってことで、M3 にしてもらいました。ま、どんなにまじくそな点とっても、M1 から A9 にまで急降下はないらしくて、1 か月先、2 か月先を見据えて、僕がその先の伸びるようなレベルを、テキストを合わせてクラスを決めてくれました、エッヘ。

いい友達が、見つかりました。ヤマちゃんとは、ずーっ



と仲良くしますね。そう、なんかヤマちゃん(東京慈恵会医科大進学:山田祐輔)とマチダとマチパン(日本医科大進学:町田慧)と、3人でなんか物理の問題をその試験直前まで解いてて、あの2人結局、慈恵と日医だったんですけど、なんか最後まで頭いい人たちと勉強できてよかったなっていうのが大きいですね。そのトップの数学の人たちで集まって、そこはやってて。物理は、3人でやっててよかったです。数学は俺、入ってないんですけど、アハハハハハ。周りが頭が良すぎて、ちょっと自己嫌悪になりそうだったんで、エヘ。俺、止めとこっかなって思って、元から数弱で。簡単な問題は解けるけど、あの人たちがやるの、日医とかだから。

もう復習はしてましたね、3周ぐらいはしてたけど。3周はしてました。いや、もう、だいぶ数学に時間、持てられましたから。そのおかげがありましたね。でも、なんか、他のも結構、現役んとときは段違い伸びましたね。

でも、化学はちょっと結構、微妙なんすよね。知識は増えたけど、もう、伸びないんすよ。あんま。いや、ハハ。いや、化学変わってないんすよ、本当。

### 数学や化学は伸びましたか？

なんか、一般化するのなんか、薄先生が言ってたこと全部なんですけど、そう、なんか一般化して、大事なところだけをピンポイントで押さえて。で、そう、なんか初見の問題が来たときに、なんか貯蓄があつて、そのピンポイントで、あ、これはこれだ、これはこれだって、どんどん入れてくみたいなイメージ、なんです。初見の問題を見て、これ、これじゃないの、あれ、あれじゃないの、みたいな。そうそうそう。知識を。うーん。それで、取れましたね、ずっと。ずっと平パンに教わっていたんで、なんか戦い方が平パンと似てるんですよ。問題を暗記して、ハハハハハ、暗記っていうか、まあ、重要なところは暗記して、だから、その量が人より多いんすよ、自分は。でも、なんか暗記、割といけたんで。もう、ガチ定番は、全部頭に入れて。そうっすね。それで、まあ、あの一、定番じゃないのが出たら捨てて、定番にちょっといけそうなやつは、自分の領域まで持ってきて、そんな感じ。

化学は具体的にやっぱ戦い方が無かったってか、何ていうんだろう。化学は、でもある程度覚えたら、そっから先は多分、センスなんすよ。その慈恵とか、日医レベルとかまで来ると、本当のなんか頭の良さが、出るんですよ。僕は、センスは無かった、そうっすね。詰め込むだけは詰め込んで、暗記はちゃんとしてました。センスとかも磨くのも、いや、限界ってあるんすよ。この人には敵わないみたいな。あとなんか、中学とか、その多分、小学校とかで培われた思考力とか。

### 物理は？

物理は、本当、もう、寺澤先生、恩師ですね。寺澤先



生はすごい、基礎を大事にする先生だけど、それが良かった、そうっす。なんか寺澤先生のやり方が、野村先生とか小澤先生みたいな先生とは、ちょっと違って、失礼かもしれないけどなんか、元からなんか、頭、そんな使えない人でも、そう、なんか分かりやすく解けるみたいなやり方で、それが、一応、自分に合ってたみたいな感じっすね。なんか、すごい分かれるんですよ。野村派か、寺澤派。ハハハハ。でも、寺澤先生の解き方、そんな、そう、最短距離じゃないんすよ、でも、絶対、解けるやり方なんですよ。まあ、あの一、時間はかかっても絶対、解けるぞみたいな。そっちのほうが自分には。合ってた。めちゃくちゃ分かりやすいっす。例えば、これは、こうやってこうやってって、解き方を決めてくれるんすよ、そもそも。でも、自分の暗記と合ってたんすよ、そこが。その解き方を覚えてるだけで、あ、全部の問題が解けるらしいですね。寺澤先生が決めた通りに解いてく、まあ、でも、やり方しか知らないんで、そのやり方しかできないんすよ。だから、時間がある限りは、手が動くかみたいな。東医だって69点、物理。まあまあ。健闘しました。

### 小論文・面接は自信はありましたか？

本当、あの、基本的な教養が身に付いてないんですよ。そう、常識がないんすよ。多分、ブラックリストに入ってるんすよ。てか、入ってるんす。アッハハハ。いや、本当、論理性とか、本当にゼロで。マンツーマン取る前は。まだ、そう、マンツーマンめちゃくちゃ取ってたんで、その、自分だけなんですけど、春から取ってたんですよ。小論文マンツーマンを。受験期前まで、ずっと。それで、ま、ある程度、ていうかも、ヒロさん(高橋浩先生)のおかげですね。勉強ができるようになったのは。それから、いろいろなんか、「え、君、もっと早く考えなよ」とか、俺、やっぱ頭回らないんだみたいなことを思い知らされて、これ、やばいかなって思って、面接・小論文の勉強頑張っていました。素養っていうか、その下地がないって感じ。一般常識も多分無いと思います。周りよりは、全然。どうなんすかね、空気は多分、人並みに、人並みに、と思いますけど。ハハハ。でも、まあ、面接点が20点だから、これは、多分、あんま出しちゃいけないんすけど、ヤマちゃん、満点なんす、東医の面接。いや、ヤマちゃんも開示して、俺に(メール)送ってきて。東医の面接、満点で、小論文は、30点で、同じぐらいっすね。

### 最後に何か、また後輩たちにアドバイスなどあれば、お願いします。

周りの人に感謝ですね。いや、本当に、まあ、一番最初に話し掛けてくれた京極とか。もう、無理だったんすよ、もう正直、友達つくれないとか、無理で、絶対。でも、食べる友達とかはいらないけど、最初にM1で、自分の頭じゃついていけなくて、でも、周りは普通に関わって仲良くしてくれて。そうっすね。頭いい人たちと一緒にいる空間が良かったっすね。多分、東医

とか、受かってないっす。代官山じゃないと、だ、これ、みんな浪人生、言うんすけど、こ、本当に、受かんないんすよ。代官山じゃないと、本当に。そこは、とても感謝しています。チューター、チューターとか空いてないっすか。やろっかな。あと、アドバイスっていうほどのものじゃないんすけど、自分が、結構、伸びたかなっていうのは、そのまあ、周りのおかげっていうのもあるんすけど、ただ、先生に質問していくんじゃなくて、具体的に質問をなんか何が分からないのかを明確にして、質問にしに行ったほうが、そっちのほうが先生も答えやすいし、自分ももっと理解が深まるのになって、思いました。そこは、気を付けてましたね。で、質問に行く前に、いろいろ整理、そうっすね。分からないとこがどこなのかなって。じゃ、ここも…て、整理してたら、なんかあれ？ 質問がなくなったみたいな。それはまあ、それです。そういうときもまあ、たまに。でも、ちゃんと、どこはどういうふうに分かんないとか、どこまで分かっているかみたいなのをちゃんと整理して、質問に行くことができたから、受かったんだと思うし、まあ。

例えば物理とかだったら、考え方は違うんだけど、なんか、どっちも成立してるんすよ。解き方として。成立してるけど、なんか、どこが違うのかなとか。なんか、どっから、何が違ってそういう違う考え方になっているのかなあみたいな、のを、分かったら、なんか、結構、自分は成長したなと思いましたね。そう、だから、なんか1人にはあんま絞んないけど



卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

|         |      |
|---------|------|
| 杏林大医学部  | 2次合格 |
| 北里大医学部  | 2次合格 |
| 金沢医科大前期 | 2次合格 |
| 埼玉医科大前期 | 2次合格 |

2号館の宮永さんとか山藤さんが、  
マンスリーも河合全統とかもすごい上の  
ほうにいたんで、こんな現役生いる  
だなんて、ちょっと失礼ですけど、こんな  
できる子いるんだと思って、刺激でした。

杏林大医学部進学 小澤 実宏 君(山手学院高校卒)



卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

杏林大医学部

2次合格

東北医科薬科大医学部

2次合格

もう原先生は、どんなときでも、  
すぐ質問行けるっていう感じで、  
しかも授業もすごい分かりやすく、  
丁寧に、やるべき順番も、きっちり教えて  
くれるし、去年とは全然、伸びましたね。

杏林大医学部進学 品川 慎之介 君(巣鴨高校卒)

### では、最初に、それぞれ、お名前から。

品川：品川慎之介です。えっと、受かった高校、あ、受かった大学は…、はい、今、行っているところは杏林大学で、2 次出たところが東北と杏林、だけです。いやー、僕、危なかったですね。

小澤：はい、小澤実宏です。受かった学校は、杏林と北里と金沢と埼玉です。結構、補欠が回ってきましたね。代官山勢、12 人いる？うち、あ、13 人じゃなかったっけ…。僕と品川と荒田ほのかさんと後藤駿太君と、竹永さんと、千葉さん、あと平川知宏。と、あの子っす。あの、本館にいた真衣って子です。あー、中村真衣ね。と、あと水谷真奈さん。

品川：あと玲音君と。

小澤：なんか杏林の 10 パーセントは代官山みたいな感じですね。

品川：そうですね。今年 10 パー超えていますね。120(人)で 13(人)とかなんで。

### まず代官山選んだきっかけって？

品川：浪人決まってだらけてるとき、まあ、なかなか身体が動かなくて、そんなときに母が、予備校を探してくれて、(代官山の)卒業生のひとから、そのときに紹介してもらいました。落ちた後って、動けなくなっちゃって。始めるまで、時期があって、そこで、遊んだり、ゲームしてたりしてました。現役のときは、だって勉強してないし、まあ、結構、学校でもやってなかったし、高校の時通ってた予備校では寝ちゃったりしてたんで。はい。受かるわけないっすよね。でもショック、まあ、いや、そこまでショックではなかったほどでも、やっぱ、体が動かなくて。やる気満々ではなかったです。自分はなんかそこまで落ち込むタイプでもなかったんですけど、浪人になって、まあ、親に、くどくど言われんのは嫌で、嫌で。お父さんはあんま気にしないんですけど、お母さんは「もう頼むから今年で、終わりにしてよ」みたいな感じのことは、もう毎日。まあ、気持ち分かるんですけど。はい。ちょっともう、面倒くさかったです。

小澤：僕は、お兄ちゃんつながりで、そうですね、それで石井先生に面談してもらってって感じですね。もう即決でって感じです。で、寮にも入って、食事つきの寮に入っていました。勉強するならなんか無駄な物なくて良かったですね。本当に寝るだけ、シャワーとかもあったんで、そこから高校行って、はい、渋谷から、えーっと、山手学院っていう高校なんですけど、一応、駅だと港南台って駅にあって、大船の隣の隣ぐらいです。まあ、1 時間ぐらいかかってましたね。まあ、実家(小田原)からだ全然遠いんで、はい。最初、あ、名前出していいか分かんないんですけど、駿台行ってたんで、でも、全然、違うっていうか、駿台と。本当にこっち来て、まあ、良かったですね。駿台いたときは、あと好きな科目だけやって、数学とかもう全然やってなかったですね。

品川：えっと、あ、現役のときはメディック TOMAS ってところに通ってました。市ヶ谷のメディック。なんか TOMAS の中でも、なんか医学部に向けた個別のところなんです。まあ、自分が、やる気とかの問題もあって活用できてなかった部分もあると思うんですけど。やっぱり、個別ってなると、なんか闘争心とかの面でやっぱり集団授業とかに比べると、欠けるところもあるし。自習室も寝ちゃったり、たるんちゃって。お金もやっぱ個人なんですごくかかっちゃうし。やっぱここ(代官山 MEDICAL)は結構ウィークリーでもマンスリーでも貼り出してくれたりするので、その点で結構、大きな差があったなと思いました。はい、そのまま行ったら、受かってない、いやー、危なかったと思います。

### 代官山入ってみて、勉強の方法など変わりましたか？ 昨年の自分と比べて。

品川：だいぶ変わりましたね。自分の時間にメリハリがついたっていうか、特になんか、学期ごとに、タームごとに、初めに、スケジュールを出してくれるので、この時間はこれやんなさい、とか、この時間にこの課題をやんなさいとか、自分に合った、足りないところをマンツーマンで補強したり、ここで受けたテストをここで復習するとかっていうのも前から決めることができたんで、勉強しやすい環境でした。他には、ウィークリーとかマンスリーとか、定期的にしっかり、テストをやって、実力確かめさせてくれる場が多かったことは、だいぶ刺激的でした。はい。

小澤：あ、そうですね。僕は現役なんでここに来てから、よかったのは、すごいたくさんの先生がいつもいるところが質問しやすくて良かったですね。駿台だと、先生がすぐ帰っちゃったりとか、予定とかがあったりで、帰っちゃう。あとなかなか人気な先生だと、すごい並んで。普通に 30 分待ちとかは余裕であるって感じですね。ディズニーランド並み。ホホホホ。そうですね。英語とかですごい人気な先生とかは 1 クラス 100 人越えとかあったんで、それだと本当に質問できないっていうか、もう並んでする気起きないって感じでした。並んでる間に質問忘れちゃいますね。あっちだと、対面じゃなくって、リモートだったと思うので、リモート、正直、もうサボれちゃうんであんま良くないですね。聞いているだけだと割と眠くなりますね。

品川：本当 YouTube みたいな感じですね。見ても見なくても変わんないですね。自己責任って感じですね。全部。だから、代官山来て驚いて、あ、僕は本当に先生がいつもいる光景を学校ぐらいしか見たことなかったんで、そこですぐいろんな先生に質問できるとかはすごい良かった、良かったっていうか驚きましたね。

品川：結構これは石井先生が授業内で、何度か、教えていただいたことなんですけど、科目を偏って勉強しないってことですかね。結構、夏休みとか自分の時間が多いとどうしても、自分の自習室で寝ちゃった



り、科目が偏ったりしちゃうがちだと思うんですけど、たとえ、1 個の大問が難しくて、手が止まっちゃったりしても、3 時間とかそんな長い時間をかけないで、先生がいたら聞くなり、いなかったら他の科目に切り替えるなりして、無駄な時間を省くようにしていました。はい。

小澤：僕は 1 日の初めになんかやること全部、書き出して。書き出してましたね。あ、前の日とかに書き出して、それを絶対、終わらずぞみたいな感じでやってましたね。僕はなんか決めたらやりたい性格だったんで、それで割と遅くまで粘って、そうですね。もう無理やり粘ってましたね。先生に言われたことも前の日に次の日やること決めて、そうですね。多分、朝とかに決めちゃうとこんぐらいでいっかなみたいな感じで、ちょっと緩めに設定しちゃうと思うんですけど、前の日だったら、こんぐらいできるだろうって結構ハードル高くいけるんで。あと 2 号館の人はもう単純にすごいなと思って、なんか本当に雲の上みたいな存在でしたね。

品川：今、思い返すと、うーん、やっぱ初めてこの予備校来たときの、何だろう、今までに、なかったっていうことが多くて、今までの、集団予備校とかと違って先生の結構、声掛けあったんで、もうここまで先生との距離近いところもないし、いろんなところで、衝撃感ありましたね。距離と、あと何だろう。自習室の、緊張感っていうか。みんな、みんな、静かに、カリカリやってるっていう感じ。両隣が M1、M2 ぐらいの子だったんで。すごいなんかちょっと、いづらかった。ちょっと居づらかったです。迷惑掛けちゃいけないと思って。ちょっと緊張してました。

小澤：僕が最初に印象に残ったことは、なんか 2 号館、僕は直接あんまり知らないんですけど、2 号館の宮永さん（慶應義塾大医学部進学：宮永りりか）とか山藤さん（順天堂大医学部進学：山藤里奈）が、こう、マンスリーはそうですし、河合全統模試とかもすごい上のほうに

いたんで、こんな現役生いるだなんて、ちょっと失礼ですけど、こんなできる子いるんだと思って、逆にそれがすごい印象に残ったのと。あと自習室とかがずっと使えたのが、すごい僕的には良くて、ずっといるようにしてましたね。学校終わった後とかは。少なくとも自分のなんか勉強法みたいのが結構、確立できたと思ってんで、そこでいろんな先生とかも周りにもこういう合格体験談とかもあるんで、そことかで自分の勉強法とかを編み出せたみたいのが結構よく、もう前とすごい変わったなと思いましたね。

### 印象に残った先生とかいらっしゃいますか？ 各教科ごとに、英語から。

品川：えっと、僕は英語だとやっぱり石井先生。あ、はい。英語の点だと、なんか、初めのほうは、もうもちろん文章分解するときに、こう、細かく線引いたりしてやってくれるんですけど、なんかそのときから、基本を抜け目なくやってくれたおかげで、受験前の直前の授業とかになると、それを全部やなくても、自分でもできるようになってるっていう、そういう。はい。なんかうまく言えないんですけど。授業中は、テキストに書き込むことは絶対しないようにしてて、毎回コピーして、そこに、書き込めるようにしてました。で、読解用のファイルの穴開けるのが、2 号館にあったんで、それでやって、こう、自分特製のファイルみたいなものを作って。はい。見れるようにしてました。

小澤：僕、英語、やっぱ品川君とかぶっちゃうんですけど、石井先生ですね。授業中とかに勉強法とか読み方とか 1 から教えてくれて、あと質問とかしたら全部、丁寧に教えてくれたので、それがすごい印象に残りましたね。役に立ったアドバイスだと、写経しろとか、結構おっしゃられてて、それをやったら本当に結構、自然と文法とか単語とか覚えられて。それがかなり役に立ちましたね。あ、まあ、そうですね。なんか自分で考えながら書いたりとか、この文はこうやって成り立ってんだとか、一個一個、文分解しながら石井先生の授業を自分の頭の中で再現するみたいなことやってたら結構すぐ覚えられて。他の文章とかも割と、あ、これ似たような文法だとか分かったりしたので、それがかなり良かったですね。全部、書いてましたね。本当です。ハハハハ。僕の中では結構、上がった印象ありますね。

品川：えーっと、あと、やっぱり初めて、初め受けたときは緊張感がすごくてびっくりしました。もう周りももう、みんな背筋正して受けてたんで、高校ではそんな授業、1 個もなかったんで。みんな、ぴしっとしてました。はい。すごい緊張感がすごくて、なんか、何だろう。こう、そんな授業だと思ってなかったんで、うん。自分も自然と背筋が立って、実際にしてくれる話も結構、医学部入試に役に立つ話が多くて。例えば、まあ、夏休みの効率的な勉強の仕方とか、科目を偏らずにやる習慣づけとか、ていうのも、石井先生に、教わっ



たことでありますし。他だと、何だろう。教わったことというか。なんか自分が、緩みかけていた心を何度も、引き締めてくれたような、はい。まあ、タイミングはいくつかありましたね。

小澤：僕も、はい、品川君とかぶっちゃうんですけど、みんなすごい初めて来たときにはもうみんな、ぴーんとしてて、まずびっくりしましたね。なんかそんな授業あるんだ、なんか代官山すごい先生フレンドリーな感じがしてたんで、勝手に。そんな授業あるんだと思ってびっくりして、僕も頑張らないとみたいな感じでした。あと石井先生の話でモチベーションがすごい、高いままキープできたところがありましたね。よく石井先生のとこ行ってた、僕は個人的に質問してたのが多かったんですけど、ちょっと石井先生に申し訳ない気持ちもあったんですけど、なんか授業で分かんなかったところは聞いたりとかして。その時になんかすごいアドバイスとかしてくれて、なんか僕は読み方雑だったんですけど、そういうのとかも、こうやって直したほうがいいのか、そういうのをいろいろ教えてくれて。それで結構ある程度マンスリーとかもちょっとは読めるようになったんで、それで結構モチベーションが上がりましたね。

### では次、数学は？

品川：うーん、迷うけど、やっぱり高橋典先生。1 学期だと思うんですけど、2 集を担当してくださったのが典先生で、そのときにベクトルの、なんか外積とか、あと正斜影の授業があったんですね。そこでなんか、こう、まあ、大げさに言うと、なんか僕の、数学を見る目が変わった気が、ちょっと変わった気がして。ていうのも、他の方法を使えば手短に、簡単に、簡単についていうか計算ミスも少なく解ける方法がある、あって、しかも、応用性があるやり方だったんで。汎用性があるやり方だったんで、それを使ったら、自分が今までやってた方法だともう時間めっちゃめっちゃかかったのに、それが、ものの数秒で出たり。そういう経験をしたときはもう、うわっ、なんて使いやすいあれなんだと思って、はい。それはすごい感謝してます、典さんのおかげで数学は、もう、だいぶ、意識が変わったって思いましたね。

小澤：僕はなんか山室先生の最後のマークシート対策の数列のやつとかは結構。数列、今年いっぱい出た印象があったんで、それで結構、役に立って。まあ、杏林のマークとかも。まあ、軽くはないですけど、図形とかが本当に、山室先生が言ってたのとかも割と僕の中で使うようにはしてて。それ使ったら結構、早く解けちゃったとか、答えだけは出たみたいのが結構あったんで。それがすごい印象に残ってますね。多分、代官山来てなかったら、数学、絶対勉強してなかったですね。

### はい。じゃあ次、化学は？

品川：えっと、まあ、化学はやっぱ原先生。はい。もう原先生は、どんな時でも、こう、すぐ質問行けるっていう点もありましたし。授業中でも、なんか結構、軽く雑談交えながら楽しく授業やってくれたんで。しかも授業もすごい分かりやすく、こう丁寧に、何だろう、順番、やるべき順番も、きっちり教えてくれるし、あと板書の内容も、なんかしっくり、考えられてるんだなって思うような文章も多かったり。去年、自分が何やってたんだらうって思うようなぐらいの化学の授業とかと違って、原先生が良くてびっくりしました。全然、去年の予備校とは、全然、違いましたね。去年行ってた予備校は、特に化学がひどくて。はい。

化学、ひど、ひどくて、単純になんか出身高校とか見て、まあ、多少ちょっと解かして、これぐらい解けたら、できたら、まあ、大丈夫だよ、まあ、どっか引かかるよみたいな感じの先生で。個別だったのに、なんかあんまり、こう積極的に、もっと積極的に教えてほしかったんですけど、自分が、聞いたことしか、聞いたことは、まあ、しっかり教えてくれるんですけど、それしかしてくれなくて。課題も出してくれなかったんですけど、それを、なんか言う空気でもなくて、ちょっと、はい。いやー、良かったです。本当に。はい。化学、化学は、もう本当にここ来て、何だろう。ゼロから築き上げたと思ってるので、それはもう、本当に感謝してます。

小澤：あ、僕は化学は小林先生。小林先生がすごいレギュラーの授業持ってくれたんで、そう、小林先生がここを効率的に、なんかこれを暗記したら絶対いいみたいなことを教えてくれたんで、そういうのやっぱり 1 人でやってるとできなかったんで、そういうところはすごい良かったですね。あとマンツールの白井、白井先生が……。そこでなんか本当に楽な教え方とか、捨て問とか、なんか楽な解き方を教えてくれて、計算とか「ここを省略したらいいよ」みたいな。それで化学が結構、時短みたいのがすごいできて。あと、すごい面白い語呂合わせを教えてくれて。いや、本当に僕で





も笑っちゃうんですけど、それで有機物が本当にその語呂合わせで暗記は落とさなかったみたいな、かなりありました。

**小澤くんは生物で、品川くんは物理でしたよね。**

小澤：あっ、石原先生。いや、なんか本当に、授業はすごい印象残ってました。すごいなんか、先生が自分で図を描いてくれて。例えば心臓の授業だったら心臓の簡略化した分かりやすい図とかを描いてくれて、それとかをすごい自分でも描けるようにしたりとかしてたら、結構、部位とかをすぐ覚えられたりとか、循環とかもすぐ覚えられたんで、そういうのがすごい役に立ったのと。あと緒方先生でしたら、最後の分野の進化と系統とかの暗記分野とかで、この辺「ここ覚えるといいよ」みたいなことを教えてくれて、なんか最低限、覚えるべきことみたいなことを教えてくれたので、そこを覚えたら本当にある程度、ひどい点数は取らないぐらいにできたんで、それがすごい良かったですね。なんか少なくとも代官山の授業で教えてくれることは、なんかすごい先生も「絶対、入試に出るよ」とかおっしゃってくれたので、そこはもう絶対、教えられたことは少なくとも、100パーできるようにしようって思ってた。化学の有機物とかも本当に愛知で全く同じ問題が出たとか、本当に前日にやったのが出たとかあったんで。そういう先生がおっしゃったものは全部、取りこぼさないようにやってましたね。

品川：僕は、まあ、今ちょっと思い出したことなんですけど、なんか数学のマンツウで五十嵐先生の授業取っていたときに、なんかある分野の数学の質問をしたときに、「あ、じゃあここは、なんでこうなるか分かっているの」って聞いてくれて。まあ、それは、いやちょっとっていうふうになってしまって。そのその理由すら分かってなくて、その次の段階のものを聞いていたことが、まあ、そう言ってくれたことで分かったんで。結構、細かいとこまで見てくれて。そこは。ありがたかったです。なんか結構、自分からどんどん来ていいよみたいな、雰囲気もだいぶ出してきてたんで、なんか「このプリント欲しかったら来ていいよ」みたいなことも授業内で何回も言ってくれて。もうどんどん、こう、「これ分かんない子がいたら」みたいな。物理だと、なんか野村先生が、僕、夜間が野村先生だったんで。はい。そこで、質問行ったときに、なんか「あ、ここはもう別にセミナーのここを、こう、ここを解いて、確認できたら、もうあとは、もう何も解かなくていいよ」みたいなこと言ってくれたんで。すごいはい。具体的に、教えてくれました。

小澤：えーっと、あー、なんかあれですね。面接対策も最初、思ってたんですけど、でも面接で落とされること結構あるじゃないですか。てか僕も面接でかなり痛い目あったほうの人なんで、本当に面接対策とか、あの、高橋先生の小論の授業とか面接で言ってくれることは少なくとも全部ちゃんとやったほうがいいと思

いますね。さすがに1次の勉強ほどではないんですけど、やっぱり面接はかなり重要だと思うんで、面接対策は本当にしたほうがいいと思います。



卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

|             |        |
|-------------|--------|
| 東邦大医学部      | 2次合格   |
| 杏林大医学部      | 2次合格   |
| 聖マリアンナ医科大前期 | 2次合格   |
| 近畿大医学部      | 前期2次合格 |
| 日本大医学部      | 2次合格   |

寮のおばさん、「大丈夫、大丈夫だよ」。  
「コロナ治してくれるのは、希望君だから」  
て言われて、慰めてくれて。  
ああ、それにも感動しちゃって。

東邦大医学部進学 川嶋 希望君 (水城高校卒)



卒業生が語る

# 合格への軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

|            |        |
|------------|--------|
| 昭和大医学部     | 1期2次合格 |
| 杏林大医学部     | 2次正規合格 |
| 愛知医科大      | 2次正規合格 |
| 東邦大医学部     | 2次合格   |
| 東北医科薬科大医学部 | 2次合格   |
| 岩手医科大医学部   | 2次合格   |
| 北里大医学部     | 2次合格   |

4月のオリエンテーションのときの、  
石井先生のその、お言葉を  
自分、意識高く、  
録音してたので、病みそうになったときは、  
それを聞いて、勉強、頑張っていました。

昭和大医学部進学 鈴木 万尋 君(浜松日体高校卒)



卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

東邦大医学部

2次合格

帝京大医学部

2次正規模合格

岩手医科大医学部

2次合格

自分で自分を追い込める人じゃないので、  
そんなに意識の高い人じゃないので、  
代官山入ってからは、全員みんな残って、  
帰る人もいないですし、やっぱ、そういう  
環境が自分には良かったなって思ってた。

東邦大医学部進学 近藤 慶哉 君(酒田東高校卒)



## 授業外でも、明日ここの大学の試験なんですって言ったら、傾向とかいろいろ教えて下さって。

それでは、それぞれ 2 次合格と、進学先から願います。まず、川嶋君から。

川嶋：東邦大学に進学しました川嶋希望です。2 次は、最終合格は、近畿、東邦、えーと、近畿、東邦、と、何だっけ、杏林、日大、聖マ。以上です。

鈴木：えー、昭和大学医学部進学鈴木マヒロ（万尋）です。12 校受けて、1 次試験合格が、9 校。2 次合格が、愛知医科大学、岩手医科大学、北里大学、東北医科薬科大学、えー、杏林大学、東邦大学、昭和大学です。の、7 校。慈恵と、あ、慈恵が、その 2 次落ちで。

近藤：えー、東邦大学に進学しました近藤慶哉です。1 次合格が 6 校で、岩手、杏林、えー、帝京、獨協、東邦、東医。で、2 次来たのが、岩手、帝京、東邦です。

## 去年と比べて、勉強の方法とか、変わった点ありますか？

川嶋：もう、変わりました、なんででしょう、医学部だからって言って、難しい問題ばかりを、解いてればいいって思ってたんですよ、現役のときとか。でも、実際は違くて、代官山の先生って、基礎の基礎からみたいな、小学生でも受かるじゃないくらいの基礎から教えてくるじゃないですか。俺も、最初、抵抗がめちゃくちゃあったんですよ。は？と思って、こんな、分かるわみたいな。でも、黙って聞いてるうちに、実は、その、私立入試出てる問題まで、それがつながったり、例えば、ボールの問題、数学のボールの問題とか、実際、出たりしてて。ああと思って、プロだなんて思いました。いやでも、その基礎からやるっていうところは、本当、変わりましたね、高 3 のときと、全然。高 3 のときは、割と難しい問題ばかりやってましたね。赤チャートなんてやってましたから。一応、国立目指してたんで(笑)。ここ来て、やめましたけど。それが変わったことですかね、一応、茨城で、ずっと、時間ですよ、やっぱり時間。だって、現役のときなんて、学校終わってから、予備校 5 時から 9 時ぐらいまで、毎日 4 時間ぐらい勉強してたんですけど、ここだったら、本当、シャッター開く前 6 時ぐらいに並んで、みんな、並んでるじゃないですか。僕も並んでたんですけど。もう、6 時ぐらいから始まって、遅い人は夜 10 時近くまでやって。やっぱ、こんだけやれば、さすがにと思いました。ていうのが、刺激でしたね。続けましたよ、なんだかんだ、僕、3 月頭から入ったんですけど、3 月頭もやったって、いろいろ自習、春の先取りで。そのときも、本館は、確か、7 時でしたっけ、7 時から来て、コロナだったんで、夜 9 時までだったんですけど、確か。夜 9 時までやって、でも、まあ、1 カ月があったから、多分、ちゃんと受かったんだと思うし、それが最後まで続いたっていうのも、やっぱり、周り、周りが、意識が高くて、ずっとやめないんですよ、勉強。そういうやつらがいたから、俺も多分、続いたんだっていうのは思います。感謝

しています。最初、1 学期のクラスは、M2 でした。

鈴木：自分、現役のときは、高校、嫌いとはいっても、塾とか行ってなかったんで、高校の授業に付いていこうと思ってやってたんですけど、物理・化学とか遅くて、結構、終わるのも遅くて、受験、本当、直前とかやっとなで、演習やるってことが、自分はできてなかったんで、それは、授業のノートとかを見て、自学、まあ、自力で勉強してたんですけど、ここに来て、何だろう、そのテキストの予習、復習をして、はっきりやるべきことが示されてるので、もうなんか迷わずに、その目の前のことだけをやれば受かったっていう感じです。

川嶋：最初はなんか、予習もちゃんと力入れてやってたんですけど、途中から、量がえげつなくて、復習に力入れたほうがいいなと、途中で思って、あと、薄先生とかに相談したときも、復習に力入れてっていうふうに、助言をいただいたので、途中からは、もう復習にずっと時間、振ってました。はい。まあ、大体、3 周、4 周ぐらいは、授業の内容、やるようにしてました。どの科目も。はい。

近藤：はい。えっと、僕は、山形県出身で、で、その山形の中でも、そこまで頭のいい高校でもなかったの。(山形)東が一番、いいんですけど、県で 6 番目か、そのくらいの高校に通ってて、正直、医学部に現役で行けるほどの教育を受けられなかったんです。僕の兄貴、兄が、東邦にいて、その東邦の同級生のなかで、代官山(出身)の人が多いらしくて、兄伝いに、代官山に入ってたって感じなんですけど、結局、自分次第だとは思いますが、僕は、そんなに意識の高い人じゃないので、自分で自分を追い込める人じゃないので、現役、医学部行くのは難しい状態で、現役のときは落ちて、代官山入ってからは、拘束されるというか、朝の 8 時から、夜の 9 時は、みんな固定でいなきゃいけないじゃないですか。だから、全員みんな残って、帰る人もいないですし、やっぱ、そういう環境が自分には良かったなって思って。自分、自分に甘いところ





もあるので、そういう人には、代官山の環境はとてもいいと思います。現役の時は一応、塾みたいなの通ってたんですけど、塾でも、まあ、眠くなったりして、あまり、集中してなかったです。スマホとかいじっちゃって、そういうこともありました。

川嶋：なんか、その、来る前までのイメージなんですけど、代官山って、渋谷に近いじゃないですか。なので、みんな、こっそり遊びに行ったりしてんじゃないのって、実は、思ってた、来るまでは思ってたんですけど、そんなこと全然なく、ちゃんと、みんな勉強に必死になるって環境が整えられているので、そういった点に、驚きました、自分が。ほんとみんな、遊びに行くと思ってました。

鈴木：確かに。

川嶋：いや。自分は、なんか、地方から来て、どこにどういうものがあるのかっていうのも分からないので、そんな、遊びたいとか思わなかったんですけど。でも、友達をつくらないようにっていうか、昼食も1人で食べるようにしたり、休み時間も、授業終わったらすぐに自習、自分の席に戻って勉強するようにはしてたので。友達は、この2人だけです。

鈴木：でも、一緒に昼食食ったこと、ないよな。

川嶋：ない。ないです。

鈴木：俺も、いっつもね。

川嶋：そこはなんか、暗黙の了解で、食べないで、すぐに食べたら、1人で食べ終わったら、もう、自習室戻ろうっていう、暗黙の了解があった。自分は、2号館の裏のベンチ。2号館の裏のベンチで。

鈴木：そんな、怪しい(笑)。

川嶋：何とかセンターの、外にあるベンチで、食べました、1人で。自転車、置く所の近く。

鈴木：いや、俺も、そこ、2号館、大和田センターの右、行った所に、公園あるじゃないですか。俺は、ずっと、そこで、リスニングしてました。シャドーイングが、

速単の、速読英熟語の、ずっと。シャドーイングって言って、耳から入ってくるじゃないですか。200語ぐらいの長文が、ばあっと流れるんですよ。それを、ずっと、口でシャドーイングしてました。石井先生が「英語を速く読むんだったら、シャドーイングやれ」って言われて、「速読英単語、いい」みたいに言われて、「分かりました」って言って、英語できるんですよ、彼ら。

川嶋：自分、できないっす。

鈴木：いけるよ、俺よりできたんですよ。だから、俺は置いていかれてるなって思って、その、埋めてました、そこで、俺は。フッフ。埋まらなかったっす。追い付かなかったっす。でも、ぎりですよ。耐えたって感じです。俺、東邦、長文1個と、全部、解けなかったんです、15問の。白紙。白紙っていうか、もう、間に合わなくて、もう、泣きながら塗ってましたよ。あれ、これかな、これかなって。全部、勘です。

川嶋：自分も、全部、bで埋めたのが、1回あります、東邦。

近藤：でも、正直、東邦、きつかったよ。全部やるのは無理だよ、多分。

鈴木：無理だよ、あれ。終わんない。

近藤：終わんないと思います。長文1個、全部、丸々やってない。多分・・・。抜かしてる所、あると思います。

川嶋：でも、数、物、化学、結構、簡単だったと思って。まあ、受かってるからね、全然、言っちゃってOKだけど。簡単でした。でも、さすがに、そんな甘くないっすよ。

いや、絶対、無理。慈恵、俺は本当に、物理受けた段階で帰りたいって思った、普通に。物理、マジでやばかった、本当に。だって、野村先生が、5分考えたらしいよ。

近藤：マジですか。いや、天才でも。

川嶋：天才が。フッフ。ちょっと、あれは帰りたくなった。やばかった。他は別に、無理じゃない。見て、何となくは解けるじゃないですか。慈恵の物理は、本当にゼロだった。多分、ゼロだと思う。ゼロっていうか、ゼロに等しいぐらい、取れなかった、俺は。だから、鈴



木君は、すごいっす、慈恵1次。

鈴木：いや、1次だけです。いや、まあ、何となくです。いけたかな。読めば、そんなんが。ちゃんと、問題文を読むってことを、ずっと言われてたので、それを慈恵でも実践したら、これに帰着できるんじゃないか、細かいほうに帰着できるんじゃないかっていうプロセスが出来上がってたっていうか、それを実践したら、1次は通ったって感じです。

### 成績の伸び悩みとかありましたか？

川嶋：はあ、はい、俺が一番、ひどかったのは、200点切っちゃって、もちろん、(ランキング)載らないし、多分、偏差値50も切ってて、徘徊しました、普通に、夜。俺、なんか、いや、マジで、今だから言えるけど、夏かな。偏差値、50切って、どうしようもなくて。で、俺、寮、住んでたんすけど、寝れないから、家、出て、寮から出て、ずっと、渋谷の駅前、徘徊してました。深夜2、3時に。ずっと、歩いてました。渋谷まで来て。俺、何やってんだろって思って。ずっと、歩いてました。そのまま、寝ずに来て、その日は勉強できなかったっす、マジで。まあ、でも、そうっすね。そういうのもありました。いい思い出です。すっきりは、しましたよ。でも、さすがに。切り替えて、切り替えましたね。だから、こんな所で終われねえと、俺も思いました、そのときに、歩きながら。「くそ、くそ」って言ってました。はい。えー、でも、浪人すると、人の目、気にしなくなっちゃって、バグるんすよ、やっぱり。バグってました、本当。近藤：そういうこと、俺もあった。ありましたね。なんか、マンスリーに対して。

鈴木：ああ、マンスリーに対して。まあ、やっぱり、総合ランキングに載りたいって気持ちは、ずっと持ってた、それを意識してたっていうのもあって。で、あと、自分は英語、この2人より、全然、できなくて。

川嶋：いや、うそだよ。

鈴木：入塾のときも、山室先生に、「君は英語次第だよ」っていうふうに言われて、まあ、ここに来て、英語、ずっと載んなかったっすよ。ずっと、載んなかったけど、後期から、ちゃんと、マンツーマンも入れて、英語に力を入れてったら、最後の12月だけ、唯一、英語でも載って、うれしかったっていうか、それを目標に頑張ってたっていうのはあります。他は、多分、ずっと、載ってた、と思います。でも、8月のマンスリーで、物理、ずっとこけて、で、まあ、石井先生に言われて。

川嶋：そう、そう。自分が載ってないときも、何回もあって、自分、やっぱり、M2とかにいたときにも、そういうのあって、M2なのに乗ってないと、本当、M1とか、M2、M3 辺りからの視線も、特に、気にしてないと思うけど、感じちゃうし。いや、分かるよね、普通に。あと、8月の石井先生から、「あれ、川嶋、川嶋君、ちょっとやばくない？」みたいな。

鈴木：自分も呼ばれました。言われました。その、8月しか、そんな落としてないってイメージがあったんす

けど、それでも言われたので、ああ、本当にやばいと思って、その日の夜に、石井先生のところに放課後、放課後っていうか、行って、自分、泣いて、泣きながら、なんか、どうすればいいかって話をしたときに、ちゃんと、示してくれてっていうか、やり方とか。なんか、そんな重く考え過ぎないで、ここで止まったら、いい所行けないなので、続けて勉強することが大事って教わって。あとは、そうですね、自分も、メンタル病むときに、結構、あったんですけど、そういうときのリフレッシュ方法は、いいか分かんないんですけど、4月のオリエンテーションのときの、石井先生のあるじゃないですか、その、お言葉が、50分ぐらいの。それを自分、録音してて。そのとき、意識高くて、録音してたので、病みそうになったときは、それを聞いて、勉強、頑張ってた。いや、すごい、いいこと言ってくれるんです。メモってきたんですけど。メモってきました。自分がすごい響いた言葉。優柔不断で自分で考えない、そんな自分には、刺さりましたね。全部、その、自分に当てはまってたっていうか。そこを変えないと、また、落ちるよって話を、そのオリエンテーションでしてたので、それが自分にとっては、まあ、いいことだった。聞いて、メンタルが安定したかなって思います。初心に戻る。あ、そういうことです。はい。そうです。自分はそれで、戻ってました。

近藤：言われてないっすね。なんででしょう。クラスも落とされなかったですし。別に、なんか、俺、メンタル弱いって思われてたのか、分かんないですけど。言われなかったですね。

鈴木：人を選んで、その、言葉発してたなっていうのは、すごい、思う。思います。

### 2号館は、落ちついて勉強できましたか？

近藤：2号館。2号館、そうですね。まあ、自習してるときは、みんな、静かにやってましたね。休み時間は、話してる人もいましたけど、まあ、それくらいはいい



んじゃないか。そんなに、気にはならなかったですけど。自分は、自習室にいましたね。

川嶋：自分も自習です。

鈴木：俺もっす。

川嶋：はかどりました。時間で、扉が閉まるじゃないですか。最初、それを知ったときに、ああ、監獄みてえと思って。いや、でも、その環境が新鮮過ぎて、ああ、これがよく、進学校とかでいう、勉強の監獄みたいな、あれなんかなみたいな新鮮さを、俺、覚えて。ちょっと、俺、それ、うれしかったっす。出ちゃうと、入れないじゃないですか。本当に、入れないじゃないですか。フフフ。楽しかったっす。それは、楽しかった。俺は、うれしかったっす。その雰囲気。閉め出されたことも、ありますよ。昼、買いに行つて、出て、ちょっと遅くなって、5分遅れただけでも、本当に閉まっちゃうじゃないですか。だから、しかも、なんも持って、勉強道具もなんも持ってないのに、3時限目をつぶしたことは、何回かはあります。無駄でしたよ。無駄でしたけど。遅れちゃった自分が。自分が悪いって思っていました。完全に閉められても、窓とか、ちゃんと、自習室も開いてたので、何だろう、そのコロナとか、そういう感染対策っていうの、ちゃんとされてたっていうのは良かったなって、自分は思っていました、ずっと。なんか、冬でも、容赦なく、窓開いてて、自分、窓の前だったので、自習席が。めっちゃくちゃ、寒かったんすけど、これも、健康のためだなって思って、我慢していましたね。夏、がんがん開けてたよね。クーラー、がんがんなのに。フフフ。

### 振り返って、一番落ち込んだ時は？

川嶋 あれです。11月、冬期の始まる前に、僕、M3で、M3の中で、僕だけ、マンスリーひどい点数取って、しかも、冬期の授業クラス編成で、冬期の授業のクラス書いてあるじゃないですか、俺だけ、M4で、さすがにあのときは、メンタル来ましたね。今でも、覚えてます。で、12月、最後のマンスリーまでは、本当、睡眠時間を削って、本当に、4時間ぐらいしか寝ないで、やばいと思って勉強して、最後のマンスリーで、280くらい近くまで取って、こう、M1、M2のやつらを、いろんなやつ、がっつと抜いて、最後、いや、あんときは、多分、とんでもなく勉強しました。一番、勉強したかもしれない、あの1カ月は。いや、やばい、あれが一番、やばかったすね。11月が。冬期前。今、思えば、多分、あれが落ちた、あれ、落ちたから、今、こうやって、大学生なれてるんだなって、いや、だから、本当に貴重な経験でしたね、あれは。これ、言っているのかな。妹がいて。そうです。11月に、僕がクラス落ちて、その2日後に、妹の東京歯科の推薦合格が決まって、事実上、3兄弟で、僕だけが取り残されて。

鈴木：えぐいな、それ。

川嶋 泣きましたね。なんか、泣いちゃいました、俺も。本当、泣きたいとは思わないんですけど、代官山から、

帰るとき、ずっと泣いてました。やべえと思って。いや、もう、なんか止まなくて、本当に。何、やってんだろうと思って。また、浪人すんのかなとも思って、いろんなものがこみ上げてきて、泣いてました。恥ずかしいっす。代官山のきれいな街を、泣きながら。しかも、しっかり泣いてました。本当に、そうっす、でも、そのときも、俺は寮で飯、食ってたんですけど、なんか、寮のおばさんが声掛けてくれて。なんか、「大丈夫、大丈夫だよ」みたいな。なんか、おばちゃんの「コロナ治してくれるのは、希望君だから」みたいに言われて、慰めてくれて。ああ、それにも感動しちゃって。ああ。泣いてましたね。食堂で泣きながら、食ってましたよ。飯。食ってました、端っこで。でも、そのぐらい、追い込まれてましたね、あのときは、クラスも落ちて。妹も指定校で決まって。いや、もう。やばかったっす、あのときは。その後、すごい、勉強しました。

### 浪人してよかったこととかありますか？

川嶋 いやあ、でも、間違いなく、俺は、多分、ターニングポイントっすね、人生の中で、絶対。なんだかんだ、現役のときも、多分、D判ぐらいで、全然、なんか、夢物語みたいな感じだったんですけど、それがやっぱり、代官山入って、河合の模試でも、A判とか、ばんばん出るじゃないですか、医学部。で、医者にさせてくれたところだなって。と、思います。感謝してます。いや、もう、全て変わりましたね。寮生活で、1人暮らしすることで、自立したってのもあるし、そんな、朝5時なんか起きて、勉強続くななんて思わなかったし。そうすね。まあ、本当、人生のターニングポイントだったと思います、今後で、これは。親も泣いてましたよ、でも、やっぱ。受かったとき、本当。良かったっす、それは、本当。毎晩、そう、現役のときなんか、毎晩、帰ってから、YouTube、深夜ぐらいまで見てたし。

(一同 ハハハ)

川嶋 そんな、多分、それを心配して、俺も、多分、1人暮らし出させなかったなと思うんですけど、それがやっぱ、自分で、こう、受かるために俺はここ来てるって思って。受かるために、ここに来るって、親にお願いして来て、最終的に、自分で合格まで持っていくところは、多分、親も、多分、親も、それがうれしくて泣いてたんだと、僕は思います。自慢の息子だって言われました。

(一同 アハハ)

鈴木：本当か。自分も、なんか、高3の頃は、全然、医学部なんて、手も届かない、全部、何だろう、全大、E判定とか、センター化学も、60点。で、なんか、ここ来たときに、「ナイロン66の原料を言えますか」みたいな、山室先生に言われて、まあ、答えられないような状況で、ここに来て。で、まあ、なんか、その、現役のときに、私立医学部は、マーク式の大学しか受けなくて、マークなら、なんかあれば、受かるんじゃないみたいな気持ちで、まあ、受けたというのが、正直な気持ちで、ただ、まあ、この、この1年通して、



何だろう、夏の時点の河合の模試とか、11月の河合の模試でも、何だろう、去年、現役の頃までは、書いてた、その、東京医科歯科大学の歯学部なんですけど、そういった所も、何だろう、D判定からA判定まで持っていけた。そういったところで、なんか、成長を途中で感じて、で、まあ、その、1次試験も、自分、高3の頃は、1次、全落ちして、ぼろぼろな状態だったんですけど、今年はなんか、9校も1次試験、合格して、2次試験も7校いだけるまで成長して。1年前までは、昭和なんかも、絶対、無理だっていうか、思ってたんですけど、昭和に届くくらいまで成長できたなって思います。

近藤：そうですね。僕は、代官山、1年過ぎて、まあ、正直、試験、始まった本番の受験、始まったときも、正直、あんまり、受かるかどうか、分かんなくて。マンスリーもあんまり、良くなかったですし、自分に力が付いてるか、分かんなかったんですけど、代官山の1限から7限まで、ちゃんと、代官山にいたからこそ、やっぱ、自分でも分かんないうちに、力が付いて、うーん、2浪せずに済んだと思ってます。正直、兄も2浪なので、2浪くらいは、まあ、普通かなというか覚悟してたんですけど、代官山のおかげで、1年で済んで良かったです。

### 後輩たちに、合格した秘訣、アドバイスとかあれば、教えてください。

近藤：はい。そうですね。僕は、えー、受験始まってからも自信なくて、まあ、最初のほう、愛知とか、岩手とか、まあ、落ちて、なんか、前半が、あまり、調子良くなくて、まあ、でも、自分、2浪も覚悟してたので、まあ、仕方ないかと思って、あんまり、その落ちたことを考え過ぎずに、気楽に、受験受けていったんです。まあ、そうしたら、受験受けてくうちに、なんか、テスト慣れみたいな、テストが、そんな苦じゃなくなっ、テストハイみたいになって、そんなに苦じゃなく、試

験受けられて、そんなに多くは受かってはいないですけど。大事なところ、東邦とか、東医とか、押さえられたのかなと思いますね。あんまり、前半戦、駄目でも、あんまり、考え過ぎずに、気楽に、まだまだ、後半戦もあるので、気楽に受けていったほうがいいと思いますね。

川嶋：はい。うーん、何だろう。自分、現役のときは、単語帳、ころころ変えたり、参考書、ころころ変えたりしてたんですけど、なんか、代官山のテキストは、多分、過去問とかを見ながら、先生方が、ちゃんと、考えて作っていると思うので、その1冊を信じて、やり切ることが、合格への近道なのかなって、自分は思ってた。その1冊をやり切るっていう意欲は、大事にしてほしいなって思います。で、あとは、何だろう、医学部受かるには、部分的あきらめというのもなくすべきて、例えば、化学だと、高分子時間ないからいいやとか、物理だと、原子物理、もう時間ないからいいや、そうやって、部分的にあきらめると、そこで大きく失点して、合格につながらないので、最後まであきらめないっていう気持ちも大事だと思います。僕からは、俺は、最初、入るとき、M選抜テスト落ちて、下でしたっけ、下で入ってたんですけど、でも、その1カ月、その、クラステストの1カ月間、死ぬ気で勉強したら、M選抜落ちて、M2まで上がれたりとか、限界ってないんだなっていうのを、やっぱ、いろいろ、ここで知ることができたんで、本当、自分で、例えば、慈恵行きたくても、俺は無理だ、慈恵行けないとか思わずに、自分のやりたいって思った、やりたいっていうか、その、夢、夢っていうか、慈恵行きたいなら、慈恵とかっていうのを、決して、あきらめないでほしいですね。絶対、その、意外と無理じゃないってことが、ここで分かったので、後輩たちも、本当、絶対、あきらめないで、食らいついてほしいです。いや、俺も、なかなか来なくて。いやあ、もう、東邦来るまでも長くて。親、うるさいんすよね。どうするの、また、浪人、どこですのみたいな。俺は受かるって思ってたんで、なんか、1回、石井先生にお母さんが電話したらしくて、石井先生が、「いや、絶対、回ってくるんで大丈夫ですよ」みたいなこと言ったらしくて、石井先生が。だから、回ってきたときは、いっぱい、電話が鳴り響いたときは、お母さんも、「ああ、やっぱり、石井先生って、すごい方なんだね」っていうので、なりましたね、みんなで。そうっすね





卒業生が語る

# 合格への軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

東京医科大 2次合格  
杏林大医学部 2次合格  
北里大医学部 2次正規格  
愛知医科大 2次正規格  
岩手医科大医学部 2次正規格

代官山って、正直、  
真面目に勉強してれば1年で終わる。

東京医科大進学 鈴木雄哉君(成蹊高校卒)



## もうさすがに3浪目して、もうこれ以上、遊んでられなくなって。

鈴木雄哉です。東医に進学しました。1次が7校合格で、2次通ったのが、最終合格したのが、愛知、岩手、杏林、北里、東医。で、帝京は杏林とかぶったから棄権したかな。昭和は来てないです。

えっと、最初のクラス分けで M2 で。まあ、最初は普通に全然マンスリーテストできなくて、できた気がなくて、なんか。これもしかしたら本館かな、と思ったけど、まさかの M2 だったみたいな感じです(笑)。でも、M2、なんか、結構なんか最初みんなめっちゃ勉強してて。なんかちょっとやばいクラス来ちゃったなみたいな…。去年は成●塾っていう、なんか一応、何ていうんだろう、授業が週に1科目ずつ1回しかなくてみたいな。アハハハ。まじっす。週に、えっと1科目3時間。で、そこでやって、あと自習みたいな。ここと真逆みたいな。いや、なんか、1浪んときに、駿台行ってて、で、なんか授業がいっぱい入ってることに疲弊を感じてしまって、サボるようになってちゃって。結果、前期だけ駿台で、後期はメディッ●●—マスっていう、●●—マスの医学版みたいな、個人塾。個人医学部専門。そこで結構やったけど、まあ結果どこも通らずみたいな。で、2浪目、自習のがいいかなって思って。でも、結局は、全落ち、みたいな。で、なんかどこの塾、次行こうかなってなったときに、なんか前々から代官山を知ってて。結構、合格者出てるみたいな、うわさで。いろいろな人からうわさで聞いてて、それでまあなんか結構いいなみたいな、面倒見良さそうだなみたいな、ちょっときついかもしれないけどまあ、まあまあ、そこは置いといて、フフフ。いや、まあでも、授業がハードなイメージあったけど、なんかその、まあ2年やって受かってないんで、まあなんかやっぱここでやるしかないなみたいな。正直、最後のほうとかもう、なんか、成●塾とかは、普通に東大理系目指してる人もいるし、別に医学部に特化したクラスじゃないから、ただ理系クラスっていうだけで、もう11月ぐらいからほぼ自習みたいな。まあ、移ることは確定して。いや、もうさすがに3浪になって、もうこれ以上、遊んでられなくなって。

## 周りがみんな医学部目指す人だから、前のととは全然環境が違いましたね(笑)

まあなんか、テキストとか、何だろう、決められたことをもうやるっていう、その繰り返しみたいな、やっぱそれが代官山は良かったかなっていう、ここへきて、驚いたというか、意識変わったのは、まあ、周りがみんな医学部目指す人だから、やっぱ切磋琢磨っていうやつ、前のととは全然環境が違いましたね(笑)。結構、周りがみんなレベル高かったから、かもしれないけど、あと、石井先生とか。いや、なんか、うーん、情報量。医学部の情報量。なんかいろいろ医学部の裏情報とかいろいろ教えてくれるんで、なんかおもしろいなみたい

なの、ありましたね。あとは合格した先輩の話とか、なんかそういうの聞けると結構なんか自分のためになることもあるみたいな。その中に、小泉。小泉知ってるんっすよ。あの、東邦行った、自分らの一つ前(の年度)に受かった、A6 から東邦行った、小泉マサミチっす、A6 から。(合格への)『軌跡』にいないっすけど。友達なんすよ。ハハハ。僕、あの、そうですね、代官山に行こうと思ったのも、その小泉が、あいつ本当にギリギリに(繰上合格)来たじゃないですか、あいつ補欠来ないから、なんか(ここで)やろうぜみたいなのもあって、僕もここ入ったら、小泉だけ抜けちゃったみたいな。まさかの来ちゃったみたいな。受かっちゃって。なんか、僕の慶應(高校)の友達が、1浪目の駿台に行ってる、そのつながりでみたいな。そこでつながってみたいな。小泉でも受かる塾ならやっぱ、俺も大丈夫だみたいになって、自信はやっぱ、付きましたね。

## 「東医、行ける」つつって、言われてたんで。確かにそのとおりだったっていうか。

えー、なんか授業に縛られるところ、縛られるつつうか、やっぱ常にやるのが明確であるみたいな。なんか、去年まではあんまり明確じゃなかった、明確じゃなかった。なんかいろんな問題集に手出したりとかしたりして、一貫性がなかったけど、代官山来たら、例えば数学とかだったら、もうそのテキストを暗記するレベルみたいな。うーん、4周。フフフ。なんか成績表返ってきて、偏差値とか、あと順位とかも大事だけど、やっぱどの問題ができなくてみたいな、どの範囲ができないうっていうのをリストアップして、そのマンスリーが終わった後、例えば数学だったら、その分野のテキスト見たりしてやり直しをしたりとか。前期とかそういうことあんまなくて。6月くらいまで石井先生とかにまあ、ちょくちょく、聞きに行ったりして。本当に、月1レベルで、なんかやってたかな。自己分析を怠らずやってたっていう、意外と。でも、さすがに心配だったら、石井先生とか、あとはマンツールの先生とかに相談したりしてた感じっす。石井先生は、的確に教えてくれるつか、そうですね、とても素晴らしいアドバイスをいただいて、ていうのもやっぱ、「ここここが駄目だから、ここを直しなさい」みたいな、やっぱその結構、細かいところまで。「この確率の分野ができてないからこれをやりましょう」とか、「物理はこうやればもうちょっといけんじゃない」みたいな、いろんなアドバイス。結構、細かいこと知ってますね、教科のこと、はい、すごいっす。全員分知って、ああ、もう全員分知ってますね。質問、なんかいろんな人の、誰々はここいけてんだけどなあとか、言ってた。授業中とか、個人的に相談行ったときもたまに言ったりして、細かいとこまで見てんだなみたいな、一人一人。あんなに人がいるのに、素晴らしいと思います。まあ、多分、困ったときは、最終的には石井先生ですね。それまでは、マンツールの先生とか、ま、割とそうっすね、気軽に。ただ、

やっぱ石井先生、ちょっと恐れ多くて。いや、なんか、最初は怖いイメージがあったけど、シータの授業とか受けている間に、結構なんか面白い先生だなみたいな、面白いっていうかなんか、なんつうの、なんか結構すごい授業が。英語もすごい奥深いところもやるし、あとはさっき言ったとおり、先輩の話とか医学部の話とかいろんな情報とか、聞いててやっぱ興味深いなみたいな感じですね。フフフ。やっぱあの、石井先生が面談ときとかもなんか、「こことこの医学部受けろ」みたいな、可能性あったら。確かに、「東医、行ける」つつて、言われてたんで。確かにそのとおりだったっていうか。行けるって言われて、そうっすね。東医、や、「昭和、行ける」とか言われたり、「昭和、東医とか固い」みたいな。実際そのとおりだったなみたいな、東医、言ってたなみたいな。よかったです。ま、ちょっとドンピシャですよ、さすが。フフフ。

### 数学は、平パンに、テキスト繰り返して、結構、細かいところまで指示はもらってた、

面接・小論は、レギュラー授業は、グループディスカッションの授業で、なんか俺が何も言えなくてなんか、何も話せなくて。後期からヒロ先生のマンツーマン取って、2 学期です。ま、それもあるし、メンタル的な、面接緊張しない、自分的に、何だろう、うーん、まずはリラックスして、で、なんか面接官をやっぱあんまり怖がらずに、しっかり目え見て。他は、あとはやっぱ訓練、その、ヒロ先生に徹底的に訓練してもらって、それが結構あったんで、面接官とも無事やれた、無事っていうかなんか、ちょっときつい質問されても、例えばなんで 3 浪したのとか、それでも焦らず答えられたかなみたいな。やばかったのが、なんかまず、「なんでまずそもそも 3 浪もしてんの？」みたいな。あとは、何言われたっけ、うーん、岩手医科で、「君、何言ってんのかよく分かんないな」みたいな。しゃべったことを、なんか「質問の回答になってないけどね」みたいな。



もうちょっと、簡潔に言い過ぎて、「簡潔過ぎて、質問の答えになってない」とか言われて。「ちゃんと言ってくんない？具体的に言ってくんない？」みたいな。言われちゃったけど、でもなんか正規だったから。圧迫されてもなんか焦ったら負けみたいな。テンパっちゃってなんか、例えば泣いちゃったりとかはもう論外じゃないですか。女の子とかはきつく言われたら泣いちゃうかもけど、質問されたことに対して、なんか黙っちゃうとかは、やっぱ減点なのかな、なんかコミュニケーション能力が低いのかなみたいな、と思われる要因かなみたいな。面接はまあそうっすね、そんな感じっすね。数学は、平パンに、テキスト繰り返して、結構、細かいところまで指示はもらってた、平パンとか、「テキストをひたすらやれ」とか言って、で、なんか、何だっけ、場合の数、あれがもう壊滅的にできなくて、平パン、プリントはくれて、持って行ってみてもらって、ま、そこで基礎力は付いたかなみたいな。なんか全部、私立医の入試問題みたいな。なんかこう、いろいろ表紙がくつついてる、そうそう、なんかあれやって、ひたすら問題解いた記憶が…。確率だけはまじで、場合の数、確率はなんかむちゃくちゃやられた結果、今年、本番で出た。マンツーマンの時も平パンに、「えー、これ解けないの？」みたいな、「テキストあったじゃん」みたいな。その場で解くみたいな。なんかその場で解いて、できないとなんか、確率苦手だったからやっぱ、「テキスト復習しろよー」みたい、言われたけど。でもなんか後期からは、結構なんか実力が付いてきたのか、あんまりそんなきつく言われることなく、なんか「結構いいじゃん」みたいな、言われてきて。前期のうちに鍛えといたからこそ、なんかいい感じになってきたのかなみたいな。いろいろ言われてもめげずに。めげずに。へへへ。まあ、楽しかったっす。メンタルケア。フフフ。数学は、典さんもよかった。なんか覚醒しましたね、典さんが思い付かない解法を解いて、典さんが、「おー、すげえ」みたいな。なんかノリさんに褒められるのは、まじでめっちゃうれしかったかな。よかった。ノリさんが好きそうな解法、なんか。いや、狙ってるっていうか、なんかもと自分、幾何的な解法が好きだったし。だからなんかみんなで、M2 のときは、深井と土田とキングと自分でなんか、その、問題解いて、できたら、はい、みたいな。競い合っているっていうかなんか、それしてたから結構、頭の運動にもなったかな。英語は三ツ橋先生。三ツ橋先生は、前期の前、春のときから、マンツーマンとお世話になって。何だっけ、過去問を、私立医学部の過去問を解くことが課題になって。予習がそれで。で、その、授業のときにその解説してくれるみたいな。自然と長文読む回数が増えて。それを黙読するみたいな。それでなんか早く読むことを意識しながらやってきたおかげでなんか最終的にはいい感じに仕上がってきたなみたいな。入試でも、そんなに言うまで詰まったことなかったなって。化学は、三上先生のマンツーマンを 1 学期に入れてもらっ



て、なんか、そうっす、分かりやすいみたい。なんか自分は理論だけ習ってたけど、通常授業じゃなくってマンツーマン。なんか、考えろみたい、知識っていうよりも考えてやれば、マジでどの問題もいけるみたいな、そういう、その場で考えてやる感じ。化学は先生ごとに解き方、確かに若干違った感じで、小林先生派もいれば、三上派もいれば、原先生が、まあ、みんな分かりやすいっす。けど、自分に合ったのが三上っていう。直前でやると結構効きましたね。どこだっけ、東医の化学は、やっぱ過去問とか解いてなかったことなかったけど、なんかいざ入試前に解いたときに、考えること結構できたかなみたい。難しい問題あったけど。

物理は、その、本当にできなかった。まあ結構基礎的なことから教えてくれる、やっぱ、寺澤先生ってことで。マンツーマン取って、そしたら結構、何だっけ、プリント、100枚くらいのプリント。はい。一応、自分特製らしいんですけど、くれて。それをなんかひたすらやるみたい。回してくみたい。それでまあ基礎は、本当に基礎は付いた感じですかね。で、直前には、野村先生のマンツーマン取って。したら結構応用力も付いて。だから野村先生は、なんか「過去問のこれ分かんないんですけど」って言ったときに、なんか結構過去問の答えとか面倒くさいやり方してるけど、野村先生だとパッと頭に明確化して、そういう早業みたいなのも学べたんでよかったかな。あとは、うーん、英語も石井先生。石井先生は、なんか和訳をするのがやっぱすごい、何つうの、何だろうな、あー、なんか、前期は3列目ぐらい、4列目だけど、後期、なんか吉住（獨協医科大進学：吉住拓真）が前の席、座ってて、その隣が空いてて、「来なよ」みたい、言われて、まあ行って。最初はもうビビってたみたい。当てられちゃうみたい。けど、徐々になんか結構、石井先生の話とか、前で聞くと、まあ違ったかなみたい。前座ると、やっぱ見てる景色とかも違うかなみたい。やっぱ定着度が違うみたい。実際なんか英語の成績がなんか伸びて。やっぱあの日の授業、真面目に受けてたんで、石井先生の言うことも全部吸収した感じなんで、結果的に伸びたかなみたい。

### 代官山って、正直、真面目に勉強してれば1年で終わる。

代官山って、正直、真面目に勉強してれば1年で終わる。やっぱなんか結構、下のクラスの人とかは、遊んじゃってる人とか、結構しゃべってる人とか、廊下で、いるけど。やっぱその時間も無駄にせずやるの大切だし。下のクラスだからって、分かんないみたいなの思わずに、現に受かってる人とか、吉水（A10から1年で埼玉医科大進学：吉水一成）とか受かってる人いるし。やっぱそうっすね、努力すればやっぱ受かる。あと、上のクラスの人、なんか正直、2号館にいれば、ほぼ受かるじゃないですか。で、やっぱ受かるとしても

どこ行くかが重要であって。みんなやっぱ東京とか行きたい人多いと思うし、そのためにもやっぱなるべく上のクラス行って、その成績維持して、当日も本気でやるのが大切かなみたい、思いますね。やっぱ、大学生は楽しいんで。杏林は行きたくなかったけど、東医行けたんで、もう大万歳ですね。自分の中で、結構、父が格言的なその、持ってる。なんかネバーギブアップみたい。なんか諦めたらまじで駄目みたい。やっぱその、受験も、自分は、慈恵とか日医とか目指してたからやっぱそういう入試ときも、まあなんか結構できない問題あったんで、やっぱ諦めないでいけば解ける問題とかもあったし。まあなんか、結果的に落ちちゃったけどまあ、それってやっぱそういう精神があったからこそ、東医も無事入れたのかなみたい。大万歳っす。フフフ。

まあ、こんな自分でも、ハハハ、医学部入れたのは代官山のおかげ。やっぱ入れてくれた、くださった、石井先生とか事務の方とか山室先生とかもやっぱみんな支えてくださったからこそ、家族もそうなんすけど。やっぱさまざまな方面からのサポートがあったからこそ、受かったなって。それにはとても感謝してます、やっぱ、そうっすね、医学部入れてくれてありがとうございますって感じです。フフフ。





生が語る  
格への  
跡 2019年  
WAY TO SUCCESS

学部 前期2次合格  
学部 2次合格

卒業生が語る

# 合格への軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

|            |        |
|------------|--------|
| 東京慈恵会医科大   | 2次正規合格 |
| 国際医療福祉大医学部 | 2次正規合格 |
| 愛知医科大      | 2次正規合格 |
| 北里大医学部     | 2次正規合格 |
| 日本大医学部     | 2次正規合格 |
| 東邦大医学部     | 2次合格   |
| 昭和医大医学部    | 2次合格   |
| 東京医科大      | 2次合格   |
| 日本医科大      | 前期2次合格 |

推薦で落ちた瞬間、まじでもう、  
一気にやる気なくなりましたね、  
普通に、1週間ぐらい、いやもつと  
ずっと引きずってました、きつかった。

東京慈恵会医科大進学 深井 悠介 君(学習院高等科卒)



なんか変に現役のとき聖マとかその辺、受かったちゃったみたいなよりは、きちんと浪人して、勉強して慈恵入ったほうが結果的には良かったかなっていう、感じですね。

えーと、深井悠介です。東京慈恵医科大学に進学しました。1次出たところは、愛知、国際、杏林、北里、東邦、昭和、順天、日医、東医、慈恵、日大、慶応以外。慶応以外全部。はい。慶応は、あと7点でした。成績開示しました。7点でした、ハハ。数学は、41、2点ぐらいです、42点だ、はい、250点満点で。めちゃめちゃむずいっす、ハハ。めっちゃむずいっす、今回の。いやー、ちょっと暇でしたもん、もはや。できな過ぎて、暇でした。

杏林が1次、棄権で、順天以外は、全部、2次行きました。9校すね。順天、そうっすね、ま、学科は結構できたと思うんですけど、普通に落ちました、よく分かんないですけど。

学習院ってやっぱり、受験しない人が多いんで、その波に飲まれて、ゆるーく生きてて、間に合わないっていう感じすね。たまに現役で受かる人、推薦で行っちゃう人はいるんですけど、他は受験は多分、浪人すね。僕も、現役人時に、推薦受けて、東医の推薦、受けました。いやー、受けなかったら、って思いますね。いやー、どうなんですかね。一応、東医って結構、遅いじゃないですか、推薦。12月ぐらいなんで、本当、しんどかったっすね、あれは。アハ。いや、ま、できるなら早く終わらせたほうがいいみたいな。で、父親東医、兄貴東医なんで、ま、東医みたいな感じだったんで、うちは。東医の、ま、推薦取れたらいいんじゃないみたいな感じで。でも、いや、きつかったっすね、あんどきは。ハハ。いざ落ちたらもう、全然駄目でした。アハハ、普通にきつ過ぎて、この世の絶望みたいにな…、推薦で落ちた瞬間、まじでもう、一気にやる気なくなりましたね、普通に、1週間ぐらい、いやもっとずっと引きずってました、きつかった。

でも、慈恵受かって、なんか慈恵行ってほしかったらしくて、はい、両親は泣いていましたね、普通に、電話、11時ぐらいに発表あって、で、受かったっつたら、なんか泣いていましたね。兄貴は、「おー、すごいじゃん」みたいな感じでした。アハハハハ。どっちも泣いていました。ハハ、ちょっと親孝行しました。ま、浪人しているんで。ハハ。いや、僕は良かったです、浪人して。なんか変に現役のとき聖マとかその辺、受けて、ちょっと受かったちゃったみたいなよりは、きちんと勉強して慈恵入ったほうが結果的には良かったかなっていう、感じですね。

**生徒がどんな人なのかも、すごいすぐ、全部分かっていたんで。1人ずつ言ってくれるから。**

浪人が決まってから、3月ごろは、家ではやっぱり、勉強しないですね。YouTube 見たりとか、ハハ、駄目駄目で、家では、勉強はしていなかったです、家では

YouTube 見たりとか、友達と電話したりとか。ずっと見ちゃいますね。2、3時間普通に溶けます、一瞬で。ま、でも、たまには、走ったりしていました。ランニング。家の周り。ちょっと運動しないと駄目だなと思って。予備校が始まってからは、浪人中は、土日も、帰って飯食って、風呂入って寝るだけだったんで、そんな (YouTube) 見ていないですね。飯んとき、ちょっと見るぐらいなんで。コツは、極限までここで (代官山で) 疲れること？ま、そうすね。やるだけやって帰るっていう、あんま残して帰っちゃうと、ちょっと、気がかりで YouTube 見られないんで。ハハ。やるだけやって帰るっていう。なんか現役人ときは、そもそもあんま授業がないじゃないですか。学校があるんで。そんなですけど、浪人したらもう、授業がかつかつ過ぎて、最初、予定表見たとき、えって思ったんですけど、意外となんかもう、始まったら、それなりにできるようになったかなっていうか。1カ月ぐらいですかね、慣れたのは。最初はきつかったですね、きつかった、授業あり過ぎて。でも、授業ないと遊んじゃうっていうか、多分、どっか行っちゃうんで、きつと。あんぐらないと。しかも、ちょうど、あの、1コマずつ空けてあるんで、うまく帰れないようになっているんすよね。ハハハ、ハハハ。家、早く帰りたいんで。家、好きなんで。だから、ま、ちょうどいいっちゃいい、っていう。前期はそんなでもないんですけど、後期はきちんと早く来ましたね、6時半ぐらいに。夏までは8時、8時半とか、で、夏の面談で石井先生にちょっと、言われたんで。本当、きちんと本気でやれて、へへ、先生に、本気出してないよねって言われて。じゃ、きちんとやるって、来まして。バレています。あの人、本当にすごいんで。本当に、生徒がどんな人なのかも、すごいすぐ、全部分かっていたんで。この子はこうするべきってもう、1人ずつ言ってくれるから、それがもう一番だと思います、石井先生。

あまりでも、石井先生のところ相談に行っていなかった



ですね、一回も行っていないです。ハハ。で、面談ときに、言ってもらってみたい。バシッと。はい。でも、そんな、きついこと言われていないです、全然。僕なんか、結構、雑談で終わっちゃうんですよね、面談。石井先生、東医のこと詳しいし、大学の話とか、ハハ。お兄ちゃん(代官山 MEDICAL 卒業生：東京医大進学)の結婚の話とかで、結構、フフ。そればっかすよ、ほとんど。アハ、ハハ。僕と母親で、いや、面談ってこんな楽しいんだみたいな。みんな、こんななんか、しまっているんじゃないのみたいな。石井先生、すごい優しくてみたい。ゆるーい感じだったですね、面談は。みんな怖いとか言うじゃないですか。全然そんなことなかったです。怖く全くないですね、ほんと。雑談、みたい。本当に。

### 最初、理解で入って、理解できなかったら、最終手段が暗記に頼るっていう。

自分は、自分の場合は、なんか、そう、問題ばっか解いていても、根本を分かっていたら全然意味なくて。現役のときは、なんかもうひたすら量やれって言われてたんですけど、その何ていうの、本当に内容を理解していなかったら、いくら問題解いても意味なくて。で、浪人して初めて、きちんとその講義の内容から、自分で理解できるように頑張ろうと思って、その自分で、何だろう、先生から講義で言っていたことをなんか一から復習して、説明できるようになって初めてその問題解くと、景色が違ってくるといって、なんか、全然、あーって感じ。やっと理解できた。化学も生物もそうですね。特に化学はもう、全然理論が違いましたね。そこでまず理解してから問題に行く。うーん、僕はそれじゃないと、問題解けなかったですね。暗記が苦手なんで。化学とかも、その根本、押さえておけば、どう、こう明記されても解けるはずだから、最初の根本だけ理解しようかなって。暗記はできるだけ最小にしたいんで、先生の指示に従って、これは覚えなくていいとかアドバイスを聞いていました。先生がここまででいいよって言ったら、そこまで。先生いなかったらきついんですね。自力でやるのは無理ですね。何でもかんでも一から全部暗記しようとする人がいるんですけど、僕も現役のときは、最初っから暗記しようと思っていたんですけど、最初、理解で入って、理解できなくて、最終手段が暗記っていうか、最初はまず理解しようとして、ま、無理だったら暗記に頼らばいいって、思って。なんで、有機の反応とかは、理解してから、過程をちょっと自分で覚えるみたいな。そうすると、入試問題とかで度忘れしても、その過程を覚えているから、考えてできるから、結果をその場で導き出せるみたいな。いや、暗記苦手なんで。ハハ。生物まじ、きつかった。

### 生物選択だからって言って、物理に負けないでほしいなと思います。

慈恵、ぎりぎり受かったって人、あまり、いないですね。

僕より低い人はあまりいないですね。なんか慈恵受かる人たちはみんな慈恵は余裕だったみたいな感じなんで、千葉とか医科歯科とか、が多いですね。慶応補欠とか。結構、いっぱいいる。(補欠繰り上げ)来なくて慈恵みたいな、そうす、はい。今年、慈恵、110 すね。生物、22 人しかいないですよ。20 パー。そうですね。僕とハラシマくん。はい。めっちゃ少ない。男子、もっと少ないんです。10 人いない。5、6 人だった気がする。あと全部、物理。物理、めっちゃむずいっぽいですけどね。でも、なんか、生物のほうが少ない。フフ。え、何だろうな。でも、なんかやっぱり、生物選択でも、受かることは受かるんで、いる人はいるんで、なんか生物選択だからって言って諦めないで、物理に負けないでほしいって思います。勝ちましたね。ハハ。いや、ま、そうですね。ま、最終的に入試の結果で、判断してもらえれば。アハ。

### 過去問 1 年ずつ解いて持っていついていて。めっちゃ丁寧に見てくれるんで。

代官山(MEDICAL)は、本当にアットホームな感じで、先生に質問しやすいっていうのが、何よりかなと思いますね。なんか、聞きたいことをそのまま放っておくと、本当に後からきついっていうか、分かんなくなっちゃうから、その場で聞けるっていうのが本当に、よくて。すぐそこ行けば聞けるじゃないですか。それが本当に一番いいなって思いますね。習ってない先生でも答えてくれるし。先生たちみんな優しいし、聞けば答えてくれるし。質問はしないっていうのは、ちょっとさすがにもったいないなと、思って、質問はだいたいでしましたね。ハハ。中村先生とか、昼休み、30~40分、ずっと中村先生に質問していました。めっちゃそ迷惑だと思います、ハハ。あと、授業終わった後、夜 9 時半ぐらいまでとか。

ほら、帰るときにほら、まだいるみたいな。入試問題は何だろうな、過去問は、中村先生に記述とか全部見ってもらって、一番、お世話になった。なんか慈恵、日医とかの対策用のテキストとか何個も作ってくれたし、なんか一番、オーソドックスで分かりやすいなっていう。日医と慈恵の問題は、なんか 1 年ずつ解いて持っていついていて。めっちゃ丁寧に見てくれるんで。あと、TOP レベルのテキスト、1 学期の。あれで演習問題を自分で解いて、全部、それ持っていついてみたい。毎日。中村先生がいる曜日ごとに。M1 の数学は中村先生から。本当、丁寧ですね、あの人。僕が雑なんで、丁寧な人じゃないと、本当にちょっと。慈恵は駄目です。日医はいけましたけど。

あ、薄先生も多分、同じような感じで、めっちゃめっちゃ分かりやすいし、あの人に聞けば分からない問題ないかな。あと、ヒラパンは、なんか、あの人もう、気合っているんで。

それは確かにそれも大事だなって。プリントもいっぱいくれるし。あと俺、山室先生もそうだし。山室先生は、



本当、テクニック全部教えてもらって、知恵を全部、山室先生の知恵を全部もらったっていうか、ハイ。山室先生に習った積分の方法と、正射影、ベクトルがまじでもう、ずっと使いましたね。ずっとそうやっていました。ベクトルは本当、やばかったです。あれで解けないのはいっすよ。まじで。本当にすごい。あれ、ずっと、あれからずっと僕、使っていますよ。外積のやつ。そう、積分も。早い早い。全然違う。本当に良かったす。あと、いっぱいいるんだよな、数学。あと、長澤先生。長澤先生をすごい、マンツーマン取ってたし。なんだ、あの人も結構、解き方をいろんな、三つぐらい紹介してくれるから、どれか困っても分かる解き方あって、あれは結構、良かったですね。

英語は、もちろん石井先生と、僕は岩瀬先生ですね。石井先生は、授業、面白いし。あとまあ、英語関係なく普通に医学部の受験で役立つ話とかもしてくれるし。で、岩瀬先生は、本当に、何だろうな。覚えやすい、語呂、教えてくれるし、記述もきちんとして見えてくれるし、いろんなプリント持っているから、積極的に行けば、みんなもらえるんじゃないかなって話で。なんか、僕が体験記に岩瀬先生、押したら、ちょっとマンツーマン増えたって言っていて。え、だいぶ増えてんすか、いや、良かった。あ、まじすか。やっぱり、影響あるんすか。化学は、原先生とか、三上先生とか、先生の言うこと聞いておけば、まあ間違いはないかなって。優しいし、なんかまあ、そうすね。あと、小林先生は、なんかめっちゃプリントくれるんで、もらいに行くとけば、何かしらくれるんで、質問対応も丁寧だし。生物は、石原先生と深瀧先生と、オガティ（緒方先生）なんですけど、一番は FT（深瀧先生）で、まじで生物を伸ばしてくれたのは FT で、なんか頭が良くなるっていうか。本当に頭を使うようになるから、本当にみんな、マンツーマン取ってほしいなって思います。オガティはなんかもう、本当、一番、オーソドックスな解き方で、誰でも分かるような解き方するんで、困ったらあの人、質問すればいいし。あと、なんかメンタル面とかもすごい支えてくれるから、本当に。FT は本当に、なんかもう、頭使うのが好きで多分、あの人、その場でどうみたいな、答えさせて。で、みんな結構、怖いとか言うんですけど、僕、全然怖いと思ったことなく、一番分かりやすいなと思っていて。あの人結構、暗記をなるべく避けたくて、結構、考えて答えるみたいで、それで合っていたんで。マンツーマンも 1 年間、取っていたんで。あの人のおかげで慈恵は、生物できたって今でも思います。本当にあの人のおかげ…。そうすね。考察問題は、結構、一緒にやっていました。あの人持っているプリントは、ほとんどやったかな、正誤問題とかもあったし。あの人、結構、いろんなプリント作っているんですけど、考察特講みたいで。それ全部やっていました。あの人、本当、すごいです。あの人、マンツーマンって、みんな取ったほうがいい。本当、みんなビビって取らないんですけど、本当に僕はあの人、一番すね。慈恵向き。慈恵行くんだっ

たら、あの人です。

あ、あと、小論。ハッハハ。本当に高橋先生をすごい勧める。まじで。いや、なんか結構、意外と国語力必要で、小論文書くのって。で、なんか意外と、まあ、小論文の問題ってむずくて、なんか読み取らなきゃいけないこととか結構、あるんですけど、本当、国語苦手で、高校のときは学年ビリとかだったんですけど。あの人、やり方だと一瞬でもう、読み取れて、本当にどの問題も同じ型台にはめて、できるから。テンプレ系、テンプレがあって、それにはめれば全部いけるんで、あの人のおかげで 2 次、ほとんど順天以外、全部、（2 次）来たんで。確かあれは結構、やばいすね。すごいです。これ言いたかった。

いや、本当に、慈恵受かったのは、アハハ、代官山のおかげなんで、俺、感謝しかないですね。

まじで。エヘヘ。しかも正規ですすね。本当にでも、物理、物理に変えなくて良かったなと思いました。生物のままで。上行くの大変だから、物理に変えようかなと思ったんですけど、悩みましたけど結構、結局、まあ、変えなくて、良かった。





卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

北里大医学部

2次合格

帝京大医学部

2次合格

岩手医科大医学部

2次合格

生活習慣を早くから  
身に付けること。受験体制を整えるって  
いうのはすごい大事だなと思います。

北里大医学部進学 須藤 晶紀 さん(東京女学館高校卒)



一番最初に一次が来た岩手が一番うれしかった。複数校受かったらどの大学に進学するかシュミレーションしていました。

はい。えっと一、北里大学に進学することになりました、というか、進学してます須藤晶紀です。1 次合格したのが、岩手、北里、ええっと一、東邦、埼玉の後期と、帝京で、5 校受かりました。で、2 次は全部繰り上げて、岩手が最初で3月の12日、だったかな？ 88 番でしたね。でその 10 日後に北里が来て、31( 日 ) に帝京が来たって感じです。埼玉は( 2 次 ) 行ってません。申し訳ないです、はい。北里は 155 でした。その時点では、先生に北里は回ってくるだろうねって言うてもらったので、ちょっと。普通だと来ないんですけど、なんか塾に繰上げ合格の連絡がいっぱい来てたらしくて。2 月の時点でもう 100 番まで回ったって。それに 123 番の四ヶ所さん(北里大医学部進学:四ヶ所咲良)が来たって連絡くれたので、安心して待ってました。親とは 2 月の段階で、岩手と北里だったら北里に行く、北里と帝京だったら北里、東邦とどっちだったら東邦行くとか、いろんなパターンを、じゃあどっち行く？ っていうふうに、事前に決めていた感じです。シュミレーションしてました、フフッ。すごい、一番うれしかったのが一番最初の岩手。1 次試験が通った～っていう、本当にうれしくて、もう、母から連絡もらって、自習室で勉強してて、ああって声…、出ちゃいそうになって、ちょっと危なかったっていうか、出してません、エヘヘ。正直なところ、1 月が結構しんどくて、なんかもう、12 月 1 月は自分のできてないところが、気になって。先生方からも勉強できている人ほど、まだ不完全な所が見えてきて不安になるもんだって。受かる為には、そういう不安に打ち勝つために、『行動しなさい』、『勉強し続けろ』って励ましてもらって。入試に突入してる～とか思いながら、こう、何とか知識を詰め込みながら試験会場に行っていました。

**代官山は、成績のいい人も一緒に自習室で勉強してるから、どういう風に努力してるのかが見えて刺激になった。**

高 2 の夏の最後の週から通い始めたんですけど、塩尻さん(日本医科大進学:塩尻愛菜)がもういましたね。彼女は、高 1 からって聞いているんですけど。彼女は、私のイメージでは、英語と数学すごいなって思っていました。塩尻さんは、生物のあのおっきい教本あるじゃないですか。あれをずーっと、行き帰り、持ってて、女学館って渋谷駅からバスで行くんですけど、その停留所の並ぶ列が朝すごいんですよ。私は代官山で勉強してから学校に行くんですけど、一応早めに出てて、7 時 30、ん？ 40 分ぐらいに塾出て、ちょっと並んで乗れるってぐらいなんですけど、塩尻さんは、ギリギリに多分、ここ(代官山 MEDICAL)を出て、全速力で、あと山藤さん(順天堂大医学部進学:山藤里奈)も、坂道駆け下りダッシュしてたんですよ。なんか、駆け

下りダッシュして、バス停で並ぶ時間もずーっとあれ(生物教本)を持って直立不動な感じで読んで、ずーっとやってるって、すごいなって思っていました。いや、なんか、ずーっと資料集も見ながら歩いて。本当にぶつかりそうになりながらも頑張ってた。私、塩尻さんの存在が、すごい、本当、おつき過ぎて、もう、彼女いなかったら、多分、私はこんなに頑張れなかったし、現役合格なんて無理だったんじゃないかって思うぐらい、刺激もらってました。宮永さん(慶應義塾大医学部進学:宮永りりか)も、高校に行く前に、朝代官山に来てましたよね。一回、2 学期に女学館から渋谷駅に向かうバスの中から、宮永さんが一人で普段、青学生がたくさん通ってる道とは反対側の道で、1 人で、こう、単語帳を、英語の単語帳をこうやって見ながらやってるのを見て、ああ、やっぱ成績のいい人ってこういうところで努力してんだっていうのがわかって。成績も貼り出されるし、自習席もあって誰がどれくらいやってるか、みんながすごく勉強してるのとかわかるし。彼女も、なんか、すごい元気じゃないですか。青学生が通る道、2 車線あって、青学側の道路じゃなくて、あえてこっち側を歩いてて、多分、人があんまりいないから。青学生があんまりいないほうを通って、単語帳見て、賢いなあと思って。何か、すごい普段、明るく元気に、休み時間とか、おいしそうに食べてたりとかするんで、どうやっていつ、単語とか詰めてんのかなとか思ってた、やっぱ、そういうところで詰めてて、ああって思いましたね。私も、それをみて、やってみたりとかしてました(笑)。

**ダメなところは、ダメだと具体的に指摘してくれたのがよかった。**

物理は、本当にもう、小澤先生が、いらっしゃらなければ無理でした、本当に感謝です。私、1 年間終わってみて、どこがよかったんだろうって振り返ってみると、多分、最初っから最後まで教え方？ 考え方が統一されていて、混乱しなかったっていうか。初め、何だろう、初めて学ぶ分野？ に入ったときに、まずまとめてくださるんですよ。緑とかオレンジのペンで、こういう問題のときはアプローチはこうするんだよっていうのをまとめてくださって、それを何回も何回も、同じことを何回も何回もやってくださって、初めはそのアプローチ身に付けるのに、なかなかちょっと苦労してたんですけど、結局、最終的には教わってるものは最初っからあんまり変わらなかったんだって、はって気付いて、入試にもその授業用ノート持ってって、先生のポイントみたいなのを頭でこう思い描いたり、復習みたいな感じでやってました。で、あと、マンツーマンを夏に入れていただいて、そこで私の計算する様子を見たときに、一瞬で、ああ須藤ちゃんは計算が雑だねえ、みたいなことをズバッと言ってくださって、私、確かに計算は速く速くって焦ってて、あつ、だからミス多いんだ、もうその、当たり前なことをちゃんと気付か

せてくださったのが小澤先生で。意外な、というか、なんかすごい優しく、ほわんってしてて、みんな癒やされてるんですけど、逆にすごい一人一人のこと、すごくちゃんと見てくれて、ああ、先生すごいなあって。意外と、ダメなところは、ダメじゃんって、直さなきゃねって言うってくれる先生で、そこが私にとってすごいよかったです。なんか、学校の先生とかだと、私のいいところを言うってくれるけど。勉強の面で私は学校で怒られたことがなくて、何ができてないのか、何が良くないのかとか、自分に足りてないところになると、全然よく分からなくて。定期試験も1週間前にやれば取れちゃうし。だからやっぱ、代官山で、いろんな先生に、これができてないぞとか、ああ、須藤、暗記が駄目だねとか、この問題また間違えたの？ みたいな、なんか、そういう注意すべきことを言うてくださる、なんか、高めてくれる環境だったことが、やっぱ、合格の大きな要因だったのかもしれないなって思います。

### 浪人が頭をよぎったこと、普通にあります。けど、三上先生の叱咤激励で吹っ切れました。

高2の終わりとか高3の前半は、本当に単語のレベルは、もう恐ろしいものでした。英語の、本当に単語は結構、深刻に高2の終わりとか悩んで、ああ、本当に詰めないでやばいじゃんって思ったときに、あの、本館にいた時代とかに、トイレに持ってきたための単語帳っていうのを作ってた。なんかトイレに座ってちょっと時間あるじゃないですか、数分。その間に英単語、詰められるじゃんと思って、わざわざそのためにちっちゃい、なんか、ノートみたいな買って、そこに岩崎先生の授業とか、石井先生のシータの授業とかで知らなかった単語を、こう、書いて、それをトイレのときに覚えてって感じ。別にトイレじゃなくてもよかったんですけど、でも意外と、場所と結び付けて覚えたほうが、私はよかったんだ。あ、これ、あそこでやったやつだ、みたいな、今でも、その単語とか見ると、ちょっとね、あんまり今、

出てこないですけど、あ、これは、あそこ、本館のあそこのトイレで覚えたやつだとかって、ちょっと、フッって笑いながら出てきたりする。むしろ、なんか、そういう無駄、今、思えば、無駄だったかもしれないような、試行錯誤の繰り返し、意外と、自分の自信にもつながったっていうか。正直、多分、他人の目から見たら、何やってんのって思われるようなことも、坂道登りながら、こう、単語帳見るとか、もしかしたら、坂道って危ないから、もう全然、頭に入っていないかもしれないけど、でも勉強するという行為が、自分の中の安心材料になったんで、もしも成績が悪くても、まあ、自分はやってるじゃんっていうので、試験で緊張しすぎなかったのかなと思います。

でも、何度か、浪人が頭をよぎったこと、あります。普通にあります、私は。ちょくちょくその、成績が悪いとき。ちょっと浪人の、その、ぼやぼやって、頭に思い浮かんで。フッフッフ。夏に結構頑張ったけど、2学期学校が始まったぐらいはきつくて、結構なかなかデンジャラスな成績で。マンスリー120点台取りました。もう頭が真っ白になって、あー、どうしようと思ったんですけどまあ、体育大会の練習で体力的にも精神的にもきてて。夏って結局、みんな頑張るから、私だけ頑張ってるんじゃないもんあって、そりゃそうだよなって思ってた1週間とかあって、あのときは本当に、よぎりましたね、浪人の文字が。だから学校の体育とかは息抜きでしたけどね。まあ、親とかには全く言わず、姉にも全く言わず、私は寝たら忘れる。はい。まあ、あとはお風呂で泣くとか。それはめっちゃお勧め。ていうか、泣くのは本当にお勧めしたい。すっきりします。

それになにより三上先生が。いや、三上先生の授業が、私にとってすごく励ましでした。浪人いやいや、ダメでしょと。吹っ切れるっていうか。やばいよ、とか普通に言われたことがありますよ。なんか、一回、ウイークリーで、そのクラス内で最下位を連発したときは、須藤、最近調子悪い、やばいよ、みたいな。いつだったかな。夏？ 酸と塩基とか苦手だったし。理論が結構できてない部分が多くて。一個一個、一からやるっていうのは、本当に、先生のやり方を見よう見まねでやって、何とかぎりぎり間に合ったって感じですね、化学は。でも三上先生、分かりやすかったんですよ、分かりやすい。初めて受けたときには、もう、目からうろこみたいな。アッハッハッハッハッハ。確か、三上先生の授業は、1回目の授業のときに、覚えるべきことと理解すべきことを分けろっていうふうにおっしゃってて、私、それが印象深くて。なんか、ずっと、化学って、私、全部暗記なのかと、それまで。電池、電気分解とか、反応式、全部覚えて、で、またすぐ忘れて、で、ちょっと復習して、また覚え直してみたいなのやってて、でも結局、理解すべきことっていうのは、一回理解すれば、結構自分でも、思い出せるし、できるようになるから。ああ、そっかあ、そういうところが大事なんだなあと思って、1年間、





意識し続けてたことだったかな。まあ、苦手でしたけど。ウフフ。

### 中学2か中学3年から医学部に憧れを抱いていました。

私の中で、目指し始めたのが中2か中3ぐらいだったんですけど、なんか、医学部に行きたいって親に言えなくて、1年間ぐらい黙ってたんですよ。実は行きたいんだよなって思いながら。で、ようやく、言おうかなって思った日に、なんか私、実は医学部行きたいんだよねーみたいなことを、さらっと言って、ええーって、すごい驚かれた印象ありますね。覚えてて。私にとっては、他人のために生きることが生きがいだったから、その一、医者になりたいって思ったし、それが幸せだと思ったからその道を選んだんですけど、それが、なかなか、まあ、時間をかけて、伝えていった感じですね。母親は結構、わあって感じで、初めはあんまり、母親とか、医学部にはあんまり賛同してなかったんですよ。でも父親が意外と、なんか、言われたとき、どうしよう、その一、知ったときはどう思うんだろうと思ったんですけど、母親が、父親に向かって、なんか、アキちゃん医学部行きたいって言うてるんだけど、みたいな言い方で父親に伝えて、たら、父親は一言で「いいじゃん」って言うてくれて、それが私にとっては、すごいうれしくて、ええって思って、えっ、お父さんってこんな人だったっけと、思って、そこから、ちょっとパワーをもらって。

### 学校の先生が力を引き上げてくれる塾だって勧めてくれた。

ホームページ見たときに、「進学者数？」って載ってるじゃないですか。ちゃんと年度ごとに載ってるし、実際先輩方もいっぱい受かって。それが私にとって大きくて、信頼できるじゃんって思って。まあ、でも決め手は、実際にここに来て、石井先生とお話させていただいたときに、なんかもう、は一、圧倒されて。その一、何だろう、母親が、医学部に対しての、あんまり知識がなくて。アハハ、当たり前なんですけど、姉も全然、医学部じゃないんで、初めての医学部受験っていう世界に私たちは飛び込むってなったときに、石井先生が母親に対して、あっお母さん、その考えは、みたいな感じで、その、こう、口を出してくださったときに、ああ、この先生だったら、なんか、すごい、いろんなことも、なんか気に掛けて、こう、言ってくれる先生なのかな、みたいな。そういうときに、一気に問題解決できそうっていうか、私の中で信頼度がぐぐって上がって、で、お母さんと話したときも、ああ、なんか石井先生ってすごいね、とかって。なんか、すごい、もう話してるだけでパワーを感じるっていう結論に至って、そのときに、もう決めました。結構、ある意味、直感的なんですけど。ウハハ、ンフフ、確かに。女同士の勘で、かちんって。実際入ってよかったです。

質問に相談に行ってもすごく気にかけてくださったし、明快だった。いい先生方もたくさんいらっしゃって。あ、もともと、代官山は、高2のときに、担任の先生と母親が面談をしたときに、学校の先生が勧めてくださったんですよ。私も高2のときに、高3の担任の先生だった、その、当時、化学を受け持ってた先生に相談したときに、ああ、代官山 MEDICAL っていいよっていうふうに、実は名前だけは聞いてて。学校の先生が言うって、どんなもんだ？みたいな感じで。なんか、本当に2人の先生にも感謝ですよ。女学館から通ってる人結構受かってるから。何か、もう、引き上げてくれる塾っていうふうに、イメージを持ってるんで。学校の先生にも、私代官山 MEDICAL ってことは伝えてあって。まあ、基本、ここ、みんな代官山に通ってるってことは、担任の先生も分かってる、知ってます。

### 時間がない現役生にとって、やってよかった時間管理術は？

私は、石井先生にアドバイスされたことの中で、受験期最後まで続けてたことは、勉強時間の記録を付けることです。このノートに。私、今ある。持ってきたんですよ。累計で多分、10冊ぐらいいってるんですけど、こういうノート作って、1ページ、1日1枚1ページ。やるべきことみたいなのは別を書いて、で、これを、やったことのノートみたいにしていって、時間と、やったことを書いて、11時間30分とか。はい、やった！みたいな。で、累計も、何時間やったかっていうのを1週間ごとに出して、それを1カ月ごとにまとめてって、目に見えるようにして。こうやって見て、ああ、この月は348時間やったぞって。結構、夏とかのほうが、結構、やってるかもしれない。今月は300時間超えたなあとか、8月は400時間近いですね。398って書いてあります。いや、でも結局、夏休みは必死だったから、正直、こう、時間を書かないと、自分がどういうふうに勉強してたかって、自分で気付けなくて。

あ、なんか、一個一個、やるたびに時間書いて。始めるときに、まずその時の時間…、6時40分って書いて、終わるときに7時20分、合計何分で、数学の演習のプリントをやったって書いて、最終的に、これも結構、私の計算練習としてもやってたんですけど、何時間何分とかって書いて、最終的に足すんですよ、これを。それを全部、手作業で、練習として。私は、そろばんをやってて、暗算が結構好きで、前はよっぽど4桁掛ける4桁とか、3桁掛ける4桁とかじゃない限りは、筆算をやらずに頭で考えてやってたんでミスが多かったんです。ここに来てから、浅尾先生とかにも、相談したことあるんですけど、化学の計算ミスが多いんですよみたいなことを相談したときに、まあ、やっぱり、一つ一つ丁寧にやろうみたいなことを言われて、ああ、目に見える形で残さないと、やっぱ駄目じゃんってなって、で、筆算を書き始めて。さすがに、足し算で2桁プラス2桁ぐらいたったら大丈夫だけど、やっ

ば 3 桁ぐらいまでいくと、だんだん自分の暗算能力っていうのが、ちょっと、ぼろが出てきて怪しいんで、そういうものは、ちゃんと全部、書いて、やるようにして。入試のときも、なんか、こう、計算の式を書く所と、筆算を書くスペースっていうのを、こう、分けて、こう、見やすいようにしてみたいなのをやるようになって計算ミスがググッと減りましたね。

### これから医学部に現役合格を目指す人たちへなにかアドバイスありますか？

やっぱり、とにかく現役生は時間がないんで、塾と、家と、学校と、移動の時間っていうのを分けて考えて、それぞれで、何をどうするのが一番効率がいいのかっていうのを考えたほうがいい気はしますね。あとは、やっぱり、生活習慣を早くから身に付けること。受験体制を整えるっていうのはすごい大事だなと思うし、私も、高 2 の夏からここに来たから、朝、早く起きて勉強するっていう、その一、受験生にとっては当たり前なことですけど、意外とそれが習慣になるのって難しいんですよ。朝、早く起きるっていうのが。だから、そういうのを高 3 生になってから初めてやろうと思うと、本当に、きついから、高 2 のときからとか、春休みとか、そういうところから、ちゃんと朝、早く起きて、塾に来るみたいな、そういう生活習慣から、やっぱり、始めたほうがいいんじゃないかなって思います。なんか、生活習慣が整って、初めて、なんか、成績も、こう、伸びてくって、自分では多分、勝手にそう思ってた。なので、まあ、その、何だろう。体育とか、部活とか、そういうものとかは、あるのはしょうがないし、行事とか、文化祭とか、そこはとことん楽しんで、他は全て勉強に充てるみたいな。体を動かしてるときは、それに集中して、それ以外は全て医学部のことを考える。まあこれ、石井先生がおっしゃってたことなんですけど。うん、とにかく私はそれ。

### 高校生、受験生として受験勉強を振り返って、最後になにか、言いたいこととかあれば。

そうですね。代官山 MEDICAL は、えー、やっぱり、生徒一人一人のことを、ちゃんと見てくれる先生がたが集まってるんで、とにかく先生の言うことを信じてほしいし、ここでやるって決めたことは、最後まで、とことん貫いてほしいっていうのはありますね。そういう、自分で何かしらの信念を決めたら、それを、誰か先生に言うとか、なんか、生徒がやりたいって思うことを、尊重してくれるし、誰よりも応援してくれるし、誰よりもサポートしてくれるんで、そこは本当に安心できた点だし、やっぱり、ここは、もう、自分の自習席もあるし、ここに来れば先生がたにも会える、話せるっていう環境は、やっぱり、他では、なかなか味わえないんで、そこを大切にしてもらいたいなって思います。

結構、同じ教科でも、先生によって、考え方とか、ア

プローチの仕方とかが違うんで、そういう、いろんな先生がたに聞いて、自分に合うものを見つけられるっていうのも、ここのいいところだと思います。よかったです。本当に。はい。それに、マンスリーあってよかったっていうことを言いたい。きつかったけどマンスリー。はい、マンスリーは、結構よかったな。試験を受けるときの練習じゃないですか。あれは、やっぱり。だからその一、点数の良しあしとか、それも気になるけど、その、入試に向けての練習になるんで、まあ、私の学校が、女学館は朝礼で黙想をするっていう習慣があって。それを、代官山で試験前に取り入れてて、試験前は絶対、目をつぶって黙想するとか、集中するとか、なんか、そういう、自分の中でのジンクスを作れる環境でもあったんですよね、テストとかも。だからウイークリーも結構、みんなでここが違ったとか、ああ、ここは合ってるとか、ここ、どうやってやるの？とか、そういうふうに同級生のみんなとやり合えるのもよかったし、私は何より、現役の、もう、同級生たちがいてくれなかったら受かってなかったと思えるぐらい、ここの仲間は本当に大事にしたいなって思っています。なんか、現役は現役にしか分からない悩みとか、学校の悩みとか、ここどうしようとか、朝どうしようとか、そういう悩みを、こういう、共有できるのは現役生だけだから。やっぱり、うん。協力し合いながら、切磋琢磨し合いながら、みんなも頑張ってもらいたいです。





卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

日本大医学部  
東海大医学部

2次合格  
2次正規格

神授業だった。  
まじ、出るところを的確にやってくれる。  
ちゃんと出るものを全部。  
本番で、ちゃんと出るんすよ。

日本大医学部進学 小林 徳秀 君(秀明高校卒)





卒業生が語る

# 合格への軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

|            |       |
|------------|-------|
| 東京医科大      | 2次合格  |
| 愛知医科大      | 2次正規格 |
| 東北医科薬科大医学部 | 2次合格  |
| 岩手医科大医学部   | 2次正規格 |

物理は野村先生の授業と演習で  
極められました。

東京医科大進学 松脇 伊吹 君(高輪高校卒)



卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

杏林大医学部  
愛知医科大

2次正規合格  
2次正規合格

授業がもう、神。

杏林大医学部進学 後藤 駿太 君(桐朋高校卒))

## まず、進学先をそれぞれお願いします。じゃあ、イブキ君から。

松脇：あ、はい。松脇イブキ（伊吹）です。東京医科大学に進学しました。最終的に受かったところは、えーっと、東医と岩手、愛知、東北医科、で、東医です。

小林：えーっと、小林徳秀です。受かった大学は、東海と日本大学です。

後藤：後藤駿太です。1次は、愛知と杏林と福岡と昭和。昭和、来てほしかった。2次は、愛知と、杏林で、福岡は2次受けてないです。棄権で、ハハハハ。

## 代官山を選んだきっかけなどあれば。

松脇：僕は、あの、知り合いの人の紹介で入りました。誰だっけ。えーっと、サンドウさん。お父さんと、僕のお父さんと山藤さん（順天堂大医学部進学：山藤理奈）のお母さんの知り合い関係で。多分そう。で、なんかまあ、1浪のときに通ってた、前通ってた塾では・・・あ、●MSです。いや、なんか、まあ、あんまり成績が伸びなかったの、ちょっと環境変えてみようかなっていうので、代官山来ました。

小林：俺も知り合いに紹介。あの・・・秀明、ここ（代官山）多いじゃないですか、ここ。だから、友達に紹介してもらって、オカダユウゴ（岡田悠吾：金沢医科大学進学）に。そうです、剣道部の。うーんと、この前は、えーっと、●インダムに行って、こっちにきた感じ。母親と来ました。

後藤：僕は、シラス君（白須大士：東邦大医学部進学）のお父さんに紹介されて。僕は、あんまり接点ないけど。あんまり来なくなかったってつか、ハハハ、いや、つまり、面倒くさいし、変えたくないと思って。あ、前は、T学院です。なくなっちゃったんですけど。はい。ハハハ。結構やばくて、そこが。結構ひどかったんですけど、でも、そんなときもうなんか塾変えるのも面倒くさいなと思って、残ろうとしてたけど、荷物も移動もめんどくさかった。なんか、あんまり受験を真剣に考えてなくて、いやまあ、はい。そうこうしてるうちに、なんかまあ、親になんか連れられて来て、ボスの面接、面談で、受けて、もうその日じゅうに入ること決めてって感じ。で、その日の帰りの車の中で、もう入学すること決めて。入塾も寮も決めて。荷物を持って。まあでも、よかったです、本当に。本当によかったです。いや、本当に。だって、（前の予備校）なくなっちゃって。今頃は多分、受かってないんじゃないっていうか、いや、もう。いや、本当にやばかった。

## 去年の自分と今年の自分の変化、何か違いとあったものとかありますか？

松脇：違うところ。うーん。まあ、勉強量とか。授業の数。●MSは結構、その、自主性に任せてるところがあって、かなり、自由な時間が与えられてるんですけど、その分、結構、気が緩んじやったりして、全然、勉強に身が入らなかった。その点、代官山は、その、しっかり

カリキュラムが詰まってて、僕には本当に合ってたかなと思います。その●MS時代は物理しかやってなかった、自由な時間が多いんで。アッヘヘ。英語はもう、なんかもう、本当、見たくない、本当にやってなかった。小林：え、やっぱマンスリーじゃないっすかね。マンスリーの、なんか、順位によってクラス変わるじゃないですか。あれが結構よかった。

後藤：いや、去年まじひどくて、なんか iPad が全員に支給されるんですけど。それで、俺は授業中は野球見たりしてたし、iPad で。全然、制限がかかってないんで。で、授業中も出てっちゃってもいいし、自由に。自習室も2人ぐらいいいかなかった。iPad、まあ、最終的には返すんですけど、自由に何ギガまでも使えるから。100ギガとか使ってる子もいました、1カ月で。映画とかずっと見て。まあまあ、ひどかったですね。それで、それ終わって、また浪人して、2浪目決まったときに、一応さすがにやばいかなっていうのは感じて。このままいったらやばいかなって・・・でも、そのままだら、もう100パー駄目だった。あと、小林と同じで、マンスリー、結構、刺激でした。いや、まあ、順位がちゃんとしっかり出るから、自分の立ち位置がわかって。しかも人数もそこそこ多いので。やっぱ前の塾とか、30人とかだと、やっぱそんなあんまり意味がないっていうか。さすがに100人ぐらいいれば。まあ、100人のなかでの結構マンスリーの結果とかで、行く大学も結構、みんな、ちゃんと上に受かってるし。なんか、1番とか取ってる子はちゃんと慈恵とか国立、行くし、ちゃんと結果に表れてるかなっていうのは、多分、指標にはしてました。意識はしてたけど、取れなかった。本当に取れなかった。

## 1年間振り返って。きつかったこと、苦労した科目は？

小林：えー、あの一、やっぱ、授業数多いじゃないですか、ここ。だから、なんか、穴がなくなるっていうか、その、なんか、生物とかだったら、まじ知らないことがないレベルぐらいにやらされたんで、結構その、FT（深瀧先生）がきつかった。FTがきつかった。いや、なんか、最初に言われたのが、おまえだけ厳しくしていくからって言われて。ハハハハハハハ。そう。なんか、めっちゃ当たりが強くなって、それ、めっちゃきつかった。授業中。がんがん来ます。なんか、めっちゃやばかった。答えられないと、え、いや、「周りのやつできてのに、おまえできないんだ」みたいな。いじめ。ちょっと、軽くいじめ。軽くいじめ。アハハハハ。耐え抜いて。はい。強くなりました。生物の成績、多分すごいです、偏差値が65まで伸びた。

後藤：FTはもう、本当にありがたかった。FT、マンツーマンと取ってたんで。FTは、なんか、授業がめっちゃ厳しいんですけど、集団と違って、マンツーマン俺に対しては優しく、励ましたり結構してくれたんで。化学は、2学期から、龍さんのマンツーマンを取って、理





論化学を一から全部やってもらって。で、12 月半ばぐらいから、もう無機しかやなくなってる。それで、受験で、化学、どこも多分失敗しないって。龍さんのおかげで。化学は殺しました。まじで。

松脇：うーん、やっぱり一番苦しんだのは、あの、数学です。一番、苦しんだ数学は。その、自分の中で実力が付いたなって感じがなくて。で、なんかまあ、ひたすらテキストの復習とかやってたんですけど。まあ、一番良かったのは、単科取りまくったことだと思います。自分の中で、この公式をどういうふうに使うとか、そういうのは頭にあったんですけども、いざ試験に出されたときにその公式使えなかったりとか、演習が足りなかったんで、いっぱい単科取って練習したことによって、そのコツがつかめるようになったかなって思います。

後藤：テキストでかかったね。数学の、あの、数学のテキスト、もう 4 周繰り返した。実際、あれをもう何周もしてる國香さん（東京医科大進学：國香杏奈）とか、なんか、ちゃんと安定して取れてた気がするし。

松脇：なんかちょっと、僕、不器用なんで、あの、何周とかして、その、基礎ができたから応用いこうっていうのが、ちょっと無理なんですね。あの、基礎やってちょっと練習問題とかいろいろ手出して、ようやく応用いけるかなって感じで。入試問題って、なんか、なんでしょうね、複素数と、他のなんか分野、数列とかそういう組み合わせた融合問題とか出てくると思うんですけど、それを解くために複素数やって、数列やって、基礎ができたから応用いけるかっていうと、僕の場合はちょっと難しくて。ひたすら、その、類題とかそういうの解きまくったほうが合ってた気がします。

小林：数学やばかったっすね。数学はもう、途中から捨てました、俺。一番重点に置いてやってたんですけど、途中から捨てたです、そう、捨てました。でも、まあ、最後、偏差値 51.3、最後、多分。そうっすね。あ、でも俺、テキストめっちゃ復習したんで。テキストと過去問っ

すね。

後藤：俺もテキストだけっすね、もうなんか、結構ざりざり、ギャンブルに勝った感じ。代官山、受かり過ぎじゃね？

松脇：いや、でも、ちゃんと。やっぱ自習席とかも、みんなちゃんとやってるし。

後藤：俺は最後、ブース行って。

### 後藤くんは村上先生、好きだったよね？

後藤：村上先生、もう大好きだったんで、もういつも面倒見てもらってた。愚痴っていうか、授業でいつも、なんか、声掛けてくれるから。特に、なんか、めっちゃいじられるじゃん。村上先生に俺はいじられてたから。毎朝、見せに、課題一つ見せに行くように、1 問でもいいから見せに行くみたいなの、朝やってて、まあ、直前期とかは本当に、本当に励まされた。直前期のマンツォー。

松脇：村上先生って面倒見がいいから。

後藤：面倒見、いい。本当に、本当に、大好きよ。

松脇：常に、なんか、会ったら声掛けて、いい先生だなんて。

後藤：みんなに声掛けるよね。俺がなんか、ちょっと元気なさそうな顔してると、あの、寄ってきてくれます。寄ってきて励ましてくれてました。結構。やっぱ俺、どんどんクラスが落ちてったんで。あ、そうだ。クラス、なんか、みんな言ったほうがいいと思います。クラスの。松脇：M4 ですね。M4⇒M4⇒M4⇒M2 ですね。まあ、一応、順調でしたね。

小林：M2⇒M4⇒M4⇒M4。やばいっす。

後藤：俺は、M4⇒M3⇒M4⇒A1。いや、本当に。なんか、村上先生にも、なんか、俺の成績は減衰曲線だみたいなの、ずっと言われてたから。アハハハハ。いや、でも、それでも声掛けてくれるとうれしいんですよ。FT にいじめられて、あれは本当にうれしくない。村上先生にいじめられんのはうれしい、村上先生は、構ってくれる、

愛があるんです。

松脇：FTは・・・。

後藤：いや、FT(深瀧先生)も愛あるんだけど。

小林：ないだろう。アハハ。俺はまじ、断然、緒方先生です。はい。毎回、マンスリー終わって、それ見せに行くんですけど、数学、まあ、まあまあ、気にしないでいいよみたいな、言ってくれたんで、すごいよかったっす。これから数学、やっぱ、きっと、なんか、センス的なものがあるから、フッフッ、まず英語を伸ばすとか、英語を伸ばして、そっから数学考えればいい、みたいな感じで。そうですね。良かった。めっちゃ面倒見いい。

後藤：授業がもう、神。

小林：神授業だった。え、まじ、出るところを的確にやってくれる。ちゃんと出るものを全部。そう。ちゃんと出るんすよ。

後藤：感動、本当に感動。向こうの出題者と結託してんじゃないの。アハハハハ。いや、本当にそのレベルで出ます。「ここ出るよ」つつたら、出ます。

小林：本当に出ます。緒方先生は。ま、生物科、結構、連携取れてんで。

後藤：全員、神授業っていうか。FTも、イシも、ザキさんも、山崎先生も、みんな。

小林：そうですね。みんな、みんな、みんないいんだって。強いっす。生物科、めっちゃ強いっす、本当に。

後藤：ちょっとタイプも違って。FTは本当に厳しくしてくれ、オガティーも厳しいときあるけど。

緒方先生、だいぶ厳しいときは厳しい。

小林：うん。みんな個性的だよな。

後藤：イッシーはなんか友達みたいな感じだし、山崎先生はお父さんみたいな感じで、なんかもう。

### 松脇君の場合は？

松脇：えーっと、多分、物理が苦手な人は、あの一、寺澤先生がおすすめかなって思ってた。で、やっぱり物理を極めたい人は野村先生か小澤先生で、僕はでも、野村先生が好きでした。えーっと、何質問しても必ず答え返ってくるところですね。でも、何ていうんですかね、結構、原理とか習ってるときに、なんか、ふとした思い付きで、じゃあ身近にあるこういう現象ってこれで説明できますかっていう質問しても、これはちょっと違う現象でとかいう話で、どんどん、どんどん深く掘り下げてくれたりとか。なんか、結構、自分の知的好奇心に対して寛容で、何でも答えてくれたんで助かりました。だから、自分が、予想している以上の答えが返ってきましたね。あとは、まあ、あの先生、多分、何でもできるんで、えーっと、なんか数学的な話とかもしてくれるし。で、化学も得意だったらしいんで。で、英語も得意で、帰国子女で、なので、なんか、僕も、その、「ちょっ、英語教えてください」って言ったんですけど、そしたら、「僕は英語を勉強したことがないので分からない」って言われちゃって。「じゃあど

うやって単語覚えたんですか」って言ったら、その、「本とか読めば勝手に覚えてく」みたいな。えー、みたいな。それは何も役に立たない。ハハハ。ちょっと、英語は無理だなと思って。ずっと物理の話をしてました。微分方程式とかもやってくれました。なんで、今、本当に、大学でやってる内容は、野村先生とやったところだと思って、やってます。全部、説明してくれました。まあ、楽しかったんで、1学期は本当に物理ばっかやってました。まあ、1学期、物理やり過ぎて、その、2学期、飽きちゃったんです。

### うまくいった秘訣とかあれば。合格に。後藤君、じゃあ。

後藤：うーんと、うまくいった秘訣？だから、春、春に、えーっと、なんか、最初のボスとの面談で、A8ぐらいから頑張っていこうみたいなことを言われて。模試の結果とか見せて。で、そのときに、まあ、さすがにちょっと悔しくて、なんか、さきどり課題みたいな、春休みの宿題みたいなのをちゃんと5周とか。5周。めっちゃノート、こんぐらい出しました、本当に。それでM4で入れたんで。のが、でかかったです。そうです。そこから勢い乗ってM3にも上がれたし。そっからちょっと落ちちゃったんすけど。なんか、でも本当に。あとはマンツー。春は本当に頑張りました。春は、えーっと、化学の浅尾先生と、あと、生物の山崎先生に、もうずっと。その2人はもう本当、基礎とか固める、ものすごい良かったんで。春が俺はでかかった、合格するのに。春、その、ダッシュが切れたのが良かった。あと、周りがみんな真面目だったのが良かったです。

小林：予習、絶対っすね。全教科やってました。だから、数学とかはできるだけ予習で考えて。なんか、問題解いて、何を分かってないのかとかを明確にしてるし、できるだけ頑張ってる。予習の段階で自分が分かんないところ分かってなくて、予習するようにしたら、結構、伸びました、成績が。





松脇：えーっと、僕は、朝来るのが無理だったんで……。その朝来ない分を、周りに助けられてじゃないですけど、その分をどこで補うかって考えたときに、やっぱり、休み時間を勉強しようって思って、僕はもう本当に休み時間、もう全部、使って勉強して休まず、で、その、休み時間って何がいいのかって考えたときに、代官山って 20 分って比較的質問できるくらい長い時間あるんで、その間に、数学とかを予習とか復習するのが本当にやっぱ自分に合ってる。逆に 20 分超えちゃうと、復習の効率が落ちるっていうか。そう、時間計ってやれたんで、すごい良かったな。そうですね。入試のときも多分、テキスト 1 ページに対して、多分かかれる時間って 12 ~ 13 分くらいだと思うんで、自分でそれくらいに、その休み時間 20 分の間で、次の授業の準備とか考えたときに設けられる時間が 15 分くらいだったんで、その時間をちょうど、数学の復習に充てると、効率っていうか。他の人たちが、長い時間をかけて単調なゆっくりとしたペースで歩いてるのに対して、僕は短い時間でさくっと。まあ、効率よく、さくさくさく。

### いろいろな授業のなかで印象に残った先生とか。英語から。

松脇：英語は、えーっと、栗原先生です。まあ、あの人の授業は本当に、まあ、英語もそうなんですけど、その、読解力っていう部分ですごい助けられたなって思うんです。なんかその、僕、その、英語だけじゃなくて日本語とかも苦手なんです。その、論理展開とかがうまくつかめなかったんですけど、それを、その、英語の構文とかを通して、うまく、前後関係とかをつかんで読解するっていうのが、ものすごく自分に合ってる。あれは本当に、その、能力とかあんま必要なく、ただ授業受けてそのやり方を学んでいっとけば。むしろ、なんか、日本語苦手な人にはおすすめかなと思います。

小林：え、俺は三ツ橋先生ですかね。ミツツーっす。なんか、あの、結構、文法がちょっと強いんですけど、なんか、いっぱい問題。自分で作って、なんか、全然、解けないような問題も持ってくるんすよ。間違えやすいやつ。ああいうの、すごいなって思います。文法はあの人ののおかげで結構、強くなりました。

後藤：ああ、えーっと、良平、田中良平先生は、俺はなんか、英語、本当に、俺も松脇と一緒に勉強してなかったから。でも単語は俺は好き、大好きだったんで、単語だけしっかりやって。良平はもう、それをもう、本当に異次元なレベルで単語広げるんで、それは俺、楽しくて。単語すごい。もう本当に。変態です。

ホワイトボード全部、埋まります、本当に。単語で。

小林：お経みたいすよ。単語で埋まる。2 周する。

松脇：全部、埋まったのを 2 周するぐらい。

後藤：本当にお経みたい。それをまとめたりして覚えるんです。1 個の単語がもう、まじで 100 個ぐらいになる。本当にすごい。派生して、同じ意味の単語で、そっ

からなんか、また派生させて。良平は結構さ、いじるからさ。堅そうだけど、結構、楽しい。なんか、しゃべりやすいから。だいぶ、いじりやすい。それとあと北林先生が俺はもう大好きで、俺と多分、フルカワ（古川遼：東海大医学部進学）の 2 人とも。なんか、熱くて、面倒見、良くて。熱い。なんか、え、でも、本当に熱いっていうか、面倒見が本当に良くて。生徒のこと、みんな下の名前で呼んでくれるんすけど。なんか、そういうの含めて、なんか、本当に元気が出ると。北林先生は好きでしたね。受験直前、2 学期ぐらいからマンツーマン取ってます。役に立ちました。文法を中心にやってもらってる。

松脇：あの一、良平先生、あの、授業のスピードがめっちゃめっちゃ速いんですよね。その一、なんで、僕は、その、受験期直前っていうか、やってましたね。えーっと、あの、多分。僕は過去問演習ずうっとやってたんですけど、本当に 1 コマで 2 年分くらいずつ解いてました。なんで、本当に直前期に、その、過去問演習したいとかそういうのになったら、良平先生はおすすめですし。速いですね。良平先生は本当にもう。解いて、時間計ってやるんですけど、ものすごく目標のレベルが高いんですよね、良平先生。目標って、何つうの、ものすごい英語できるやつでも、例えば、慈恵合格レベルってあったら、それよりも 5 分くらい短く解いてほしいと、そういうの平気に言うてくるんですけど、まあ、そのおかげですぐスピードが、スピードっていうか、授業が進んでくんで、直前期には本当におすすめかなと。後藤：英語苦手な人は栗原先生と、俺は北林先生。本当、苦手な子は絶対。良平はやっぱ、ちょっと難しいところも入るから。

松脇：レベルが高い。良平のレベルも高いしスピードも速いんで、できない人だと、どんどん置いてかれちゃうっていうか、なかなか難しい。

### 数学は？

松脇：数学は、代官山の数学の先生は本当にみんないい先生ばかりで。僕が今まで、中高とか、Y●S とかで受けた先生とかと比べても、やっぱ、代官山の先生のほうがやっぱ全然いい先生ばかりだなと思って。基本的に、数学の先生は全員、本当にいい先生ばかりだと思います。一番お世話になったの、多分、薄先生かなとは思いますが。典さんも授業楽しかったなって。

後藤：楽しかったな。典さんの授業、楽しかった。

松脇：最初のクラスが M4 で、後藤と一緒にだったんですけど、そのクラスは、何発言してもいいみたいな、そういう授業で。

後藤：クラスのメンバーが良かったので。あったかいクラスで、本当。今でもみんなで会ったりするし。

スギウラさん（愛知医科大進学：杉浦るみの）、とかハシモトさん（日本大医学部進学：橋本麻莉夏）、フルカワさん（日本医科大進学：古川優奈）。あ、アカサカ（近

畿大医学部進学：赤坂政哉）。

松脇：ハッハッハッハッ、レオン忘れてない？ ちゃんと。

後藤：あぶね、ヘッヘッ。あ、レオン（杏林大医学部進学：永野玲音）、レオン。まだいるっけ。それぐらいか。ほんと、良かったわ。

松脇：そのクラスは本当に。なんか、授業で、その一、典さんが、すばっと解くことっていうのに、結構あるじゃない。そういうところでも、授業中に「それ、どうやってやったんですか」って言ったら、その、一回、授業中断して、ここの説明とかしてくれたりとか。「分かんない」みたいな、全然、入れる。分かんないところは本当にすぐ、ぱって質問できて。

後藤：「それ分かんないです」みたいな。

小林：数学、ちょっとそうっすね。いや、でも俺は薄先生と典さんです。え。いや、典さんは普通に、なんか、質問しやすいっす。何でも答えてくれる。薄先生は、あの、東海の2日目の数学、問題の一番最後の数列。あれ、薄先生の授業でやったよね。やったよね、やったよね。なんか、ぼいやつ、やってたんです。それのおかげで多分できた。で、薄先生っす。大問1個っす。漸化式のやつっす、そうっす。

後藤：あの、薄先生は本当に、難しい解き方しないから、難しい解き方しないんで、それがめっちゃ自分に合ってる。薄先生はやっぱ、もうテキスト、薄先生の5、6集（数学Ⅲ）は、だいぶ強くなったと思います。あと計算も、積分計算、毎日やれみたいな、ずっと言われてて。それも良かったなと。

松脇：なんか、その一、ヒラパンは、結構、数学、ある程度できる人には結構、寛容なイメージがあるんですよ。まあ、やっぱ教え方は本当にうまいですし。あと、なんでしょうね、結構、その、入試では、まあ、きれいに解くことも大事ですけど、計算でごり押すっていう、そういうほうも大事なんで、僕は結構面倒くさがりやっていうの、計算でごり押すっていう方法は好き

じゃなかったんですけど、いざやっぱ入試本番になって緊張して、頭が回らなくなったときは、そういった解き方が本当にためになりました。あと、まあ、太郎先生は本当に人間的にもいい人で、ヒラパンとは全然違って。

後藤：太郎先生はもう合わない人いないよ。みんな。みんな合う。

松脇：実際、直前期のマンツーマン取ったんですけど、なんか、普通の授業とは違って、結構奥まったことも話してくれたりとか。太郎先生は本当に、マンツーマンでこそ光る先生かもしれないって思いました。通常授業は、結構分かりやすさを追い求めるあまり、あんまり踏み込んだことも話してくれないんですよ。で、結構、ノートにまとめるってことを多分、意識されてる先生なので、きちきちと、こういう問題がきたらこうやって公式使おうとか、そういうのまとめてくれて、すごい見やすいんですけど、僕的にはもっと踏み込んだところをやってほしいって思ってたんで。その、やっぱ通常授業だとちょっと退屈だなと思ってたんです。なんですけど、マンツーマン取って見たら、結構奥まったこととかやってくれて。僕はもうそのおかげで本当に慈恵受かったかなって感じします、1次は。

### で、化学は、じゃあ後藤君。

後藤：圧倒的、龍さん。もう大好き。龍さんは。本当に龍さんのプリントが、本当にまとまってて、2学期、本当に、まじでイチからやって間に合ったし、結局。前半やって。なんか、龍さんのプリントは本当に良かった。プリント、それを俺はノートに貼って、直前に、答えとかも貼って、解法、全部一緒だったのか、違うなってところもありますね。あと、浅尾先生も、毎日、なんか、問題見せに行ってるっていうのをやってました。

小林：俺は、龍さんもそうなんですけど、原先生が一番。めっちゃ、なんか・・・丁寧なんです。なんか、おぼかな人でも分かってくれるような、すごい丁寧な解説してくれるんで、そういう、分かりやすかったっす。良かったっす。はい。

松脇：化学は、原先生。原先生は本当に真面目な先生で、なんか、人間的にも尊敬できるのかなって思うんです。あの一、おすすめののが、授業の前、朝イチで、過去問を朝みんな解いて、その授業始まる前に解いて、それを授業で答え合わせするっていうのが、確か後期くらいにやる授業だったんですけど、それやることによって、その一、受験直前期に化学の過去問はいらなくて、授業でやってくれるんで。解説もしっかりしてもらって復習とかできるんで。

### 今年いる後輩たちにちょっとアドバイスとか、何かあれば。

松脇：自分なりの勉強法を1学期は本当に模索してほしいなって思ってます。で、僕も1学期の頃は、朝来たりとか、例えば、いろんな参考書使ってみたりとか、





いろんなことに手出してたんですよ。例えば、数学の成績が伸びなかったときに、その、後藤と結構、1 学期、ライバルだったので、後藤が M3 に上がって行ったんですよ。で、僕 M4 で、何が違うんだろうなって考えたときに、数学が全然違ったんですね。で、大して勉強量変わらないのに、なんでこんな差がつくんだろうって考えたときに、なんか、まあ、いろいろ試行錯誤して、テキストの復習とか、あとなんか、帰りの電車の中で、数学の、YouTube に載ってる動画とか見たりとか、いろいろしてたんですよ。解法こうやってやればいいとか、いろんなところから情報集めてたんですけど、それでも成績上がらなくて、最終的に行き着いた勉強法が、さっき言った“休み時間に勉強する”っていうやつ。そうです。なんで、僕もいろんな試行錯誤を経て、その一、自分なりの勉強法見つけたんで、皆さんも本当に勉強法を見つければ。テキストは代官山のやつがやっぱり大事で、最終的には。代官山のテキストはやっぱり基礎を押さえるって意味で大事だから、ちょっとしたときに数学がちょっと落ち込んだってなったら、テキストを見て基礎の復習って使って、で、あとは、単科なり、そういったものでひたすら問題演習するっていうのが、やっぱり数学伸ばすのにめちゃくちゃ適しているかなと思います。

小林：やっぱり先生の言ったことを、なんか、素直に聞いていくのが一番だと思いますなんか結局、英語も音読しろって言われて、俺ずっと音読して。いや、その前はしてなかったっすけど、するようになったら、すごい伸びたんで、先生の言うことはちゃんと聞いたほうがいいなって。まあ、そうっすね、あと、時間、時間が結構、追われてる人はいると思うんですけど、フフ、時間追われてるってことは、その、おっきな夢をつかむためのチャンスだと思うので、フフフ、頑張ってもらいたいです。えーっと、薄先生の名言なんですけど、『今やってることの意味なんて未来の自分にしか分からない』っていうのを、はい。

後藤：うーん、まとめノート、俺はそれのおかげで受かったかなとも思ってて。生物と化学に関しては、生物は緒方先生のメモとか、FT( 深瀧先生 ) のプリントをもう自分で、自分の言葉で組み換えて、ノートに、1 冊にまとめて、もうそれを見るだけでテストは基本いけるし。あとは、なんか、やっぱり毎朝、俺が村上先生にやってもらったみたいに、毎朝なんか、1 問でもいいから、なんか見せに行くっていうのは習慣になるから、それはすごい良かった。俺はそれで、夏なんか村上先生のマンツーマン取らなくなって一気に落ちたときがあって、成績が。やっぱり継続してちゃんと続けるの、大事な。



卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

北里大医学部

2次合格

愛知医科大

2次正規合格

岩手医科大医学部

2次正規合格

獨協医科大

2次合格

本番でいろんなところで、  
「全く一緒だったよね、問題」みたいな。  
真面目に復習してると、  
そういうのがちゃんと取れるんです。

北里大医学部進学 小川 野乃花 さん(会津学鳳高校卒)



卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

東京女子医科大 2次正規合格

東北医科薬科大医学部 2次合格

川崎医科大 2次合格

野村先生の冬期講習で電気回路  
やったんですよ。で、そしたら全く  
一緒の問題が女子医で出て、  
多分それで正規だったかもしれないです。

東京女子医科大進学 奥村 美夏 さん(静岡高校卒)



## まず、それぞれのお名前と、振り返って、今年の戦況報告をお願いします。

奥村：奥村美夏です。東京女子医科大学に進学して、1次は、東北医科薬科と、埼玉医科と金沢医科、川崎と女子医科に受かって、2次来たのが川崎と東北医科薬科と女子医です。なんか地方に愛されましたね。で、女子医に、はい。まあ、正規だったんで、まあ、選ばれたかなと思って。(笑)

小川：えっと、小川野乃花で、北里大学に進学しました。1次は愛知と岩手と東北、杏林、昭和、日大と北里・・・、あと獨協、2次来たのは愛知と岩手と、獨協と北里が来て北里、補欠66番でした。余裕です(笑)。岩手と愛知は正規です。獨協は番号なしで回ってきました。北里、今年、進学者7人ぐらい。結構いますね。福島帆香と小柳さん(小柳伶央那)、あと、今井杏奈さんと古澤君(古澤幸征)と四ヶ所さん(四ヶ所咲良)さんと・・・あと現役の、細身の前と眼鏡掛けてて、物理選択の子。小澤先生推しの、あ、あっ、須藤さん、須藤さん。

奥村：私たち、“スタートダッシュ”(一学期)良過ぎたね。

小川：そうそう。なぜか、上に入っちゃって。

奥村：それでちょっと、そう。あ、待って、奥村だけじゃん、場違い。アハハハ。失礼。でも・・・奥村は平均です、はい。あー、そう、まあ平均でも、受かっちゃいました。

小川：ていうか、やばくない、女子医の数？

奥村：数？

小川：数、やばいですよね。やばいよね。びっくりしました。13。みんな、お互い知ってるから。

奥村：奥村は、ちょっと途中・・・。そう、“帰宅”してしまいました、ねー、本館にね。(笑)はい。で、上がれず、と。でも、最初は(2号館に)戻ろうと思って頑張ってたけど、戻れなくて、で、じゃあもう、ああ、ここが私の生きる場所なんだって、もう思うしかなくて。でも、私、本館のA4のクラスだったんですけど、みんなが普通に頭良かったから、だから、なんか訳ありの(笑)、こっちいる、星君とか、東さんとかもいたから、それとか、それこそ田中理恵とかもいたから、だから、なんか、何ていうんだろう、自分がA2だったから、A4ってどんくらい頭のなのかなと思ってたら、全然自分と変わらな過ぎて、ていうか、自分のほうがなんか劣等感、感じちゃって、だからなんか、あー頑張ろう、みたいな。忘れてた。クサノもいた。クサノ、いや、クサノ(東京女子医科大学進学：草野真理)は私の次に(クラス)落ちました。そうそう。付いてきた。覚えてますよ、だってね、ちゃんと見るよね、落ちた人とか、上がった人とかチェックしない？

小川：してる。フフッフ。

奥村：やっぱ2号館からこっち(本館)に来るのっていうのは、ちょっと・・・。恥ずかしかったもん。うん。めっちゃ恥ずかしかった。

小川：よかった。ずっとずっとぎりぎりだったから。

奥村：そう。荷物持ってくれた。

小川：荷物持ってあげました。

奥村：で、「バイバイ、帰ってきてね」って言われて、帰ってこれなかった。まあ、でもA4の人たちも結構受かってるから。もうちょっと本気でやればよかったっす。でもまあね、ののかさんはちゃんとね、キープはしてて。小川：なんかあっち(2号館)で一番下のクラスだったから、絶対落ちないようにしようと思って頑張ってた。そこにこだわって、そうです、絶対、ちょっと本館に行ったらやばそうだなって思ってたんで。なんかメンタル的にもだし、遊んじゃいそうだなって。

奥村：(本館に)奥村がいるから？ でもお互い、離れてよかった。

小川：そう。よかった。一緒だったら、そう、絶対にずっとぺらぺらしゃべってたかもしれない。しゃべってたと思う。

奥村：ひどい。私がぺらだしね、乗っちゃうから、波長合って。

小川：うん。意外とおしゃべりだと思います。心開いたら、もうばーんって。爆発しちゃいます(笑)。

## ここへ来る前、どのように勉強して、そのあと代官山に来たきっかけとか、ありますか？

奥村：一昨年？現役のときは、家庭教師でした。トライでした。トライ。ハハハハハ。トライ。

小川：東進です。そうです、衛星です、映像授業。やばいです。全部ぴっぴっぴって飛ばして・・・。終わらせてました。ピッピッぴっぴって映像飛ばして、テストは暗記してやってました。あー、全く意味ない。多分、受かんない、そうですね。

奥村：私は、現役のときはもう諦めてたので、予備校を探そうってなって、で、あ、お菓子とかいろいろ入ってるから、取りあえずお菓子とかティッシュ集めとかに、お母さんが全部もらってくれて、で、私、実家が静岡だから、そう、「持って帰るの大変だね」みたいな。だから、「じゃあ、分厚いの2個だけもらってこう」って言って、分厚いのに代官山入ってて、そこにしました。で、親、お父さんは「駿台にしてほしい」って言われたけど、代官山の本、それ、お母さんが内容見て、めっちゃ受かってるし、そう、駿台とかよりも、「ミ力は、自分でやるよりもやらされたほうが絶対できる」って言って、お母さん・・・。放つとかれるとできなくなっちゃうから・・・。「やれっていう環境のほうがいい」って言われて選び、選ばせていただきました。はい。

小川：えー、帝京のときに、現役のときの、そんときに代官山のやつもらって、で、そっからずっと読んで、その本を。で、内容がすごい良かったから、私はここに行くってずっと思ってた。

奥村：おー。

小川：でも、うちの親も奥村さんみたいに「駿台に行け」とか言ってたんですけど、私は「こっちがいい」ってずっと言って、こっちに決めました。東京方面で探してて。





### 振り返って、先生について、まずは英語の先生方について。

奥村：先生とか、むっちゃよかったです。

小川：うん。すごいよかった。

奥村：朝岡先生。朝岡先生は何ていうんだろう、自分が疑問に思ったこと、私、すぐ口に出ちゃうんですけど、「あれ、これ何だっけ」というと、すぐそこから、なんか聞き逃さずに発展してくれるので、その話題からいろいろ。そういうのが、自分が興味あるっていうか、結構頭に入ってくるから、覚えましたね。それと、そう、プリントとか、独自のプリントとかくれたから、それで。東邦落ちたけど、東邦対策とか、あ、女子医対策したわ、そういえば。あと、絵がかわいいんです。超下手っぴ。フフフフ。超下手っぴだけど、かわいいです。筆圧濃過ぎて。

小川：栗原先生と岩崎先生です。なんか二股になっちゃいました。どっちかっていうと、栗原先生です。教え方がすごいよくて、なんか長文全然できなかったんですけど、栗原先生、冬期から栗原先生で、その、冬期から1個ずつちゃんと教えてくれ、読み方教えてくれたので。冬期からで間に合いました、なんか。すごい「復習しろ」と言ってたんで、先生が。復習、その、読んだ文を何回も読んで、なんか先生が言ったとおりに、この単語が出てきたらこういうことだぞ、みたいな感じのことを言ってたから、それを意識しながら読んで、そしたら何とか。

奥村：えー、でも、のの、実際に英語苦手だったよね、普通に。

小川：英語、全然できなくて。フフフ。他の教科に比べたら。岩崎先生は、なんか、その、ちょっとした塊の文を、1個ずつ丁寧に SVO みたいにやってってくれたから、それでなんか文法とかがよく分かって。実戦的には、ちょっと、栗原先生のほうがよかったかなみたいな。

奥村：ふーん。理にかなってますね。

### 数学について勉強法や先生方について。

奥村：数学は、私は薄先生が、1番ですか。薄先生はなんかおばかっちんでも、頑張る、なんか頑張るぞって気持ちを見せれば、全然救ってくれるから、それがまずよくて、で、ばかでもできるっていうか。やり方を薄先生の、自分の中で落とし込めれば、そう、分かる、この気持ち？

小川：うん。分かるよ。

奥村：そう。応用できるから、何ていうんでしょうね。自分のものにすれば。そうそう。だから言われた通りにやればできちゃうっていう、やってみました。ていうか…、でも、よく怒られてた、そう。めっちゃ怒られた、ウフフフ、なんか。でもなんか怒られてたのは、なんか言われたことができてなかったから、それはしょうがないなって思いましたね。それ課題がめっちゃ多くて、なんか薄先生マンツーマン取ったときに、私、スタンダードだったんですけど、ベーシックのテキストをなんか前期のやつ全部印刷されて、「ちょっとこれやってこい」みたいな感じで言われて、絶対間に合わないじゃんって思って。全部。そう。言われましたね。で、「書き込んでいいから」と言われて。そう。でも絶対終わらないじゃんって思ってたけど、でも終わらないって分かってても、やる気を出すっていうか、終わらせてみせるって気持ちが大事だから、そう、やる気を見せたくて、めっちゃ泣きながらやってみましたけど。なんか親いわく1回泣いてたらしいです、私。なんか親と毎日電話するんですけど、ハハハ。

小川：泣いてたじゃん。そういえば、マンスリー後も1回泣いてた。数学の後、できなくて。

奥村：あ、マンスリー後も1回泣いてたかな。できたのにできなくて。

小川：おにぎり食べながら泣いてました。

奥村：あ、そう。ハハハハハハ。そう。ののの前で泣いたからさ。数学、私めっちゃ苦手だったけど……。

でも薄先生のおかげで“人”にはなったかなって感じ、なんか波あるけど。取れるときは取れるようになって、そう。で、そのとき褒められて、うれしくて頑張ろうみたいな。頑張っちゃった。

小川：えー、これも二股するんですけど、薄先生と太郎ちゃんです。数学ができない人でも、ちゃんとウスキ先生のやり方習得すれば、大体の問題は解けるようになるから、復習めっちゃ頑張ってた。で、タロウちゃん(中村太郎先生)は私に合ってた、一番なんか入ってきやすかったんで。ずっとマンツーマン取ってました。

### 化学については、どうでしょうか。

小川：高橋龍先生。他にもいい先生、いい先生がいっぱいいる。

奥村：あー、確かに。

小川：龍先生は冬期から、なんか昭和対策とかすごいやってくれて、多分私、やってもらってなかったら、昭和、普通に落ちてたと思うんですけど。なんか電離とか教えてくださったんで、そのやり方覚えて、そしたら、日医で出て、まあ、受かってないんですけど、できたと思います。龍先生は、その、2学期のマンツーマンでたくさん取れて、取れたんで、理論を徹底的にやってもらって、イチから、理論は、まあ何とか人並みにはみたいな感じのところまでできるようになって。龍先生のマンツーマン取って、ちょっとだけ人よりはできるかなってぐらいになりました。何もしなかったら龍先生にぼこぼこにされてたと思うんで。

奥村：ハハハハハ。化学は三井先生ですかね。三井先生は、あの、夏期からマンツーマン取ったんですけど、めっちゃプリントくれたので、もうそれひたすらやりまくって、そうすると何、なんか同じこと聞かれてることが、なんか言い方変えて同じこと聞かれてるのがよくあって、で、なんか、解くと、なんか本番、それをその前に見直してたんですけど、プリントの、愛知で全く一緒のが出たし、多分、女子医とかも。愛知出て、そう、本当に全く一緒だったんですよ。全く、同じのが。

小川：そうそうそう。本当にそう。理恵と、そう、一緒、理恵と真理と帰り道一緒だったんですけど、「え、全く一緒だったよね、問題」みたいな。なんかやっていると、そう、真面目に復習していると、そういうのが取れる。うん。

奥村：でも、その問題だけじゃなくて、他にも、どこで出たかな。めっちゃ出て、女子医も出たし。出ました、出ました。なんか、あれ、これやったことあるっていうのが多いから。あったよね。化学が簡単だった、特に。

小川：ウフフフ。よかったです、今年で。

奥村：いや、えー、本当に私はそう思う。

### 物理は？

奥村：みんなですけど、一番好きなのは、人として好きなのは寺澤先生で、最後お世話になったのが野村先生

生ですね。やり方が合ったのは野村先生です。すいません。

小川：えー、寺澤先生って言ってなかった？

奥村：寺澤先生は、そう、人としてすごい好き過ぎて。でも、ノムのやり方も、もう好き過ぎて、好き過ぎて野村先生に行ってしまいました。そう。ハハハハハハ。野村先生は最後、ノムプリをもらって、冬期だけ。ノムプリって、なんか3段階か4段階ぐらいあって。その一番ベーシックを、ハハハハハハ、冬期に。60問。「力学」から。あー、ちょっとこれ、野村先生に言ってほしいって言われてたんですけど、冬期講習で電気回路やったんですよ。で、そしたら全く一緒の問題が女子医で出て、で、奥村は、そう、物理ができないから、多分それで正規だったかもしれないです。

「なんか、これ、俺が教えたやつ、全く一緒じゃん」って。「これ言ってるね」って言われたんで、言いました。

小川：はい。えーと、私は、小澤先生ですかね。小澤先生。野村先生と小澤先生で二股しちゃって、なんか最初野村先生とか頭良過ぎて質問とかも全然、行けなくて、そう、小澤先生ばかり質問行って。小澤先生優しかったし、あとマンツーマンとかをずっと取ってたんで。物理、本当に去年全くできなかったから、小澤先生のやり方とか説明聞いてできるようになったんで、それを信じて、いつも質問、小澤先生に行っていました。最後、浮気しちゃって、で、野村先生も、その、物理がちょっとできるようになったから、なんか質問しても怒られなさそうだな、みたいな感じに思ったんで、質問行ったら一つ一つ丁寧に教えてくれたんで、あ、野村先生も分かりやすいつてなりました。そう。でも、ちょっと最初、怖くて。

奥村：そう。だから私、ずっと寺澤先生にずーっと行って、で、最後マンツーマン取れなくて、それで野村先生に行ったら、野村先生めっちゃ面白いしね。

小川：そう。ジャンプする。間違えるとジャンプするんです。

奥村：アハハハハ。いや、あの一、珍回答を言うとね、ジャ





ンプしちゃうんだよね。

小川：ちょっと栗原先生のやつ、もうちょっと言っているんですか。

栗原先生の冬期のテキストで文法やったんですけど、めっちゃ出たんで。あー、長文はマンツウでやってて、で、文法を単科で取ってむっちゃ復習してたら、めっちゃ出ましたって。いろんな所で。杏林とか、東北、岩手とかで。出て、おーみたいなの。がつつり、これやったやつだ、みたいなのが出て。全く同じのやつ、全くそうですね、多分。何問か出て、クリバラ先生が喜んでました。なんか杏林で4問出たんですけど、「なんか8問ぐらい出たことにしといて」って言ってました。ハハハハハハ。

奥村：ハハハハハハ。

小川：だから8問出たことにしといてください、杏林で。

### この1年間で代官山で過ごしてみてどうでしたか？

小川：あ、授業、あー、多かった。最初はすごい大変だった。

奥村：私は楽しかったから、あんまり思わなかった。あの、なんか自分、現役のときやってこなさ過ぎて、全てが未知の体験だったから、教え方とか、その習ったことも含めて、だからなんか楽しかった。でも授業数多くて予習いや、予習は・・・。予習はできなかったです、分かんない過ぎて。そう。頭が・・・。頭が付いてなかったよね。

小川：ぱっぱらぱー。括弧1とかで終わってた。

奥村：そうそう。ハハハハハハ。でも、最初はね、チャートとかで見てたり・・・。

小川：やってたの？

奥村：やってたけど、私は。でもそれでも分かんない過ぎて、無駄ってことに途中で気付いて。チャート捨てちゃって、そう。無理だ、と思って。でも予習をやる気持ちは大事じゃない？

小川：うん。そうだね。気持ちは大事です。そう。復習、めっちゃ頑張ってた。授業がずっとあったから、遊ぶ時間っていうか、ずっと勉強しなきゃいけないから、余計なことはする時間がなかったの。余計なことしちゃう人なんで、なんか飽きちゃって。ぼー、みたいなことがあるから、ずっと授業があったから、なんかやらなきゃいけないみたいな感じになってて、やってました。前の、衛星予備校だとやりたい放題で、フフフ。寝たりして、みたいなの。寝て、まあ、うん。

奥村：えー、奥村も、詰められた生活が結構よかったですね。そう。朝もね、早かったし。

途中で疲れちゃったけど。最初らへんは、7時ぐらいには毎行行ったけど、そう、最初ら辺だと、のの6時半とかでしょう？

小川：そう。そこにはちょっと付いていけなかったけど、やっぱ詰められて、で、疲れるから、帰り、結局、何もできずに結局寝ちゃうみたいなのがあったから、ね、

逆によかったよね。

奥村：確かに。

小川：最初らへん、本当5時55分かな。で、寮生活だともう行かなきゃ、誰々ちゃん、そろそろ行ったわ、みたいなの。

奥村：でもそれは把握して、あ、のの階違うけど、私はそういうことやってました。結構、音が聞こえるので、そういうので張り合ったりはしてたかもしれない。

小川：島田君(順天堂大医学部進学：島田泰隆)と私は張り合ってた。島田君、朝、多分、大体一緒に家から出てたりしてて、きょうも一緒かみたいな感じ。島田君が出てったときに、負けちゃったみたいに思ったことありました。鍵閉める音が聞こえるから。

奥村：あと、寮は、ご飯、ご飯がおいしかった。

小川：ご飯おいしかった。大量にご飯があったんで。量が、量が多かったから。

奥村：アハハハハ。そう料理、おいしかった。鍋。鍋、出ました。こんぐらいの鍋出たよね。キムチ鍋みたいなやつも。

小川：そう。あれおいしかったですね。

奥村：あと、ハンバーグ、ハンバーグもおいしかった。

### 後輩たちへアドバイス、今年いる人たちに、何かありますか。

奥村：復習だよね。

小川：復習。復習をしっかりとすることですね。テキストの数学だったら、数学のテキストのチェック欄5回あるじゃないですか、それを5回ちゃんとやる。時間を空けて・・・。やりました。前期は、前期、5回やった、前期は5回やりました。だから、数学、マンスリー、偏差値71って、一回、行きました。そう。ちょっと爆発しちゃいました、でもそこで終わっちゃったんで。(笑)

奥村：えー、でもすごいよ。

小川：その後、普通の人になっちゃった、アハハハハハ。

奥村：最後のマンスリーちょっと嫌でしたね。小問集合みたいなやつでしたよね。

小川：でも、できない人は復習しかないと、本当に。予習は第2だよね、ぶっちゃけ。

奥村：そうね。予習は。ていうか、前期の復習をしとかなないと、後期が何もできなくなる。テストゼミとか始まったときに、奥村は結構、そのクラスの中では解けたほうだと思んですけど、でもやっぱ復習してないと、その、何を使っているのかとか分かってないから。

小川：なんか変なものは解けてたけど、なんか定番解けてなかったりしたよね。

奥村：そう。だから。そう、でも、なんか見たことあるのに、できないっていうのだったから、それは悔しかったから、見直したり、前期は。

小川：テキストを復習したら大丈夫です。

奥村：前期だよね。

小川：あと先生の言うことを、まじで聞いたことがいいと思います。

奥村：そうですね。例えば、そう、復習とかになっちゃうんですけど、「これ復習しとけよ」って言われたら、復習したらどっかの大学出てたりするので・・・。

小川：あとは、ウイークリー。あの、本館に落ちて・・・。何だろう、最後は本当に頑張ろうと思って頑張ったんですけど、何、ウイークリーを取れない人はマンスリーも取れないっすよ。

奥村：ウイークリー取れないやつは駄目ってそうですよ。えー、だからそんぐらいの短期間の勉強ですら頑張れないんだから、ねー、長期なんか無理に決まってるっていう、のが、奥村の持論です、まあ、悪いんですけど。そう最後は、そう、小川さんに勝ったから。でも静かにしといた。そう。フフフ。ちょっと内心イエイつつって思って、でも小川さんも1位取ってるから、あ、全体の。

小川：そうです。なんかノリ先生に言われました、「写真撮っとけ」って。「もう一生取れないんだから写真を撮りなさい」。ハハハハハ。

奥村：ハハハハハ。でも、ね、ノリッピもね。あ、そうだ、そう、ノリッピもすごいいい先生だから。

小川：頑張っていました。ウイークリー・・・。でも本当に。それで多分、数学とかもどどん力付いていったんだと思います。日曜日に全部復習するうーん、日曜日に結構やるんですけど、その前からも・・・。

たまっちゃうと大変だから、ちょっとずつやってってました。レビューテストもガチで結構やってましたし・・・。

奥村：「先生にそのまま丸付けてもらえるから」私たち、持って、提出してたよね。

小川：提出。はい。提出して。周りもウイークリーすごい人いたので、身近に。それで、あー、ウイークリーできないやつはマンスリー駄目なんだと思って。そう。頑張ろうって。1回ぐらいはちょっと抜かしたいなと思ってたら抜かせちゃったから、イエイって。

奥村：そう。最後。頑張りました。

**1年振り返って、いろいろあったと思いますが、つらかったこと、楽しかったこと、あれば最後に一言。**

奥村：頑張ったね。楽しかった。

小川：楽しかった。つらかったけど。

奥村：でも受かったから言えるよね、楽しかったって。いろんな先生うちに会えて、ね、なんか・・・。

こういう考え方あるんだっていう、普通に毎日、新鮮で楽しかったですけどね。私はばかだから。

小川：いやいや、なんか楽しかったよね。でも昭和にちょっと行きたかったの。せつかく1次通ったんですけど。学科、多分ぎりちょんで通ったんで、面接じゃないと思うんですけど。でも、代官山じゃなかったら受かってたと思わない。絶対思わないです。

奥村：いや、落ちてたね。絶対。

小川：代官山、最高って。ハハハハ。

よかった。なんか、いっぱい石井先生とかも、その、医学部の情報教えてくれたんで、医学部に入ったときとかのことまで、なんか「友達がいなかったら留年するぞ」みたいなことを言ってくださったんで。あー、そういう所なんだ、医学部って、みたいな感じで知れることができてよかったです。

奥村：先生方と距離が近かったの、仲良くしてくれてありがとうございましたって。でもそのおかげで受かった節もあるので、仲良くなるからこそ、なんか身近な質問もすぐできるしとか、聞きやすかったのが一番私は大きいかなと思いました。

小川：そう。おばかさんだからこそ、たくさん疑問があるから、それをね、ぱっぱぱっ解消できたのがよかったですね。

奥村：そう。なんか自己流で俺は受かる受かるって思ってる人には無理、向いてない。そう、薄先生も言ってたけど、なんか「多浪に多いのは、なんか自己流を持って話を聞かないで、ずっと自己流のままだから一生落ち続ける」みたいな話はしてて、で、自分は一浪だし、全然やり方分かんないから、ばんばん吸収できたけど、そういう固定観念がある人は代官山にまじ向いてないっていうよりはもったいない、代官山が。

小川：そう。いる必要はない。ハハハハ。て、感じですかね。

奥村：向いてない、向いてない人なんかいないよね。

小川：いないんじゃない？

奥村：代官山は。







卒業生が語る  
合格への  
軌跡 2019年  
WAY TO SUCCESS

東京経済大学 2次合格  
昭和大学 1期2次合格  
日本医科大学 前期2次合格  
東京医科大学 2次合格  
昭和大学 2次合格  
東京女子医科大学 2次正統合格  
杏林大学 前期2次正統合格

代官山の授業が楽しく  
自習室にも朝学

卒業生が語る  
**合格への  
軌跡 2021年**  
WAY TO SUCCESS

|          |        |
|----------|--------|
| 杏林大医学部   | 2次正統合格 |
| 岩手医科大医学部 | 2次合格   |
| 愛知医科大    | 2次合格   |

本館にいるときは、  
一回もエレベーター使ってないです。  
階段で7階まで。  
毎日、やると決めたことなんで。

杏林大医学部進学 竹永 萌 さん(八王子学園高校卒)

### 受かった所を教えてください。

1 次受かった所は、愛知と岩手と杏林と東邦と帝京と、えっと、あと昭和の 2 期です。の 6 個で、2 次が来たのが、えっと一、杏林が正規で来て、その後に岩手が来て、最後、愛知が来ました。で、進学は杏林に進学しました。打率は 6 打数 3 安打ですね。東邦か昭和、どっちか、来ないかなあ、ちょっとそう思いながら、待ってましたけど。31 日まで。でも、杏林めっちゃめっちゃいい。4 駅で着くんで。超近いです。フフフフ。朝、8 時とかに出てますもん。フフ。家。代官山より、全然、遅い、全然、遅いです。だって、代官山のとき朝 6 時に出てましたから、家。6 時。6 時 8 分？ 18 分？ ぐらいの電車に乗ると、ちょうどここに 7 時ぐらいに着いてましたね。途中、2 号館になってからも、同じ、7 時に来てましたね。

### 代官山選んだきっかけって？

えっと一、3 月に 1 浪することが決まったときに、もともと四谷学院。現役るとき、高 1 から高 3 まで四谷学院で。まあ、辞めるに辞められずみたいな。途中で変えるのも、なんか、ちょっと言い出せなくて。塾変えまーすとか言えなくて。

それで 3 年間いて、その、高 1 のときに高 1 の勉強をして、高 2 のときに高 2 の勉強をして、高 3 のときに高 3 の勉強をしたら、まあ、高 1 のこと忘れたんですよ。ハハハハ。その結果、まあ、穴があるとかのレベルじゃないぐらいぼろぼろで。まあ、医学部なんて無理だってなって、やっぱ、医学部専門の予備校に行くしかないってなって、父親がいろいろ調べてくれて。そっから、何個か見に行って。3 月の、中盤。卒業式終わってから、探し始めたんですよ。四谷学院にそのまま残る説はもう、もう親が絶対なしでした。その選択肢は。多分、おまえはそこじゃ無理だみたいな。なんか、基本的にさぼるタイプの人間だったんで、強制力がない所に行かないと、同じことを繰り返すって言われて。で、やっぱ、当時、部活を言い訳にして、後でやらなきゃ。帰ってきて疲れたからみたいな感じでまあなあに過ごし、だから、親的にはもうその時点で、もう、こいつ駄目だなみたいな。アハハハアハハ。感じだったと思うんですけど、それでそのまま。なんか、まあ反抗期的なのりもあって、勉強のことに言わないでほしいみたいな。だから、向こうも言ってこなくなって、そのまま。父さん、言ってたと思います。言ってたんですけども、こっちが聞く耳を持たないみたいな。うるさいよ、みたいな。アハハハ。やさぐれてたっていうか、なんか、その当時、自分のその状況っていうものを理解していない。自分がどれだけ頭が悪いかという認識が。あまり学校自体がそこまでレベルの高い学校じゃないんで、正直、そんなできてなくても、学校では上のほうにいらっしゃるんですよ。だから、学内のそのレベルと、全国で見た相対的レベルが一致してないことに、ちゃんと頭の中で気付いてなくて。なんとなく大丈夫かもって

思ってた、いや、思っていないんですけど、その危機感はなかったですね。ま、学校の勉強はできてたんで。ウフフ。何とかなるだろうみたいな、フフ。まあ、赤本開いてびっくりしましたけど。高 3 のとき。あ、こりゃ駄目だみたいな。ウフフ。解けん。これは解けんと思って。

### 最初のクラスは A7 ですね。

四谷学院は、担任の先生とか、なんかこっちからずぐいいったら答えてくれるけど、向こうからは何にも言っていないし、まあ、なんか、私はそんな、自分からめっちゃいくわけではないので、まあ、まあ、どんどん、疎遠になっていく。ウフフ。みたいな。勉強しなくても何も言われなし、ってなって。医学部の情報とかも、全くないです。一応、試験日だけは分かってる。ここ受けます。ああ、じゃあ、どうぞみたいな。フフ。だから強制力のある代官山でって、もう覚悟決めて、はい、最初 A7。これでも A7 だったんです。そうです。フフ。最終的には、A2、ん？、はい、A2 です。夏、夏で A5 に上がって。2 学期も A5 で、最後、冬に A2 に上がりました。フフ。順調に。でも、最初の偏差値が 36.8 で、特に数学は、全然できてなかったですね、生物も。生物に関しては、今まで、本当に知識がもともとめっちゃなくて、フフ。で、最後には、68。生物、偏差値。生物は、一通り、1 学期っていう短い期間の間に、全部を全範囲ここでやってもらって、一回やると、一通りの知識が一回、どんって与えられると、自分の頭の中でいろいろつながりだす。例えば、遺伝を習ったとか、進化を習うっていうのをすると、あ、こことここつながってたんだみたいな。自分が高校のときは 3 年間とか 2 年間かけて、その教科書一通りやるじゃないですか。ま、最初のことは、もう、もう頭にはなくて。ここでやるように短い期間にやることで、まだ引き出せるぐらいの記憶が残ってくれてるんで。それが一番。そんときに知識を全部再確認したから、そっからは結構、問題見ても、何の話してるかとか、先生言ってたなみたいなのがつながりだすんで。生物はそこが大きかった気がします。

なんか資料集、休憩時間とかに 1 人であれなんだっけみたいになって、で、そんときに言えなかったら自習室戻って、資料集見て、あ、これがみたいなのだったとか。でも、生物は、授業中に覚えようとしてました。緒方先生とか深瀧先生が、やっぱり自分が知らないって思ったことを言ってるときは、もう、心の中で復唱するぐらいで、もうそれごと、その先生が言ってる言葉ごと暗記するぐらいで聞いてました。今覚えよう、って。

あと、手動かして、石井先生によく言われたんですけど、ただ聞いてるんじゃなくて、手動かせて、なんで、結構、書いてたかな。深瀧先生のプリントとかめっちゃ書いてますね。言ったことも書きますし、自分が分かんなくて質問しに行って答えてくれたこととかも、めつ



ちゃ書きます。生物、好きですね。てか、ここ来て、もっと好きになりましたね。冬期の深瀧先生の授業のテストで、4 回小テストをやって 400 点満点かな、なんかまあ順位を出したんですよ。全体の。そのときに、M1 だったかな M1 ? M2 ? 分かんないですけど、鈴木タカと古川さん(日本医科大進学:古川優奈)がいたんですよ。で、みんなそこがツートップだと思うじゃないですか。で、私、そこで 2 番だったんですよ。ま、スズキタカ(日本医科大進学;鈴木孝典)には負けたんですけど。Mに勝ったぞと思って。ハハハ。冬に。フフフ。それが一番うれしかったです。勝ったーって思いました。それが、でも、一番自信になったかな。生物は。Mに勝ったならいけんじゃね? みたいな。フフフフ。

### 受験生としてのタイプは?

あんまへこまないタイプでした。まあ、それがいいのかわいのか分かんないですけど、あんまり、周りの点数も気にしなければ、なんか、あんまりそういう自分の、一回失敗したことはあんまり引きずらないタイプでした。あんまり考え込まないし。考え込まない。なんか、結構。そうです。直前期とかって結構、みんな、だんだん、なんか自分の周りとかも不安になってみたいな感じだったんですけど、あんまりそういうの、受験当日とか、緊張しませんでした。なんか。性格もありますし、何だろう。なんか解けんじゃね? みたいな。アハハハ。なのもあったし、あとは、やっぱりでも、2 次面接のときも見知った顔があると、私、安心しちゃうタイプなんです。代官山、愛知とかすごいじゃないですか。あれ、あなたも代官山? みたいな現象が起きてる。いっぱいいる、いっぱいいましたね。なんで、そういう自分の知った顔とかを見ると、結構、安心して緊張感とか一切なくなるタイプで。杏林、杏林も今年、12、13 いますよね。13 ですね。います。すごい、杏林。大学でもやっぱり集まるんですよ。代官山で。そ



のときに回りの子が、代官山? みたいな。多過ぎじゃね? みたいな。ざわざわみたいな。アハハハ。今は、水谷さんと、えーっと、長澤さんと千葉さんと中村真衣さんと私でいることが多いです。ご飯食ったり、教室移動したりみたいな感じです。

### 伸びた秘訣は?

たしか、1 回目のマンスリーが、4 科目 134 点で、最後が、244 だったんで、110 点伸びた?、感じ。でも、やっぱり、ウイークリーとかはちゃんとやってたかな。ウイークリーは、基本的に自分の中で、ウイークリーでミスった問題は復習しないといけないみたいな。もう一回。でも、ミスなかったら、取りあえず復習後に回しても大丈夫みたいな。自分の中で、とにかくウイークリー頑張れば復習の量が減るぞと思って。

で、必死こいてウイークリーやって。ランキング 1 位、2 回ぐらい取ってますよ。あ、2 回取ってます。マンスリーは、別に、あのランキング表に載らないんで、ウイークリーは取ったろうみたいな。フフフ。ウイークリー、載ったろうと思って。ま、最後のほうは(マンスリーも)載ってましたけど、最初のほうは、やっぱ、あれだったんで。ウイークリーを頑張ることで、マンスリーにつながりますね。ウイークリーやろうと思うと、結局、全部の教科、一通り復習しないといけないんで。必ず。1 週間に 1 回それやるだけで、だいぶ定着するなと思います。生物、化学は特に直近の初めのほうとか、結構、直近の問題が出てたんで、あ、これまだ覚えてるって思いながら解いてると、ちょっとずつちょっとずつ蓄積量が増えてくんで、ちょっとずつ点数が上がってイメージがありました。マンスリーは、でも、やっぱ、親はマンスリーの偏差値を大事にするんで、大事って意識はあったんですけど、自分の中じゃウイークリーも見てくれ、みたいな。

### マンツーマンは?

ここの先生分かりやすいっていうか、(マンツーマン)確実に取ったほうが伸びるってことは頭じゃ分かってはいましたけど、2 学期からこのままじゃまずいだろうなって、親と話し、相談して「化学と英語を取らせてください」と言って、で、取って、そのまま、2 学期と冬は結構マンツーマン取ってましたね。菊本先生と岩瀬先生、そうです。菊本先生に傾向もう一回解説してもらって。

公式を、もう、結構、2 学期だったんで、公式を教えてもらって、わー、そういうことかってなりながら解いて。で、菊本先生は有機無機のほうが、結構、総合問題やってることが多かったんで、有機無機とかのほうが分かりやすかった。もう一人化学、高橋龍先生にも習って、龍先生は 1 学期の集団授業の、理論担当してもらって、で、冬にもう一回取ったときも、理論一通りもう一回問題解いて。個人的に龍先生の理論は、めっちゃ分かりやすいと勝手に思ってます。なんか、

結構、ごまかさないうで説明してくれる感じ。あんまり理論をいろんな先生に習ってないっていうのもあるんですけど。あの一、私、一回一回単位とか書いてくれると、その数字どっから来ちゃったの？ みたいな感じになるぐらい、あんま、テンポ良く付いていけないんですよ。三上先生とか 1 式でばんって置くんですけど、それされちゃうと、ちょっと待って一みたいになるんで。あの、できるだけ、全部単位書いてくれたり、これで、これを出してるっていうのを明確にしてくれるんで。あと、結構、イメージ図みたいなのを描いてくれるんですよ。

なんか pH とか出すときに、その H プラスはどっから来てるっていうのを、描いてくれるんですよ。イメージ。これとこれが別れてこうなってるんだよ、みたいな。ハハハハハ。視覚化してくれると、私はイメージが付きやすいタイプなので。龍先生、視覚化してくれますね。結構。分からないっていうと、全部、絵に描いてくれます。ハハハ。へええ。それが分かりやすかった。いや、ま、本当にそうです。リュウ先生さますます。リュウ先生、直前にやった滴定とか、まんま出ました。杏林で。出ましたね。あれ？ これやったぞみたいな。アハハ。正規、化学のおかげかなって。(杏林の) 数学は簡単だったけど。まあ、思いっきり計算ミスしてましたけど。

### スピードが遅いのはどうやって克服しましたか？

英語も読むの遅いし、数学も。基本的に集中力がめっちゃめっちゃ切れやすいんですよ。半端じゃなく切れやすいんですよ。フフ。なんで、英語の長文読んでるとか、数学の大問一つ解いてやれとかいうのも、ぷつんて集中力が切れちゃうんで。まあ、一つ解くのが遅いんですけど。そういうときは。切れたら、取りあえず一回鉛筆を置きます。テスト中とかでも置きます。フフフ。置いて。テスト中に切れたことも、全然あります。よく切れます。あの、河合とかすごいです。持たないです。あんなに長い時間。フフフフ。河合、やばいですよ、本当に。全然、持たないです。なんで、一回鉛筆置いて座り直したりとかして、はあって思って、もう一回やり直します。フフフ。いや、で、そこから、同じ所からやりますけど。なんか自習室とかでも、なんか、時計を置いて何分って決めたら、その時間内にこれだけ解くって決めた量をやるみたいな。そうすると、その時間内に終わってないの、すごいそういうの嫌だったんで、絶対やるって決めて決めると、だんだんその時間内に終わらせるためにスピードも上がるし、集中力も少しずつ保てるようになるみたいな。時間決めるのは大事だと思います。なんか基本的に何かを続けるっていうこと自体が、多分、ま、やらないだけなんですけど、駄目なんです。続かなかったタイプだったんで、今まで。自分で、例えば目標を立てたとしても、途中でやめちゃうことが多かったんで、勉強が。なんで、

勉強じゃないことで何か続けようと思って。取りあえず、じゃあ 7 階まで階段で行こうと思って。結局、本館にいる間は、一回も朝エレベーター使わなかったです。絶対。眠くても、絶対登りました。で、そうすると 7 階行ったときに、あ、きょうできたんじゃない？ っと思うと、勉強も続けられんじゃない？ みたいになって、そのテンションのままいく。自分の弱点をよく知ってて、それを続けさせるためにいろいろ。やる。そう。A の 7 とか 8 とかって、勉強を高校 3 年間、別にまともにしてたかっていうと、そうじゃなかったりするんで。勉強でいきなり、よしとかやると、まあ大概、え？

みたいな死んじゃうんで、勉強じゃない例え、朝、絶対 7 時に来るとか、階段 7 階まで行くとかそういうのをなんか毎日、続けると、勉強も続くんじゃない？ みたいなテンションに持ってけるみたいな。ウフフフ。続いてるっていう、あれが欲しいんですよ。なんか自分の中に自信が欲しいんですよ。何か一つ、自分が決めたことが続いてるっていうあれが欲しいんで、それだけのために、毎日、階段登ってましたね。

### 代官山 MEDICAL で自分に合ったところは？

ある程度の強制力があるところ。まあ脅しに近い感じで、フフフ。結構、やっぱり、何年も何年も医学生が出て、ていうか、毎年合格者がたくさん出て、やっぱりこういう子が受かるとか、何だろう、こういうのやらないと駄目だよみたいなのを、先生も、受付の方とかも言うてくるので。やっぱ、体験に基づいた話ほど信ぴょう性の高いものはないので、それを言われると、やばい、やらないとってなるんで、そういうふうに言うてくれる、っていうか、やらないとって思わせる環境があったのはよかったかなって思います。結構、緒方先生とか結構言いません？ フフフ。生物の系の先生、深瀧先生とかも言いますし。えー、何だろう。深瀧先生。なんか普段から、一回聞かれたことを、もう一回、なんか他の授業とかで聞かれて答えられなかったときに、は？ みたいな顔をしてくるんで、やばってなります。フフ。何、それとも言えないの？ みたいな。緒方先生は、にこやかな顔で、勉強、なんか、1 学期 A7 だったときに、何だっけな、授業前に前回の復習テストがあって、全員が満点になるまで永遠に続くって言われて、永遠に続いたんですよ。全員合格じゃなくて、永遠に。そしたら。難しくないです。ウフフフ。それで、まあ、なんか、毎回クラスの誰かミスるみたいな。計算ミスとか。で、そんなんでこんなで続き、続き、何、おまえらまだできてないのみたいな。アハハハハ。やばいぞー、みたいな。それで授業のたびに同じテスト、いや、毎回、問題は違うんですよ。そのテーマは一緒なんですけど。やばいぞ、みたいな。アハハハハ。答えだけ覚えてどうにかなるものじゃなくて。しかもだんだんベーシックの問題がなくなったら、スタンダードの問題とか持ってきてきちゃって、やばいぞみたいな。



アハハハ。永遠に。しつこかったですね。でも、緒方先生がなんかしつこくしてくれたから、その後、間違えなくなりましたけどね。結局、何回やったけ？ 10 回ぐらいやったんじゃないですかね。緒方先生が「もう、俺のほうで問題がないから終わり」って言われたんで。結局、え、それ、クリアはされなかったんです。先生の問題が尽きて、終わりました。フフフフ。なんか、A7、ちょうどそのとき。駄目でしたね。生物、めっちゃ駄目でしたね。「染色体何本？」とか言われて「23 本」とか答えるようなクラスだったんで。結構。フフフ。中学生レベル？ いや、なんか、聞かれてることに対して答える能力が低過ぎて。聞いてないんですよ、ちゃんと質問を。でも、よく受かった。いや、岩瀬先生とかにめっちゃ言われましたよ。みんなにめっちゃ言われましたよ。「よく受かったね」みたいな。アハハ。岩瀬先生が「え、奇跡じゃない？」って言われました。フフフ。普段の感じは、なんか先生とかに質問しに行ってる感じは、先生からしたら不安を覚えるような生徒だったんでしょね。多分。いや、もう、とにかく問題文をちゃんと読まないんですよ。何回言われても。もう本当に。で、化学とかで、あの一、銅の重量 64.5 って書いてあるのに 64 で計算して、龍先生に「それ本当に合ってる？」とか言われて。フフフフ。64.5 でやんなきゃいけないのに。64 で計算して、「先生、できました」とか言って、「それ本当に合ってる？」とか言って、「それどっから来たの？」とか言われて、「ごめんなさいー」って。フフフ。高橋龍先生、めっちゃあきれてましたもん。フフフフ。でも、見捨てずに最後までやってくれたんだ。そう。フフフ。

### 受験生活で確立した勉強方法などあれば？

これは、石井先生のシータの授業でよく言われたんですけど、今までみたいに、授業をただ聞いているんじゃなくて、その場で考えて、その場でアウトプットできるようにしろって。だから、なんか、授業を、うん、授業のときに先生の言ってることを聞き漏らすのも嫌だし、そんなときに覚えて疑問を解決するとか、分からないことは、もう分からないっていう、もう、梓に置いとくのを整理するぐらいの気持ちで受けないといけなないと思ってたんで。そうすると復習の時間少なくて済みますしね。化学の無機は一通り、化学の無機と有機は一通り、自分のノートに、えっと資料集、テキスト、先生からもらったプリント、あと高校るとき使ってた教科書から引き抜いてまとめ直して、生物は深瀧先生のプリントを一通り全部、もらって、えっと、まとめ直しました。深瀧先生が自分で書いてる授業用のプリントと、生徒に配る白紙のプリントがあるんですけど、それを両方、無理を言ってもらって、全部、書きました。覚えますし、何かあったときに、それ見れば大丈夫って思うものは持っとくと、その、どの、どこに書いてあったかっていうのはよくないと思います。単語はとにかく、WIZ。WIZ しかやってない。あ、あと、えっと、

ウィークリーやる日の朝は、WIZ とともに、700 選？駿台の 700 選と、あと石井先生のシータのとかやる短文のやつ。あれ。そうです。あれをひたすらに。あ、あれも結構やったかな。一回、ノートにきれいに写して、自分でつくった訳を書いて、で、それで、その訳見ながら、ひたすらに起こす。文字起こしを英語でし続ける。そうです。自分で書いた訳だと、英文を思い出しやすくなったんで。WIZ、めっちゃめっちゃやりましたね。なんか朝岡先生が夜間のときに、えっと、1 日 100 単語を 3 回やるとか。100 単語 3 回って、300 個やって、それを 1 週間同じのを続けて、それを最初から最後までやるみたいなことを言われて、じゃあ、やったろっつって、やって。で、その後からは 1 週間に、えっと 1 冊回すペースで毎週毎週、永遠にやってましたね。結構、ぼろぼろになりましたね。なんか、もう、あの、1 番、表紙とか。取れかけました。フフフ。





卒業生が語る

# 合格への軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

|             |        |
|-------------|--------|
| 東京医科大       | 2次合格   |
| 愛知医科大       | 2次合格   |
| 岩手医科大医学部    | 2次正規合格 |
| 杏林大医学部      | 2次合格   |
| 聖マリアンナ医科大前期 | 2次合格   |
| 埼玉医科大後期     | 2次合格   |
| 北里大医学部      | 2次合格   |

石井先生も、授業中に春ぐらいに、

「ここで友達作って、ちゃんと話した方がいい、

解き方とか、互いの気づきで、

はっとするから」って言ってましたね。

東京医科大進学 益田 大貴 君(淑徳高校卒)





卒業生が語る

# 合格への軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

杏林大医学部  
東京大医学部

前期2次合格

|             |      |
|-------------|------|
| 東京医科大       | 2次合格 |
| 愛知医科大       | 2次合格 |
| 北里大医学部      | 2次合格 |
| 聖マリアンナ医科大前期 | 2次合格 |
| 日本大医学部      | 2次合格 |
| 金沢医科大前期     | 2次合格 |

僕、薄先生から、指定された年度の過去問やれって指示されてやったら、それがテキストの類題だったりだとか、応用の仕方が身につきましたね。

東京医科大進学 鈴木 航大 君(芝高校卒)



**それぞれ、お名前と戦況報告をお願いします。**

鈴木：はい。えっと、鈴木航大です。東京医科大学に行ってます。えー、2次受かったのが、愛知、北里、聖マ。えー、金沢、東京医科。あと、日大です。日大が一番最初に来ました、最初でしたね。2次は、6個ですね、で1次…、ん、1次は、いっつか…、結構きて…、はい。一応、昭和と東邦、慈恵、あと日医の後期とか、きました。いま、部活は、サッカーです。東医のサッカー部、あれ、フジタク？さん（市立船橋高校卒・代官山 MEDICAL 出身の藤井拓：東京医科大進学）、3年生、います、います、なんかもう、伝説…。神みたいな扱い（笑）。なんか、Zoom で新歓あったんですけど、3年生の人が担当でいろいろ教えてくれたんですけど、うちにはあれだからつって、全国（高校サッカー全国大会）出てるやついっからみたいな感じで、結構もう、全国優勝したやついるからみたいな感じで、（藤井さん）神みたいな感じで。益田：益田大貴です。東京医科大学に通っています。えーっと、2次受かったのが、愛知、岩手、杏林、聖マ、えーつとと、あと、何だっけ。東医と埼玉の後期ですね。あと北里。そうですね、7個ですね。で、1次受かったのが帝京と、あと、後期は、あつ、昭和後期、1次通りました。

**代官山に来たきっかけは？**

鈴木：えっと、僕は、あれです。同じ高校の、あの、ホシナオキ（昭和大医学部進学：星尚輝）ってやつがいて、そいつに、「ちょっと代官山どうなの？」って聞いて、で、なんか、いいよって言われて、それでじゃあ、行くかって感じでした。そいつ、昭和の後期で受かったんで、あと、慈恵も（1次）出てたんで…。あと関和正さん（日本大医学部進学）も一緒に、同じ高校、芝。坂本（久留米大医学部：坂本広樹）も。なんか2次（面接）弱いやつ多くって（笑）。はい。「なんで、芝卒は、そんなに2次弱いんだ」つって、ヒロさん（小論文講師：高橋浩先生）に怒られてました、はい。男子校、濃縮還元されちゃって。ま、楽しそうです。まあ、そうですね、紹介されて来たっていうか、それで、石井先生に、面談してもらって、ここだったら大丈夫かなって、それで。去年、前の年は、新宿の●エストっていう所に行って。フフフ。なんか、医学部予備校で最初、パソコンで検索して、結構、●エストが上のほうに出てきて、で、なんか開いたら、なんか学費も安いし、いいんじゃないみたいな感じになって、結構、そんなポップな感じで選んで。

益田：僕は、淑徳だから、あの、一応、薄先生をちょっと知ってて。二浪目になって、ああ、ちょっと行ってみようかなと思って、で、来ました。1年目は、四谷学院ですね。なんか、そのときは自分でできるかなと思ってたんですけど、まあ、1年目で無理って分かって、どこも受からなくて。一個も1次出てないですね。フフフ。じゃあ、もう後ないし、やるしかないかなと思って、ここ（代官山 MEDICAL）に来ました。そうなんです、

なんか高3の受験が終わって、浪人決まって、で、なんか適当に調べて、駿台とか河合とかいろいろ行ったりして、で、四谷が最近いいみたい。安いし。で、自分でやろうと思ったらやっぱり受からなくて。（笑）こっち来て。

鈴木：僕も一個も出てないです。はい。英語がやばくてマンツウ入れてもらって。あつ、それ、一個言っているんですか。僕、2学期と、冬、英語のマンツウ申し込んだんですけど、一個も入らなくて、そこ（笑）。まじで、はい。なんでなんですかね、あれ。多分、時間割が合わなかったんですかね、授業と全かぶりだったりと。あるんですかね、そういうの。フフフ。1学期が青葉先生で、夏が朝岡先生だったんすよ。でも、2学期、英語も入れてもらえなかった。ハハハハハハ。物理は1学期から野村先生、化学は三上先生で、はい、まあ、でも、よくここまでできるようになったんで。フフフ。

**お二方は仲良く2浪生ですが、それぞれ1浪のときはどうだったのでしょうか。**

益田：ちゃんとやってたかって言われると、まあ、今年ほどはやってないですね、やっぱり。今年ほどやってなかったです。やってない。はい。できなかったっていうより、やっぱり強制力がなかった（笑）。自分は、やっぱり強制されないってというのがあったのかもしれないです。1浪目との一番の違いって、一番の違いは、やっぱり授業数ですかね。やっぱり、授業やレビューやらでこんなに忙しいと思わなかった。空いてる時間がないから、もう勉強勉強っていう、こんなに勉強に追われたことが人生でなかったから。こんなに強制されちゃうと、やるしかないかなって感じでした。でも、やっぱり、何だろうな、野球やってたんで、だいぶ精神的には強かったんで。いろいろ、何ていうんだろう、あの、理不尽なことには慣れてたんで。体力的にもいけましたね、全然。思ってたより。慣れてましたね。授業がたくさんあっても全然、僕は、全然、大丈夫でした。

鈴木：1年目、僕、あの一、誰ともしやべらずやってたんですよ。いや、なんかとがってて。やさぐれてて、ちょっととがってたんで最初、誰ともしやべんなくやってたら、なんすか、あんまできなくなって、結局、1人だとやりきれないところとかもあって。で、こっち来たら、こっちでは、もう、なんかとがるのやめようと思って。めちゃめちゃ、それがよかったです。友達できたのが。（笑）よかったです。多分、そっちのスタイルのほうが僕は合ってたんだと思います。はい。男子校ののりで。（笑）なんか、授業数多過ぎて、疲れて、なんすか、その、病んじったみたいな感じは全然なかったです。

**クラス移動はありましたか？**

鈴木：最初から俺、M5です。M5⇒M5⇒A1⇒A1です。下がりました（笑）。





益田：僕、ずっと M3 です。上にもいけなかったけど、落ちもしない。上にいきたかったんですけど、まあ、上に行かないことって多分よかったんですよ、自分はきつと。上にいってたら多分、もうおごってたんで、自分できつと。ああ、俺できるんだって思っちゃうんで。よかったですよ、ほんと。

鈴木：なんか、そうですね。1 学期は、点数とか順位とか気にしてたんですけど、最初は…。もう夏ぐらいから、下の(下の階のランキング)貼り出しとか、なんか見に行くの面倒くさくなっちゃって、あんまり行ってないですね。なんか、「載ってたよ」って言われて、じゃあ、ちょっと見に行くかみたいな。載ってたら行くかみたいな。どっちかっていうと、なんか自分の取れてたはずのところが取れてなかったりとかしたときのほうが…。むかつく感じ。むかついてました、誰かに負けたとかより、順位とかよりも、なんか、ここできたはずなのにできなかったとか、あと逆になんか勘みみたいな感じでやって、たまたま当たっちゃったなみたいな、そっちのほうを気にしてました。

益田：正直、あの一、最初は M3 だったんですけど、途中で下がっちゃったオカモトガクト(藤田医科大学医学部進学：岡本岳斗)っていたんですけど。あれが、同じ 2 浪で、まあ、なかなかできるやつだったから、何となく意識はしてました。あとは、ずっと M3 で一緒だったオオサキ(大阪医科薬科大医学部進学：大崎起文)は、できるんで、1 浪で、負けたくないなと思ってましたね。自分は、最初の頃は、本当にひたすら 1 人でやってたんですよ、途中でできつくなってきて、で、やっぱ話したほうがいいなと思って。途中、夏ぐらい 1 回、マンスリー 200(点)切ったことがあって、確か、それで、本当に下がってきて、本当にぎりぎり(ランキングに)載るかぐらいで、やばいなって思って。で、結構、切羽詰まってたんで周りいろいろな話したりして、何とか回復しましたね。しゃべるのは、同じクラスだと男子はオオサキぐらいですね、女の子たちは、

結構、入れ替わりあったんですけど、どこだろう。うーん。ヒヤマさん(聖マリアンナ医科大学進学：檜山佳那)とか。カゲヤマさん(近畿大医学部進学：景山なる美)とか、チバさん(杏林大医学部進学：千葉朱里)とかです。まあ、普通に楽しくしてもらいましたね。面白かったですね。友達いろいろしゃべって、メンタルは病まなかった感じ、大事ですね。

### 自習室は集中できましたか？

鈴木：あ、夏とか、今年だけかもしれないですけど、コロナで(自習室の窓を)開けなきゃいけなかったじゃないですか。めちゃめちゃ暑くて、そのとき。あれは、ハハハ。熱風が。熱風がうわんって。なんか熱風と、あとエアコンの冷気が混ざって、なんか分かる？気持ち悪いみたいな。こっち冷たくて、こっちはちょっと暑くてみたい。職員のひととか、めちゃめちゃ苦労してたと思いますよ。今年だけかもしれないけど、あっ、去年か、でも、あそこ閉めてたら、多分めちゃめちゃいい所だったと。

益田：(自習室の)雰囲気、あれ圧倒されたんすよ、最初に、春の時点で。隣の原島くん。ハラシマ君(東京慈恵会医科大学進学：原島弘典)に圧倒されちゃって。えー、なんか、すごい雰囲気が、がつがつにやってる感じだったんで。ああ、なんかどうしようと思って。そこにもういられなくて、後ろのオオサキも、最初からすごいやってましたね。

### 本番の試験の前、緊張しましたか？

鈴木：愛知とか、ヤバかったです。前の日とか、はい。

益田：前の 1 週間前ぐらいからやばかったです、僕。今年がやばかったら、駄目だったら、本当どうしようと思ってて。始まって、愛知で結構やばくて。できてなくて、むずつみたいな。

鈴木：フッフ。分かる、それ。(笑)愛知。愛知むずかった。でも、代官山の生徒いっぱいいたんで、愛知(の試験

会場)は。で、やっぱ、それが緊張ほぐれました、めっちゃめっちゃ。入って、知ってる顔がたくさんいて。なんか、模試みたいな。マンスリーみたいな感じで。めっちゃマンスリーみたいな感じで取れてて。

益田：どこだっけ、聖マとか、どっかの帰りに、僕、ヒラカワ(杏林大医学部進学：平川知宏)とゴトウ(杏林大医学部進学：後藤駿太)と一緒に帰ったんですよ。電車の中で(愛知の結果)見て、みんな受かってて、愛知。で、みんな初めての合格で、めっちゃうれしかったです。ハハハ。自分も見て、そうですね。「ああ、受かってる」つつって、初めて合格見たんですよ。そのあとすぐに代官山、戻ってきました。

### 印象に残った先生を、まず英語から。

鈴木：英語、朝岡先生。マンツー取ったから。なんか、たまに来る雑談がめっちゃめっちゃ面白くて、フフ。

例えば、多分、結構、もう有名なやつだと思うんですけど。家帰ったら、知らないおじさんがお風呂場で寝てたって話があって。はい。それも印象に。(笑)でも、朝岡先生、なんか特に英語の、なんか長文とか読むときに、なんすか、文脈とかが捉えられてたらまあいいよねみたいな感じで、結構。アバウトな感じだったので。それが合ってた。あの、聖マの記述のやつ見てもらったんですよ。そしたら、なんか、「めっちゃいいじゃん」って褒められたんですよ。だから、「おはようございます」って言ったら、なんか、何だっけな。あの一、「あれだよ、鈴木君ってなんか、訳とか結構ぐちゃぐちゃだけど、こういうなんか要点つかむのはうまいね」って言われて、褒められてるのか、ばかにされてるのか分からねえ。(笑)みたいなことありました。はい。ハハハ。

益田：僕は、栗原先生と石井先生ですかね。栗原先生は、最初からずっと長文のAのほうをやってもらったんですけど。長文に出てくる単語を覚える覚え方とか、語感とか、いろいろそういう出てくる単語をこれ調べなさいとか、マーカー引いときなさいとか。石井先生もそうなんですけど。本当に、結構、単語集めるの好きだったんで、その単語集めて、長文の読み方もすごい丁寧に夏まではやってくれたので、それを繰り返しやりましたね。石井先生は、最初から本当に単語帳を作れって言ったのを、それだけはやってたんですけど、あと、なんか最初のほうに言われてた、機能語を黒マーカーで消して読め、みたいなのは自分、全然できてなくて。ただ、石井先生の授業自体は、結構、メンタルきてるときとかは結構、役立って聞いてました。卒業生の話とか、受験前とかに結構メンタルやられてた時、1個、めっちゃ覚えてるのは、あの、不安って、試験に対する不安って、考えれば考えるほど大きくなっていくから、なんかあれこれ考えるなって感じのことを言われたんですよ。ぎりぎりのときに、1月ぐらいに。で、あっ、そっか、考えないように、考え過ぎちゃいけないんだなと思って。どんどん悪いほう悪いほうに考え

ちゃうので、人間って。そうそうそう。

鈴木：確かに、石井先生のその授業は、なんか、確か、モチベーションの維持にすごい役立ってた気がする。

僕は、必ず3列目には座るようにしてました。必ず。それより後ろは行かないように。その、たまに当てられる、ぼちぼちって感じで。

益田：僕は、本当に潜んでたんで、全然、当たらなかったです。本当に、後ろの端っこだったんで。まあM3だったんで、なんかもう、みんなすごい前、取っちゃうんで、取んなくていいやっていう感じで。

鈴木：フフフ。

益田：後ろにずっといたんで。あんまり当たらなかったですね。そうですね、結構、焦るんで、あれは。何回か当たったときは結構、びっくりしました。

### 次に、数学はどうでしたか。

鈴木：数学。やっぱ薄先生かな。なんか、すごい問題数、絞るんですよ。これと、これと、これみたいな感じで。これだけは押さえとけば、あとはそっから応用していけばできるからみたいな感じで、基本の問題数押さえてくれて。実際に、それが押さえてると、その過去問とかやったときも、あっ、できてるなっていうのがあったりとか。あと、僕、薄先生に頼んで、なんか、「どの過去問やったらいいですか」ってのも聞いて、そのプリントみたいなのもらってたんですよ。実際に、その言われた、指定された年度のその過去問やって、それがテキストとかから、テキストの類題だったりだとか、そのテキストと同じ考え方使うやつ(問題)が入って。それで、そこがまた応用、応用っていうか、そのテキストの問題のところが強化されて、その状態で入試会場に行くと、またそれが本当に同じようなやつが出たりして。なんで、初見の問題とかじゃなくて、取らなきゃいけないところが落とさないようになった気がします。

益田：取らなきゃいけないところ落としちゃうと、受





かんない、はい。僕は、薄先生と、典さんですかね。薄先生は、ずっとお世話になってたんで。本当に、自分がくそみたいにできないときから知ってるんで。で、あの先生に本当に従ってずっとやってて、で、途中までずっと褒めてもらえなくて、で、取りあえず、おまえはここをやれって、別に難しい問題とか全然もらえなくて。とにかく、ひたすらやれって言われて、やって。で、冬の単科でなんか見せに行ったんですよ。そしたら、「おまえ、すごい伸びてる」って言われて、「おまえ、多分、一番伸びてるよ」って言われて、多分、みんなに言ってるんですけど(笑)。でも、言われて、めっちゃうれしくて、で、自信がついたっていうか。すごいうれしかったですね。で、ノリさんは、最初は、本当になんだこの先生と思って、全然、付いていけないし、1人でしゃべってるし、なんだこれと思いながら、ノート写してたんですけど。夏明けぐらいからテストゼミが始まって、楽しくて。自分がすごい復習ばっかりやってたんで、すごいできるんですよ、テストゼミが。手が動いて。で、どんどん難しいのくれるんで、うれしくて、楽しかったです。

鈴木：フフフフフ。

益田：ノリさんの授業は、とにかく楽しかったんで。最初は、ちょっとびっくりしますよね。いろんな解き方を研究して。ためになる、うん。最初、これ全部やるのかって思って、ちょっとびっくりしちゃって。フフフ。でも、いろいろやって、はい。楽しかったです。(笑)

鈴木：ノリさん、天才過ぎて付いていけないときがある。

益田：ハハハハハ。そうなんです。早過ぎて。

## 物理は？

鈴木：野村先生。ノムプリの信者、はい。野村先生は、まずなんか解説のときに、その授業とか、ペン3色しか使わなくて、黒、赤、青しか使わない、で、なんか、その3色で、すごいまとめやすくノートを作ってくれるので、後で見直したときに、授業で言ってたことがもう頭の中で全部再現できて。

益田：ノート、すごい分かりやすい。

鈴木：すごい分かりやすい、野村先生のノート。シンプルなので、要点がまとまっててみたい。もう、見たら分かる。

益田：ハハハ。

鈴木：めっちゃめっちゃきれいで、分かりやすい。問題集の解答？解説って、結構はしょってること多くて、なんか見ても分からないの多いんですけど、それで解いていって、授業に持っていって、ここの解説読んで分からなかったんですけどって聞いたら、なんか、その目の前で解説してくれたら全部分かって。で、それも、後で見直してもめっちゃめっちゃ忘れなかった。ノート書いてても、後で見直しが分からなくなるとかあるじゃないですか。そういうことは全然なかった、野村先生は。

益田：うん、まじでノムプリやっつけ、物理は。もう。なんの問題もないです。無敵です。最初の60問と、あ

と演習のやつ30問で、全部で90題。まじ、それがもう神。

## 後輩たちに、なんかアドバイスとか、最後に一言ずつ、お願いします。

益田：うーん。やっぱ1人じゃなかったことですかね。めっちゃくちゃでかいです、僕は。去年は1人だったんで。やっぱ1人じゃないほうがいいですよ。(笑)

鈴木：絶対失敗する。

益田：絶対かどうか分からないですけど、まあ、石井先生もなんか言ってたんで。なんか、授業中になんか春ぐらいに、やっぱ話したほうがいいって。「ここで友達作って、ちゃんと話した方がいい、解き方とか、互いの気づきで、はっとするから」って言ってましたね。

鈴木：それがよかった。

益田：結果オーライ。

鈴木：結果オーライ。(笑) まあ、友達をつくったほうがいいよってことと、あと、その、上のほうに受かっている人を見てると、朝は早く来てるのかなって気はします。僕は、ちょっとずつ遅くなっちゃって。最初は、なんか7時ぐらいに起きたんですよ、7時か7時半前かぐらいに来て。で、それで、まあ7時か7時半の間に絶対来るっていうのを1学期続けて、で、夏になると、それが7時半からちょっと8時ぐらいになって。で、2学期から冬にかけては、また7時半から8時半とかになっちゃって。8時半前には来るようにはしてました。

益田：僕、朝そんな弱くないですよ。ここまで、近いんですけど、40分ぐらいなんですけど。でも、最初は同じ、7時。副都心線。まあ、最終的に8時ぐらいでした。周り、めっちゃ来てました。周り、M1ばっかだったんで、結構、フカイ君(東京慈恵会医科大進学:深井悠介)とか。M1、M2がめっちゃめっちゃ多くて、キョウゴク君(東京慈恵会医科大進学:京極政樹)とか。結構いて、みんな、めっちゃやって、やばいわと思いながら。M3で、どぼどぼと入っていった。

益田：ちゃんと。あ、帰らないことも大事ですね。

鈴木：あー、うん。

益田：帰らない、授業切らない。

鈴木：うんうん。

益田：授業は、僕、切ってないので分からない、切ったらどうなるか分からないですけど。切らないことと、帰らないことですね。帰ったら負けです。切ったら、また落ちてましたね、きっと。

鈴木：なんか、その、何ていうか、周りの(友人の)話聞くの大事だけど、ちゃんと自分は、自分に合うか合わないかとか、自分はこうしたほうがいいとか、そういうのはちゃんと、講師の先生から言われたことは、素直に受け入れたほうがいいと思うんですけど、友達によっては、友達に言われたこととかだと、いったん、フィルターかけたほうがいいのかなと思います。

益田：あと、あとは、そう諦めないこと。成績落ちて

も続けること。言われたとおりにやること。

鈴木：一喜一憂せずに、成績に。言われたことやって、落としちゃいけない問題を落とさなければ…、受かると思います、代官山にいれば。受かりますね。

益田：受かる。代官山、ありがとうって感じ、ハハハ。

鈴木：本当にそうです。代官山じゃなかったら、うーん。どうだろうね。受かってない気がします、正直。

益田：変えてよかったなって、めっちゃめっちゃ思います。

鈴木：うん。思う。うーん。自分には合ってたなと思います、代官山。うん。授業多くて、拘束時間長くて、で、結構、先生とか、石井先生とかから、やれよやれよって発破かけられるのは合ってたなと思います。●エストだったら、なんか、その隙間の時間のときに、何やったらいいのか分からなくなっちゃったりして、ハハハ。(笑) うーん。代官山は、やっぱ強制される場所ですかね。

益田：大事ですね。





卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

|            |        |
|------------|--------|
| 信州大医学部医学科  | 正規合格   |
| 昭和大医学部 1 期 | 2次正規合格 |
| 東京医科大      | 2次特待合格 |
| 杏林大医学部     | 2次正規合格 |
| 北里大医学部     | 2次正規合格 |

石井先生には、「あのね、大学生活、  
大学に一回入っちゃうと、一回質  
下がってるから、こんくらいやんないと  
1年じゃ間に合わないって」言われた。

信州大医学部医学科進学 岩科 弘丸 君(日比谷高校卒)

えーっと、名前は、岩科弘丸です。行った大学は、信州大学です。1 次通った大学が、愛知、国際、杏林、えー、東邦、獨協、日大、昭和、東京医科、慈恵。はい、9 個ですかね。あれ、おかしいな、俺が受けたの、多分、そうっすよね。いや、多分、これで合ってるはず、あ、北里、言いました？ 俺、それっすわ、北里ですわ。そうです。それで 10 個か、で、2 次きたのは、国立も含めると、2 次きたの、杏林、北里、東医、うん、昭和です。で、終わりかな。4 つです。で、東医が、東医が、特待でした。500 万円引きのやつ、はい、そうっす。いや、まあ、まあ。

なんか、大学に、ノリで、工学部建築学科に行つてて、途中、やり直しできないかな、って、もう嫌過ぎて、「留年したい」って言ったんすけど、学部に。「いや、駄目です」って言われて。もう決ま、決まっちゃったんでって言われて。じゃ、もう、俺、建築家。俺は建築の道を進むのかって絶望してたところに、ま、なんか、おやじと話す機会があつて。そう、福島に、ちょっと病院に、なんかいろいろ手伝い行ったりしてて。そんとき話す機会があつて、僕の兄が代官山 MEDICAL、通ってたんすけど。うん、1 年で受かったんで。まあ、自分から言ったんすよね、なんか、そういう塾あるんでしょみたいな話は僕からして。建築が嫌なんで、( 医学部 ) 受けさせてもらえないかって、行かせてもらえないかって話を。で、まあ、了承を得たんで、母親と、ちょっと、石井先生のほうに面談に行つて。そうですね、入ったっていう感じだと思います。

最初のクラスは、確か A1 でしたね、A1。試験受けました。あの、みんな受けた、4 月くらいに受けた入塾テスト的なやつで、(クラスが) 決まって。偏差値 51.2 からスタート。結構(知識) 抜けてて、できませんでしたね。普通に。ま、なんで A1 にいったのかもよく分かんないっす、正直。いや、まあ、次も A1 でしたね。A1➡夏、A1➡2 学期、冬期の最後のクラス分けで、多分、M4 に行った感じです。うーん、ま、まじな話すると、最初のほうは、これ、授業多過ぎやろと、や、てか、あの、石井先生に事前にカリキュラム見せられてたんですけど、この時点で、正直、僕、嫌になってて、一瞬、ハハ、辞めようかなって思ったんですけど、親が医学部行きた

いや、やばかったっす。な、何これみたいな。東医は。



いや、もう、全部できましたね。できなかったのがない。うーん、ま、強いて言えば数学とか、ほぼ全完だったと思いますし。

物理も、まあ、大体できてるかな。ま、東医って分量多いんすよ。あと、数値なんで、全部。物理とかが。まあ、時間がないんすけど、ま、何とかかなりましたね。いや、昭和がね。昭和が油脂。油脂、俺、落としちゃった。あの、めっちゃ簡単だったんすけど、あれ、何だ。炭素数 1 個ずらしちゃって。大問 1 個ぐらい落とししたんす。で、ああ、もう、これやべえかなって思ったんすけど、2 次の面接で、最後、帰るじゃないっすか。帰るときに、「来てね」って言われたんで受かったなって思いました。や、特待ではなかった。

特待、欲しかったっすけどね。昭和。昭和、あー、金払ったのは、まず、北里と杏林で迷って。石井先生に相談して、ま、何だかんだ杏林のほう为上だよって話聞いて、杏林に払って。で、東医と昭和で迷って、でも、なんか、昭和のほうが近い。家からめっちゃ近いんで。昭和。東医もめっちゃ立地いいんすけど。ま、昭和、おしゃれじゃないっすか。名前が。それ、それで決めました。あと、何だかんだ昭和のほうが一応ランク的には上。共通テストのリスニングは、リスニング、早い、早いっす。や、どうだろうな。うーん、やっぱ、まあ、早いんすけど、結局、あの、センターもそうだったんすけど、数字とかそういうのを答える問題が多いんで、要所要所を聞き逃さなければ、基本的にリスニングはいけると俺は思います。いや、分かんないっす、いや、先生のおかげですよ、きっと。石井先生のおかげです。はい。ま、なんか、なんかできました。でも 86 点だった、くらいですね。確か。えーっと、筆記のほうはもうほとんど 100 近かったの。てか、満点だったと思います。恐らく。そう。長文しかないんで、もう俺の独壇場でした、正直。余裕でした。時間 20 分くらい余りましたね。確か、長文。なんで、全然。なんか、私大の 2 次とかよりは全然簡単でした。まあ、当たり前ですけど、



共通。そうですね。平易な問題だったと思います。

### マンツーマンは受講してましたか？

そうそう、マンツーで。ちゃんと阿里先生も長文だけにしてくれて。長文は好きなんで。その長文の中で文法も、ある程度、補填できるんで。ま、要は、マンツーマンの先生とちゃんと、相談するんって、大事っす。うん。俺、基本的に仲良かったんで。マンツーマンの先生とは全員。

英語が阿里先生。高橋阿里先生。で、数学が長澤先生。で、えー、物理が柳瀬先生。化学は横井先生っす。みんな仲いいっすよ、俺。全員。全員フレンドです。俺の。フレンドは言い過ぎだ。怒られるな。まあまあまあ。横井先生とかしっかり教えてくれたでしょ。やー、横井先生、良かったっすね。横井先生、単純に授業のレベ。あ、マンツーマンのレベルが高いんすよ。まあ、ま、また駿台との比較になっちゃうんすけど。駿台も、まあ、レジェンド講師、いらっしゃるじゃないっすか。あの、なんか俺が嫌いな、駿台の嫌いなのが、100 人くらいに一斉に教えるんで。まあ、あの、ま、要はレスポンスがないじゃないっすか。生徒から。あれがあんま好きじゃなくて。だ、なんか、横井先生も、の場合は、なんか、ちゃんと、あの、授業のクオリティーも、なんか、そんな割と劣らずなんですよ。そのレジェンド講師の方々に。ちゃんと、あの、何だろうな。雑にじゃなくて、根本から。先生分かんないと思うんすけど、電子論とか、あの、あるんす。化学だと。軌道とか。そうそう、それから教えてくれるんで。ま、俺の場合、大学でやってたからっていうのもあるんすけど、軌道とか。もう、そこから教えてくれるんで全然。しかもそれをマンツーマンなんで。いや、もうお徳感ありましたね。はい、バリバリありました。これは本当っすよ。ちゃんと。嘘つかないっすよ。ハハ。

横井先生、良かったっすね。単純に話が合うんで。合うっつうか、まあ、合わせてくれてんのかもしないっすけど。数学の長澤先生は、ま、長澤先生にめっちゃ言われんすけど、質問が多いみたい。おまえ、うるさいみたい。でも、それがいいらしいんで。長澤先生曰く。でも、質問ない子よりは質問ある子のほうが全然いいみたいな話なんで、ま、自分の中では結構いい関係を築けたんじゃないかなと。

柳瀬先生は、え、なん、何だろうな。なんか、最初っから好きでした。柳瀬先生。東大生好きなんで。俺。東大だっとなって。うわ、やべ、賢いじゃんって。賢い人、好きなんすよ、俺。で、賢い感があふれてたんで。しかも何だろうな。若いんで、若いっすよね。その国立のノウハウも結構分かってたんで、ま、結構、合っていましたね、柳瀬先生、ありがたいっす。あざす。で、阿里先生は、うーん、ま、俺が絶対自分で勉強しない英語を無理やり勉強させてくれる人って感じ。

自分で英語って絶対しないんで。僕。本当に。でも、宿題として出してくれるんで。それやないと授業が

成り立たないんすよ。阿里先生の。そうそうそう。あれ、だって俺がやってこないと、なんも授業なんないじゃないっすか。さすがにそこは俺も申し訳なくってやるっていう、この、うまいっすよね。阿里先生はね。俺にやらせんのが。ああ、それでやってました。さすがに。

### 集団授業は、自分に合っていましたか、また、遠慮なく、先生に質問にもいけていましたか？

物理、一番、好きなのは野村先生が、いっちゃん好きでしたね。質問にもめっちゃ行ってたのは野村先生かな。え、なんか理知的じゃないですか。雰囲気。なのと、え、何だろうな。なんかいいんすよ。や、なんか、質問にも普通に答えて。いや、もちろん他の方々も答えてくれるんですけど、小澤先生にも行ってましたね。でも、寺澤先生の授業も好きでしたけど。俺、みんな、みんな好きだったんだよね、物理は。選べないっすね。最後、物理偏差値、77.73.7とかいけて、小問…。ああいうの得意なんだよね。雑魚狩り得意なんで。そう、雑魚狩りの岩科ですから。強いやつ。あんまり強いやつと戦うのはちょっとNGなんす、俺は。そう、雑魚は狩れる。数学、最初。36点で、偏差値44.4ですね。ハハハハ。いや、ま。数学できなかったっすね。いや、数学は。え、自分の中では得意なんすけど、ま、多分、得意じゃないんでしょうね。如実に点数に表れてるんで。

スタの後期、冬期かな、のテキストの物理で、なんか、めっちゃめっちゃむずいコンデンサーの問題があって。野村先生に聞きに行ったんすよ。で、なんか、もう、何だろうな。微分とか使って、説明してらっしゃったんですけど、それ聞いたら、でも、こんな解けるやつ、いないよみたいな。東大受けるやつでも解けないよみたいな話をしたのはちょっと覚えてますね。いや、じゃあ、なんでこんな載せたんねんみたいな。スタのテキストについて思ったんすけど言いませんでした。いや、東大受けるやつでも解けないみたいな。でも、あれ、理解してる人いないっすよ、あの授業。俺も理解できなかったっすもん。正直。俺で、できないんすよ。地獄ですよ、あれ。本当に。物理は、でも、単純に先生がたの教え方が良かったんじゃないっすか、代官山。テキストは、物理はめっちゃ、物理も予習してた。俺。あの、物理で予習するんすよ。野村先生の解説とか、小澤先生も良かったな。なんか、現象理解っていうか、入りは俺、寺澤先生が一番好きなんすよ。あの、概念。波とか。ちゃんと黒板に絵とか描いて説明してくれるんで。で、そっから具体的に、じゃあ、どうやるかっていうのは、寺澤先生とか小澤先生が結構微分とか使うんで。そこは、そのお二方のほうが好きだった。

数学、まず好きなのは典さん好きでしたね。典さんは、あの、何だろう。早く解けた人が、もう次いっていいっていうスタイルだったじゃないですか。ま、多分、受けたら分かると思うんですけど。それは、結構合ってたね。あと、楽しいんで。単純に。授業が楽しいっ

ていうのはいいことですよ。

「はい、解けました」つつつ、「はい、合ってる、次いっていいよ」って言われると、ま、やっぱうれしいんで。でも、典さん良かったけど、別に他の先生も普通に良かったかな。あと、数学、他、誰いたっけ。長澤先生。あ、あと、俺、中村先生。結構、好きでした。中村先生、何が良かったのかな。なんか、王道をいった気がする。中村先生は。あれ、優しいっす。中村先生、優しくないっすか。異常に優しくないっすか、あの人。優しいっすよね。だから質問にも行きやすいし。良かったっす。や、数学。6人いるはずっすよね。だって、Part 6まであるから。あー、アハ。薄先生だ。

や、薄先生はだって、もう、俺が言う必要ないっすよね。多分ね。俺が、いって言ったところで、あれなんで。ま、当たり前ですけど、良かったっす。薄先生は。ていうぐらいかな。英語は、石井先生の授業はちゃんと受けましょう。予習しないと怖いんで、予習しましょう。ていうのと、え、あと、誰だっけな。栗原さんと、あと1人いたんだよね。あ、岩崎先生だ。岩崎先生は、うん、俺、結構、好き。ま、好み分かれんじゃないかな。どうなんだろうな。岩崎先生。あの、延長するんすよ。絶対。延長魔なんすよ。あの。一つ悪いところ言うとしたら、結構、授業中に無駄話、すんすよ、あの。でも延長するんすよ。そこはちょっとあれでしたけど。でも、無駄話も、ま、面白いんで、まあ、許します。あと、岩崎先生の良かったところは、当てるんで。寝ないくらい。ハハ。あと、岩崎先生は、結構、文法がいいっていう人もいるかもしれない。俺は長文が好きでしたね。あと、授業中に本の、なんか、大学の講義みたいなことやるんすよね。あの。多分、自分が、大学にいたから、その経験を活かそうとしてると思うんですけど。それが、結構、俺は好きでしたね。紹介された著書読んだことないけど。あー、こんなあるんやっていう、ま、知的好奇心にはつながりますよね。例えばコロナの話題だったら、コロナの、なんか有名な記事、本。有名なアメリカの脳外科かなんかが書いたやつを持ってきたり。ま、なんか、生徒の関心、引くのがうまいっすよね。岩崎先生は。いいこと言ったな。俺。はい。化学は、俺は、あえて原先生。え、でも、普通に原先生、いっちゃん好きだったんだよね。原先生の講義。なんかね。好きなんすよね。原先生。なんでだろう。雰囲気。いや、多分、女子とかも好きなんじゃないっすか。原先生。違います？ 人気っすよね。多分。なんかいいんだよね。何がいうって言われると、原先生、授業が普通にいいんだよね。原先生もさっきの物理の話につながるんですけど、あの、入りは原先生が絶対いいっす。ま、俺の中ではなんすけど。特に、導入は原先生のほうが、っていうとあれだな。なんか、俺は、好きでしたね。絵とか描いて、視覚的に訴えてくるんで。原先生は。そこは原先生、好きでしたね。俺はね。化学は原先生のおかげっす。はい。化学は、化学が俺一番できなかったんで、まあ、あの、現役のときのセンター12点だっ



たんで。100 点中。化学。はい。でも、今年、あの、昭和とか、だって、俺、アミノ酸わざわざ全部覚えたんすよ。出ないっていうね。昭和のくせに。でも、簡単だったんで。やっぱり。雑魚狩りの岩科なんで。雑魚、雑魚は狩れるんすよ。雑魚の狩り方は得意なんで。化学とかも多分、そのおかげで。多分、来年とかだったらきつかったんじゃないかな、と思いますよ。俺は。普通に。はい。今年、良かったっす。普通に。ああ、もう運が良かったんすよね。

### 代官山 MEDICAL で、1 年間、浪人生活を送ってみて、どうでしたか？

えー。ま、まじな話すると、あの、拘束時間が長いじゃないっすか。あの一、ま、俺って本当に、なめて育てきたんすよ。自分で言うのもなんすけど。なめた人生、送ってきて。ハハ。なめた人生、送ってきたんで。まあ、あの、こういうね、あの、結構いると思うんすよ。僕みたいな子って。だから、あの、強制されないといけないって人は絶対合ってますね。嫌でした。だって、普通の予備校って、だって、夕方には終わりますもん。当たり前だけど。で、そこから遊ぶみたいな感じが普通だったんすけど。ここ、だって、夜 9 時までやりますもん。おかしい。ここだけっすよ、こんなことやってんの。本当に。や、それが良かったなと思います。でも。何だかんだ。や、そ、結局、だって、だらだら続けるより、だらだら 3 年とか 4 年かかって受かるより、この、半年とかで受かって大学楽しむほうが絶対いいじゃないっすか。だから、まあ、その面で本当に良かったかなと本気で思ってますよ、俺は。いや、ハハ。本当っすよ。あと、まあ、多分、みんな言ってると思うんすけど、あの、先生との距離感、近いっすよね。代官山ってね。うーん、先生と仲良くなるって、すごい、あの、予備校とかの勉強する上で大事だと思うんで。やっぱ、すん、まあ、比較に出しちゃって申し訳ないっすけど、駿台とか河合だと、やっぱ、あの、1 対多数、大多数なんで。気軽に質問、行けないんすよね。なんか、恐れ多くて。しかも、なんか、結構、年配の方、多くて。レジェンド感があって行けないんすよ。代官山の先生って、結構、若い方もいるし、ま、まあ、結構、あの、年いった方も優しい感じの方が多くて。質問に行きやすいっていうのは。だって、俺でも行ってましたもん。俺、普通、質問なんて行かなかったですよ。高校とか、俺。駿台だと一回も行かなかったです。でも、代官山来てからは行きましたね。なんか、行く、行っちゃうんすよ。自然に。野村先生とかめっちゃ行ってましたね。めっちゃ行ってました。野村先生には。本当っす。本当に良かったと思ってます。もう、通常授業の分かんなかったところをどしどし聞けるっていうのは、素晴らしいじゃないっすか。マンツーマンだって、通常授業の先生と一緒にいる可能性も結構あるんで。そしたら、なんでも心おきなく聞けるし、いや、もう、先生が話し相手でしたよ、俺。本当に。いやー、長澤先生とか、めっ

ちゃ話して申し訳ないっす。ハハ。他には、あと、さっき話しましたが自習席は、いいと思います。でかいんで。あと、自分の荷物置けるし。あと、ロッカーあるっていうのも結構、なかなかないっすか。

あと、まあ、アドバイスとしては、2 号館には来たほうがいいっすね。2 号館がいいっていうより、俺、本館の雰囲気、ちょっとあんまり好きじゃない。好きじゃないっていうか、なん、何だろうな。

いや、2 号館、落ち着いてるんすよね。すごい。ま、やっぱ、賢い子、おお。賢い子。確かに、ちゃんとやってる子、多いんで。自習室、なんか騒がしくなったりとかは全然なかったっすね。2 号館、いいっす。あ、あと、優越感。2 号館にいます。まあ、さっきも言いましたが、距離感ですよ。いくらだって、いい授業する先生でも、質問できる先生と質問できない先生じゃ、結構、差あると俺は思うんで、という点では本当に、はい、おすすめです。再受験の方も結構いると思うんですけど、全然受かるんで、頑張ってください。





卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

|             |        |
|-------------|--------|
| 日本医科大前期     | 2次正規合格 |
| 東邦大医学部      | 2次正規合格 |
| 昭和大医学部I期    | 2次正規合格 |
| 東京医科大       | 2次正規合格 |
| 杏林大医学部      | 2次正規合格 |
| 聖マリアンナ医科大前期 | 2次特待合格 |
| 愛知医科大       | 2次合格   |
| 岩手医科大医学部    | 2次合格   |

プレッシャーがあるほうが勉強してたかもしれないです。なんかプレッシャーないと結構、その場所で安定するのを好む人間で、なんかこのぐらいでいいかなって思っちゃいやすいから。

日本医科大進学 古川 優奈 さん(田園調布雙葉高校卒)



卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

|             |        |
|-------------|--------|
| 東京慈恵会医科大    | 2次合格   |
| 順天堂大医学部     | 2次合格   |
| 国際医療福祉大医学部  | 2次正規合格 |
| 東京医科大       | 2次正規合格 |
| 東京女子医科大     | 2次正規合格 |
| 愛知医科大       | 2次正規合格 |
| 聖マリアンナ医科大前期 | 2次合格   |

ここに来てからは、戸惑ってはいなかったですね。  
これやりなさいみたいなのがはっきりしてるから、  
そのとおりにやっていった感じですね。それを  
やることで自分が、あ、これ分かるように  
なったなって思ったのが楽しくて。

東京慈恵会医科大進学 清水 遥 さん(長野高校卒)



卒業生が語る

# 合格への軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

日本医科大前期 2次特待合格  
東京医科大 2次特待合格  
北里大医学部 2次正規合格  
愛知医科大 2次正規合格  
聖マリアンナ医科大前期 2次正規合格

高校のときなんも勉強しなかった人がいきなり  
ここ来て、そんなにできるもんなのかって、  
ありますけど、いやー、でも本当にさすがに  
他人よりやりましたよ。自分で言っちゃうけど。

日本医科大進学 鈴木 孝典 君(慶應義塾高校卒)



## お名前と進学先、それとそれぞれの戦況のご報告、では、鈴木くんから、お願いします。

鈴木：あ、はい、日本医科大学に進学しました鈴木孝典です。えーっと、1次は、愛知、国際、杏林、北里、聖マ、東邦、獨協、で、えーっと、日医、順天堂、昭和と東医です。慈恵は、受けてないです。いや、ちょっと日程の重なりで受けられませんでした。いや、でもあんま2次、受かんなかったんで、やっぱ。日医と東医が特待で受かって。2次正規が、北里、愛知、聖マです。いや、全然、本当に2人のほうがすごいんで。

古川：日本医科大学に進学した古川優奈です。2次合格が日医、東邦、昭和が正規で、東医、杏林、正規、聖マリ、特待合格、あと愛知、岩手です。昭和は、えっと、特待ではなくて、次の日に、なんか2日目に補欠でもなく、特待でもなく、謎の合格でした。

清水：はい。えっと、清水遥です。東京慈恵会医科大学に進学しました。で、2次、正規が愛知、国際、女子医、東医ですね。で、正規じゃなくて補欠が、えっと、聖マと順天と、あと慈恵です。

鈴木：すごいと思いますよ。ほんと。

清水：順天堂の支払いの締切のその日に、慈恵から電話来て、ほんとビックリで、お母さんに「支払い待って！」って、だから本当に電話、来てよかったです。

古川：私は、一番最初は東医ですね。うーんと、ほとんどその、ちょうどタイミングが良くて、日医が多分、44番（補欠番号）ぐらいで来たんですよ。で、日医は来るぞってなって、その日医まで待ってたんですけど、待ちきれずに東医の補欠が回ってきたときに一回、払っちゃって。我慢できなくて、もう不安で。なんかそのとき、まだ一人も補欠回ってなかったんですよ、日医が。本当に。で、これはどうしようってなって、もう払っちゃって、日医に払って、慈恵を待ってて、来なかったから、あ、よかった、まあ、セーフだみたいな、2校、2校に払った感じですね。

鈴木：アハハハハ。だからなんかもう何も考えずに払っちゃってました、東医には。



清水：なんかすごい喜んでたよね、一緒に結果、見たんですよ、なんか。

鈴木：いやでも85（日医の補欠番号）なんですよ。なんか全然、来てもおかしくない番号だったんで。でもやっと、3月の27日に来て。たこ焼き食べてるときに、なんか母親から連絡、来て、なんか。来たよって？内心、穏やかだったかもしれないですね。フッフッフ。物理から生物に変えて、めっちゃめっちゃ不安でしたよ、正直。いや、なんかもう変えないと、もう物理、伸びる気がしなかった。アハハハハ。いやー、なんか、当時、数学がまずできてなかったんで、物理できるわけないなみたいな。化学もひどくて、39.7。でも伸びたかな、39.7の人が次、次、70.9とか、いきました。いや、なんかやっちゃったのかな。アハハハハ。勉強はしてましたよ。俺は多分、代官山の中で一番、席、立ってない自信あるよ、正直。一番、寝なかったは自信がある、それは。

鈴木：いや、まあ、でも本当に1年で終わるならって感じですよ。本当に、背に腹は代えられない感じですよ。高校んときは、頭悪かったですからね。いや、本当に。フフ。いやー、なんかもう、物理選択してたんですけど、本当にできてなくて、いやー、波動とかもちんぷんかんぷんみたいな、アハハハハ。え、なんかもう数学もよく分かんなかったです。うちの高校、受験の勉強、誰もしてないですね。なんか大学みたいな感じで遊んで、なんかもう授業も切ったりとか。いや、もうなんか朝、寝てたり、昼は遊んだりとか。

清水：なんか周りにまず私立医学部を目指す人が本当にいなかったの、ここは、なんかみんな同じ目標っていうのが、まずすごい、なんか嬉しかったんですよ。嬉しかったです。

鈴木：いやー、めっちゃ分かりますよ。誰もいなかったんで、周り、僕のクラスも一人もいなかったんで。そうですね。なんか1人で勉強してる感じじゃない？

清水：なんか、いない、いないので。そう、そう。まあ、でも私、現役のときは、あの一、私立だけじゃなかったから。いや、なんか本当に高校生のとき、すごい頭が悪かったですよ。成績もよくなくて。受験の対策はあんまりしてなかった気がします。え、なんかもう、もう代官山、来て、もうなんか一回、全部、なんか頭から消して、数学とか本当、言われたものをもう一回、最初から基礎っていうのをやり始めた感じが自分の中で結構、あって、なんかそれで結構、いろんなものを体系化できてっていうのがすごい自分で感じました。現役のとき、現役のときはその、国立のほうを第1志望にしました。私立、3校、受けました。東邦と東医と昭和です。ちょっとご縁がなかったかなって。

## 最初のクラスはみんな、それぞれどこからスタート？

鈴木：M3です、なんか夏にM2に上がった。そうなんですよ。M2に上がって、後期からM1で、ずっとM1



みたいなの。

清水：M3 です。なんか私と孝典、全部一緒なんですよ。多分、そうです。

古川：M4 です。私は M4 で、夏に M3 になって、後期から M1 です。去年、推薦、いやー、本当になんか無駄なことしたなって思います、本当に。なんかもう、つい欲が出てしまったなって。(推薦枠) 取れるってなると、つい、はい。学校の成績は、推薦、取れる成績だったから、なんか楽しようとして受けたら、あの一、駄目でした。なかったら、もしかしたら、まだ少しは希望もあったのかなって思ったりもしたけど。いや、生物とか現役のとき、自分ではできてるつもりだったんですよ。でもなんかその、1 年浪人して、もっと生物できるようになって、そのできる度合いが全然違うなと思ってて、生物。そうです、もう本当に。最初の前期の深瀧の先生の授業で、他の生物の先生もすごい当ててらんですよ。それで、全然、答えられなくて、なんか生物、得意だっていうつもりで授業を受けてたんですけど、全然、答えられなくて、それで悔しくて、その 1 学期は、なんかめっちゃ生物、頑張ってた。そうです、はい。だから、もうマンスリーで絶対、生物 1 位以外は嫌だって思ってました。なんか 2 位でも悔しい、はい。日医で、考察出たときは、あ、よし、きたみたいなの、そういう感じでいけました。日医は好きでしたね、試験内容が、はい、9 割ぐらいいいましたね。

清水：1 回目のマンスリーテストって結構、4 月のクラス編成のその人の印象が付くイメージじゃないですか、そのレベルとか。だから、あ、この人、このぐらいできるレベルなんだなって周りから一番、印象、付きやすいテストだったから、そこでなんかそんなに自分、そこまで上のレベルの人間だと思ってなかったから、なんかどうしよう、もっとやんないとみたいな感じで相当、焦って、なんかプレッシャー感じで苦しかったです、なんかちょっと。どうしようみたいな。

鈴木：アハハハハハハ。

古川：それは感じると思います、多分。あんまり喜べないです。心の底から。

鈴木：嬉しい悩みやん。

清水：なんか次が怖い。

古川：そう。次も取らないと。プレッシャーがあるほうが勉強してたかもしれないです。なんかプレッシャーないと結構、その場、その場所で安定するのを好む人間で、なんかこのぐらいでいいかなって思っちゃいやすいから。いや、もう本当にそれは現役で苦労したので、反省して、本当に。現役は、逆に違うんですよ。あの一、レベルが高い塾に入っちゃってて。鉄緑会なんですけど。行ってました。で、周りがもうみんな理 3 とか国立しか狙わない人たちばかりじゃないですか。そうすると、なんかもう解けない問題があっても、私は私大、もうずっと、私大しか受けないぞっていうつもりでいたから、まあ、私大だして思う気持ちが少しあると、なんかできなくても焦りがないんですよね、なんか、できないことに。自分で納得しちゃって。そうです。で、私は私大だから、まあ、この問題は解けなくても大丈夫かなみたいな気持ちがあったから、よくなかったですね。鉄緑って、なんか先生も国立向けの勉強しか教えてくれないんですよ。リスニングやってました。普通に、なんでやってるんだろうと思いがちでやってました。私、鉄緑、入ってるから。プライドもありました。なんかそういうプライドじゃなくて、何だろう、その一、みんなが、鉄緑なんだ、すごいねってもう、優奈ちゃん鉄緑って、学年で 1 人だけで、私だけしかなくて、ゆなちゃんは鉄緑に行っている、なんかうちの学年から鉄緑はゆなちゃんだけみたいなの感じで言われてると、なんか辞めるに辞めれなくなっちゃって、えー、どうしようって。フフフ。本当に流されやすいです、周りに。やってましたね。辞めたいとも言えずに、親に。アハハハハ。だからちょっと推薦に逃げたいっていう気持ちもあったのかもしれないんですけど。



## 1年で合格できた理由は？

鈴木：まあ、そうですね。高校のときなんも勉強しなかった人がいきなりここ来て、そんなにできるもんなのかって、ありますけど、いやー、いや、でも本当にさすがに人よりやりましたよ。自分で言っちゃうけど、これ。アハハ、ハハハハハ。生物も変えたばかりだったし…、でも何が良かったんだろうな。いや、なんかもう基本的にどのクラスも一から教えるんで、代官山って。いや、だからもう、ない状態からスタートしたんですよ。多分、偏差値的にも。そこから多分、なんかこう、教わったことを基本的に次の週か、その2週間後ぐらいには、まあ、80パーから90パーぐらい覚えてるようにはしてましたね、多分。いやー、なんかこう、結構、代官山の先生ってプリントとか配るんですけど、それはもう多分、もう3周とかでみんなが終えるところを、まあ、7周、8周とか、やってましたね、結構。7周、8周やってたと思いますね。そんぐらいやないと多分、伸びない、伸びないっていうか。代官山のテストって5月ぐらいだとまだ出題範囲が決まってるんで、化学とかそうじゃないですか。だからこう、やった内容を全部やれば一応、点を取れるようにはなってるっていうか、でも4月の段階は多分、全範囲だったよね、テスト範囲。そうじゃなかったっけ。クラス編成で。でも5月とかだと、まだなんか範囲、限られてるんで、それはでかかったかもしれないです。

清水：ここに来てからは、戸惑ってはいなかったですね。ほら、これやりなさいみたいなのがはっきりしてるから、その通りやっていった感じ？そうですね。なんかそれで結構、なんか、それをやることで自分が、あ、これ分かるようになったなって思ったのが楽しくて、で、1学期のはじめのころ化学が本当にやばいって思って、最初32点で、それまで全部、何もマンツ一取ってなかったんですけど、そこで初めてマンツ一を取ったんですよ。マンツ一取ってから、化学は本当に劇的に変わりました。化学は本当に基礎ができてなくて、なんか暗記が本当に苦手だったんですけど、基礎からすごい大量にプリントもらって。なんか1回で3時間みたいな、その時間内でもう絶対、終わらせなさいみたいな。本当に基礎なんですけど、このプリントもらって、なんか。なんか1週間に1回なんですけど、それやってたら、なんかいつの間にか、結構、暗記ものも結構、体系化して教えてくれたので、それがすごい良くて。それですごい改善しました。本当に取ってなかったら、もう慈恵にも行けなかったし。慈恵の化学はなんか考えるのが多くて、難しいんですけど、でも私、考えるほうが好きだったんで、なんかその対策も、質問に行ったりしたときに結構、丁寧に、いろいろ教えてもらって、本当に対策してもらってました。でもマンスリーとかで多分、2回ぐらい1位、取ってても、それでも全然、受かる気はしてなかった。え、本当にです。

鈴木：絶対嘘じゃん。アハハハハハ。絶対嘘じゃん。

清水：本当に、本当に、本当に。どこも去年、1次、通ってないので、それもあって本当、直前まで。変なトラウマみたいになってて、国際とか受けても、なんかあれ、落ちちゃったかもって。思ってたんですけど、まあ、実際、開けてみたら、あー、大丈夫だったって。いや、でもなんかの手違いでたまたま取れたかなって思ってたんですよ。

本番に近づくほど、受かるかなみたいな気持ちに。

自分だけ落ちるんじゃないかみたいな、え、うーん。

鈴木：周りも落ちるんじゃないかみたいな(笑)

清水：そこはないです。

古川：そうですね。でも河合で初めて私、あの一。で、C以上を見たんですよ。D、D以上かな。なんかEしか見たことなく、今まで。

鈴木：D判、取ってなかった？ なんか。

古川：え、そう、だから初めて、E以外の文字が見えたときに、あ、でも去年とはなんか違うんだな、自分っていうのが、そうです、杏林とか。聖マカ。そう、だからなんかその、自分の中では、なんかすごい受かるかもっていう気持ちはなくても、去年とは何か自分は違うぞっていうのが河合で一番、分かったなって思いました。生物だけは、74。夏ですかね。これ。第2回だ。夏です。

## マンスリーのあと、マンスリーの活用術とかありますか？

清水：マンスリーまでの目標から1日の目標を割り出して、計画立てるといいよって言って、なんかすごいそれがいいなって思って、じゃあ、やろうって思ってたんですよ。で、それ、それやると結構、落ち込んでても、なんか次、何やるべきかって。マンスリー終わった後に、なんかいろいろ、後悔、抱えながら、自習室に戻って。で、なんか取りあえず反省、書いて、ここができなかったなみたいな。で、次までにこれやんなきゃなっていう計画、立てるんですよ。

鈴木：あー。俺、反省、書いてたわ。

清水：そう、反省、書いて、やんなきゃいけないこと



を書き出して、そのその1日ごとに、この1週間までにこれやって、これやってって予定、立てて、結構、それが自分に合ってて。それやっていると、本当になんかあんまり落ち込まずに、次、次、こうしようっていう気持ちになって。はい。やってみました。

古川：私は何だろう、落ち込むと、あれ、生物やりました。なんかもう。アハハハハ。もう取りあえず、得意な生物、石原先生のマンツーマンがあって、課題がたくさんなんですよ、あの、すごいたくさんいただいて、マンスリー終わって、自己採して、はあって一息ついて、もうひたすら考察を始めて、よし、まだできる、大丈夫だと思ってました。アッハハ。取りあえず、好きなことやって。それでもうだいぶ、考察1問、解いて、よし、解けたぞってなんか気持ち明るくなるじゃないですか。そのままもう、明るいまままでやってみました。そんな落ち込みはなかったです、悪くても。

鈴木：いや、結構、落ち込んでなかった？

古川：あー、もう嫌だって口で言えば、もう全部、流れる程度。

鈴木：ハハッ。

古川：うん、もやもやは。あー、落ちた、落ちたみたいな感じで言ったら全部、すっきりするタイプの、なんか結構、簡単な人間だったからよかったです。

鈴木：まあ、なんか、真面目な話、なんか悪いところばかりじゃなくて、いいところ見つけるとかじゃん。

古川：うーん。多分、生物ができてるところがあったのが、多分、あー、もう駄目だった。でも生物はまた今回、取れた、よかったって思って、じゃあ、次、頑張ろうって。

鈴木：テストは悪かったけど、生物はやれてるみたいな感じで。

古川：うん。いいところ探しですかね。

鈴木：いいところ探し、うん、θの石井先生の授業は、マンスリーでへこんでも、俺はもう一番前で受けてました。いや、なんかもう、最初、僕が座ったら次の回から空けてくれるようになって。いや、もう真ん中ですよ。通路側の一番、ポールポジション？

古川：一つだけ空いてて、そこに1人で座ってやってみました。私たちは控えめにしましたね。

鈴木：控えめ。フッフ。

清水：あー、確かに英語だけではなくて、なんかいろんな先輩の話とかよくしてくださるので、そこでなんか、ああ、そういう人もいたんだみたいな、なんか笑ったりして、結構、うん、なんかそういう英語以外のところでも、なんかそういう刺激になった感じがします。

古川：生物の先生もどの先生にも授業中にバシバシ当てられて、だからその前日の夜とかに資料集で授業範囲のところを、最初に事前に読み込んでおいて、読み込むっていうか軽く自分である程度、内容把握できるぐらいまで読んで、そうすると次の時間、授業がその一、80分でしつた。80分。その先生が当てるから、全部、テストになるんですよ、自分の中では。で、何を当てられても答えられるぞっていうつもりで、その、誰に

当たっても自分が答えてるつもりでやっていると、その、全部、テスト感覚で受けると、できてない、覚えきれてないところとかも全部、分かるし、ある程度、内容を把握した上で授業を受けるから、すごい内容が入ってきてやすくて、それで復習は、全体じゃなくて、予習してて答えられなかった部分と、先生がプラスアルファでなんか教えてくださった内容だけを中心的になんか復習するっていうのを続けてたら、マンスリーテストが週何回もある気分な感じで、生物に関しては。だからそれは多分、伸びた原因なんじゃないかなとは思ってて

### 最後に一言なにかあれば。

古川：でもなんかすごい仲間がたくさんできた感じで、なんか今も特にM4、一番最初のクラスが本当に仲良くて、なんか今でもZoomでみんなで集まってお話ししたりとか、地方、行っちゃった子とも、その、大学、違っちゃった子とも、なんか本当につながりが強くて、だからなんか将来、医者になるときに、その、お互い助け合えるような友達がたくさんできたなって思ってて、そこは一番よかったと思ってます。

清水：なんか私は本当、環境が本当にいいなと思って、自分がやろうって思ったら、もう朝から晩まで勉強できる環境にあるじゃないですか。私は本当に寮、帰って勉強を全くしないで、もう本当に1年やったんですけど、もうそれでも全然いいぐらい、その、ずっと塾にいれるっていう環境は本当にいいと思うし、本当に私みたいに、高校のときに全然できなくっても、最初からもう一回、テキストとかちゃんとやるべきことを与えてくれるのが、本当に合格に私はつながったと思いました。去年の成績開示とかで、もう、昭和は化学、17とかでしたから。

鈴木：いや、まあ、なんか先生の指示通り動いて、で、自分に与えられた専用の課題を始末して、で、こう、勉強していけば、まあなんか、そこそこには受かると思うんで。俺、そんなに縛られて感じは全くないっす。





卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

|           |          |
|-----------|----------|
| 東京慈恵会医科大  | 2次合格     |
| 日本大医学部    | 2次合格     |
| 杏林大医学部    | 2次正規合格   |
| 愛知医科大     | 2次正規合格   |
| 聖マリアンナ医科大 | 前期2次正規合格 |
| 北里大医学部    | 2次合格     |

ちゃんと一人一人、見てくれてることが、  
すごい嬉しかった。  
先生たちも、名前を覚えてくれて、ちゃんと  
出来ないことも把握してくれてるので。

東京慈恵会医科大進学 原島弘典 君(札幌光星高校卒)



では、まずは結果報告からよろしくお願いします。

はい。原島弘典です。進学先は、東京慈恵会医科大学です。1次出たところは愛知、杏林、北里、聖マリ、帝京、東邦、えーっと、あと、日本医科大学、あと、日大、慈恵です。2次きたのが、どこだっけ。愛知、杏林、北里、聖マリ、日大、慈恵。6校でした。6校ですね。慈恵が42番でした。結構、遅かったですね。今年は…。そうですね。70人弱だったの。70、ん？73番でしたか。山内紀乃さん（東京慈恵会医科大学進学）がたしか73番目だったような…。多分、あれでラストですよ。まあ、なんで結構、下から数えたほうが早いかって感じで…。補欠の連絡が3月の16日に来ました。それまでは、まず、最初に合格した杏林に払ってたんですけど、その後、日大がきたので日大に払って、で、慈恵、多分、駄目だなと思って。で、ただ慈恵がまあ、きそうな順位だったので。途中、あ、慈恵、大丈夫かなって感じで。ハハ。ちょっと損しましたね。ハハ。しょうがないです。そうですね、まあ、1年間勉強してて、今年、“合格”は自分の最低条件だったんですけど途中、どうせ勉強するんだったら、できるだけ自分の行きたい大学とか、そういったところに行ければって思ってたんで、ま、結果は出せたかなと思ってます。

### 再受験する上で、代官山、選んだきっかけは？

きっかけは、僕、大学を卒業して来たんですよ、卒業して、就活もしてなかったの、で、いろいろ予備校選んで、何ていうんですか、予備校のこと、全然分かんないの、東京にそもそも住んだこともないです。親が札幌に住んでたの。そもそも医師じゃないし、札幌光星って、なんか、慈恵（大学）の先生にも聞いたことないって言われましたし（笑）、で、大学卒業してすぐ、何ていうんですか、予備校選ぶときにホームページ探すんですけど、いっぱいあって…。で、本当にたまたま見て、2次合格者がすごい多かったの、それで惹かれ、惹かれたという。まあ、代官山の戦略にはまったという。ハハハハ。いや、うそじゃないですよ。嘘じゃないですけど、まあ、そうですね。何か何がって、ここに来ることになってって感じですね。そのときは母親と来ました。で、すぐ決めました。

### 予備校に入ってみて、最初の印象は？

いやなんか、自習室が見えたんですけど、その時に本がびっしり並んでたのを見て、こんなに勉強するのかなと思って。それで何ていうんですか。もう遅かったし、日程も。来た日にちも遅かったの、大丈夫なのかなってというのが正直なところでした。俺、大丈夫、できるのかなみたいな。はい。いや、やっていけるかっていうよりも、そもそも合格できるのになって、こういった志で。周りの人たちのほうが、早くから勉強してるのに大丈夫なのかなってというのがありました。ちょっと遅かったから。そもそも、勉強する習慣がなかった

ていうか、まあ、何ていうんですか。こんな受験勉強する習慣ってなかったの、まず、慣れるってということから自分は始めていて、うーん、まあ、2、3週間で慣れたかなって感じです。もう、慣れたというか慣らさなきゃって感じです。無理やり。授業こなしながら慣れた感じですね。そうですね。いや、そもそもサボってる人がクラスでいなかったの。で、クラス（M1）に入ってるだけで、その、周りの人のほうが学力が高かったし、特に英語とか弱かったの、自分は英語、全然できなくて、なのでもう、私立専願の人だと、知識量が半端じゃなくて。知ってる単語の数もう全然違うの、そうですね、例えば京極君とか山田君とか、ちょっと別格だなと思いました。敵わないと思いました。ハハハハハ。もう、敗北宣言。いや、その時点でもう、英語は多分もう勝てないなっていうのが分かったの。そうですね。理数でできるだけ、食らい付きたいと思ってました。

### 医学部再受験をしようと思ったきっかけは？

いやあの、叔父も、大学卒業してから医者になってる人なんで。いろいろ話を聞いて影響を受けたんですよ。

まあそれで、もう一回、受けてみようかなと思って、うん。いや、そもそも代官山 MEDICAL がハードとか、そういう情報すらなかったんですよ。2次いっぱい受かってたから来ちゃったっていうか、そうですね。フフフ。中身がハードとかハードじゃないとかそういうことよりも、合格できるかできないかが、覚悟が必要で、何ていうんだろう、覚悟して、実際に来たらこんな大変なのって思って。アハハハハ。ちょっと面食らって。そ、そうですね。いやもう、だって周りがすごいんで本当に。だって来たら、3月の段階で自習室入ったらほとんどの人いるんで。ちょっとすごいなと思って。フフフフ。そういう経験はなかったです。で、最初は本当に何ていうんだろう。クラス、親と話したときに、クラスとか気にせず、最終的に受かればいいのかって話だったんですよ。それが、やっていくうちに、なんでなんだろう、って、本当は何ていうんだろう、とか、1つ1つ自分の中の穴埋めをしたかったんですよ、その、基礎のところから徐々に、下から、基礎からがーってやっていくのがよくて。ただ、入ったクラス（M1）で、いきなり例えば数学とかトップのテキストとかやって、英語もハイレベルなやつで、理科もそう。周りもね、できる人ばっかで、これ大丈夫なのかと思って。ハハ。うん、正直それは不安でしたね。復習とか、全く間に合いませんね。量が多いの。だから、いやもう、先生から言われた最低限のことをまずは覚えて、そして、科目によってちょっと、ムラが出ちゃうんですけど。例えば数学とか化学はちゃんとほぼ、ほぼ回せてましたね。ちゃんと復習まで。ただ、その分、他の科目、英語とか生物はできてなくて。それがまあ、見事に後半に多分、アハ、成績として出て



と思うんですけど。そうなんですけど、多分その時だともう間に合わないの。もうこのままいこうと思って。もう。間に合わないまま。はい。フフ。でも。まあ、何とかかりました。アハハ。

### 再受験でのいろいろな“壁”にぶち当たると思いますが。

自分は、いろんなミスが多くて、ま、正直へこみましたね。後期入ってから特についていうか、自分の性格かもしれないませんが、ミスの原因とかは、結構、問題を見た瞬間に思い込みが激しくて、何ていうんですか、先走っちゃうというか、最初のマンスリーとかでも、解答欄も間違え、計算も間違え、みたいな。踏んだり蹴ったりで。ハハ。でもまあその、勉強法が間違ってるのか、そういったことではないと思ったので。そのまあ落ち着いて次、取り組んだら多少、大分巻き返してきましたね。先生にも言われて、確か薄先生に言われたと思います。そもそも失敗しないほうがおかしいよ、みたいなことを確か言われたと思うんですけど。それで、実際まあ、今までの勉強は間違っていないから、そのまま継続しようと思って勉強してました。1 カ月単位で模試があるので、結構、早く回復できたという、まあスパンが短いから、本当に。3 週間後ぐらいにはもう、チャレンジするみたいな。気持ちも切り替えることができて。

で、それでただ、一番怖いのが、模試で点取れてても実際の入試で受からないことが怖いと思ったんで。それをどうするかっていうのが一番の課題で。もう、各、その、それぞれ個別に先生のところに聞きに行っ。実際その、2 次は別としてその、1 次試験のときに、どういうふうにいったらいいのかっていうのも全部、事細かに聞いて本当に戦略を立てていきましたね。各先生方と。だから、1 人でいったら受かんかった、って。無理ですね。ハハ。きつい、きついと思いますよ。無理でしたね、絶対受かんないです。ここ、代官山だけ

ら受かったと、いやそれはもう、親にも言われてるし。親にも、言われて、いやもう、こんな受からないでしょって、代官山だったからって言われて。うん。それはその通りですね。まあ 1 校。ま、再受験っていうのは 1 校受かるってのが最低条件なんで、それクリアしてたんで。あとは別に、どうなってもいいよぐらいの気持ちでいったっていうのがありますね、正直なところ。

### 再受験の 2 次試験対策は万全でしたか？

いや、2 次試験ですね。僕は面接、落とされてるので、そっちが不安だったんですよ。で、高橋先生んとこ行ってマンツー取って、なんか、本当に面接で変なこと言った、言っちゃったんじゃないかなと思って、もう急いでやってもらって、様子見て。そしたら実際、なんか「切れ、悪いね」みたいに言われて。

受け答えの。論理的ではないよね、みたいに言われて。前日までやってましたね。慈恵の前日まで。慈恵、3 日目、最後でした。3 日目ですね。慈恵に行き帰ってきた人たちと、もう会ってないので。その 2 次試験、多分、戻ってきてないと思うんですよ。あんまり勉強することがないと思うので。なので、高橋先生から聞いてましたね、もう。いろいろ不安な日々で……。結構なんか。うん。日医も、そんなに失敗してない、個人的には失敗してないと思ってました。いや、ただその、何ていうんだろう。例えばなんでもう一回、大学を受け直したのかとかは、他の 1 浪とか 2 浪の人にはないことなので。それはやっぱりちょっと、自分で考えるだけじゃなくて、それを他人に見てもらってという機会も必要だと思ってたので。で、あと小論もそんな得意じゃないんですよ。国語ができないので、あんまりうまく物事を書けたりしないので。結構、高橋先生に見てもらってました。結構、直されました。何といっても 2 次対策までちゃんとしてくれてよかったなあ、と、特に自分の場合は。その、1 次はその、勉強なんで、言ってみればもう、多分それってまあ正直、こういうこと言っていていいかわからないですけど、どここの予備校もやってる、当然やることじゃないですか、1 次。ただ、2 次は、ちゃんと一人一人見てくれて、その、特に高橋先生がちゃんと事細かにちゃんと指摘してくれることもあったので。結構、本当、先生も正直に言うんですよ。「言ってることおかしいでしょ」みたいな。その、例えば「どういう経緯で医学部にもう一回、入ろうと思ったの」みたいな。で、自分が、こうこうですって言ったら、「全然それ論理的じゃないよ」みたいなって言われて。結構、本当に真顔で言われて。で、先生に一から考えてもらったんですよ、正直。なので。いやもう、先生が、こういうふうに言った方がいいよ。みたいな感じで言ってくれたのもう、あ、そう、分かりましたって。いただきまーす、みたいな感じで。はい。そうですね。で、その、ちゃんと一人一人、見てくれてることが、すごい嬉しかった。もちろんその 2 次じゃ、2 次だけじゃなくて他の科目も、先生た



ちもね、名前も覚えてくれて、ちゃんとできないことも把握してくれてるので。その、例えば数学だったら計算遅いよ、みたいな。生物だったら覚えてないでしょ、みたいな。英語もそうですけど、覚えていないことが多いみたい、ちゃんと。しかも呼び出されたことがあって、生物は。説教というほどじゃなかったですけど。まあその、「ちゃんと覚えなさいよ」みたいな。

### 勉強のリズムとしてペースメーカーとかなにかありましたか？

科目によって、できる人のやり方っていうか、周りのメンバーを見て、メンバーの動向見てっていうか、はい、町田君が多かったと思いますよ多分、化学は。あ、数学も。他の人の動向とかすごい人を把握して、真似しようと思ってました、僕は。あの、追いつかないとまずいと思ってたので。とにかく。真似、その、勉強法であったり、それはもう自習室に、席が近ければ分かるので、大体。あと他に、移動する時とか。あと授業、授業中にその、例えば、例えば自分が解けないのに、あ、あんな問題解けるんだみたいな感じで。少人数だからできることだと思いますね。そういうのは駆使してました。人が解けて自分が解けないと、あれ？なんでできるのかなと思って。で、もう、そういうのをどんどん吸収してって感じでした。吸収する努力をしないと駄目なんですけど、例えば数学とかだと、そもそも定義から忘れていたり、例えばガウス記号とかなんかすごい忘れやすいので、あそこら辺が自分は抜けていたりして。何ていうんだろう、本当に感覚で勝負してたんですよね、全ての科目で、正直言うと。なので、それをやめて、もう、しっかりと論理的に考えるっていうのをやりましたね。それは、小論文で高橋先生が言ってたんですよね。その、論理的に考えることがすごい大事っていうのを。それを全ての科目に僕は適用してました。町田君は論理的じゃないと思いますけど、センスで頑張ってる感じなので。ただ、まあ、なんかすごいので本当に。あと、計算のスピードですね、それはもう、平野先生にも言われてたんで、遅い、って言われて。で、もうとにかく計算のスピード速くするために、例えば毎日計算するとかやりました。アドバイスもらったり、どうやったら速くなりますかとか。なんかもうやるしかないって言われて。計算練習を。なので、朝、やりましたね、来て。で、正直言うと、朝起きてやってたときもありました。まだ志が高かった5月とか6月は、正直、朝起きて積分やってたときもありました。7月は大体、6時40何分ですよ。一番早いので6時35分とか。まあ、夏なんでちゃんとやらないとみたいな。気持ちはあったと思いますね。

### 授業以外にも、先生方のところに質問とか行っていましたか？

はい、行っていました。うーん、一番よく行ったのが、薄先生とあと、英語の三ツ橋先生ですね。夏からマン

ツー取って、特に三ツ橋先生には教えてもらってました。伸びたかどうかは別として、まあ、戦えるレベル、本当に合格、食い込めるか食い込めないかにはいけたかなと思いますね、三ツ橋先生のおかげかな、絶対そうだと思います。英作文も結構、見てもらって。そうですね。で、まあ落ちちゃったんですけど、日医は。ただ、慈恵でも英作、出て、そこはちゃんと本当に書いて、本当に。英作文は比較的、書けたと思います。なんか、生物の話だったので。何とかあの、知識、うん、知識で乗り切って。そうですね。何とか頑張ったって感じで。本当に多分、今年じゃなかったら、僕は受かってないの。

石井先生のところにも行きましたね。英語、あの、シータのテキスト、分かんないところは質問とか行ったり。あと面談、石井先生の面談もあって、その、前期も後期も結構、質問行ってたかな。もちろん、そんな回数多くないですけど、シータのテキストで分からないところは必ず質問行っていました。あの、好き、自分の好きな長文があったので、それをコピーして試験会場まで持ってって読んでました。慈恵の過去問で、確かなんだろう、なんか、環境に関する話だったかな。ちょっとなんか好きな文章があって、面白かったんでそれを何度も読んでましたね。コピーして試験会場に持ってって、まあ、1冊持ってっても全部読まないの、そこだけコピーして持ってってました。でもまあ、自分を信じて、ちゃんとやれたのがよかったですかね。

さっきも言ったんですけど、緒方先生には、呼び出し1回されたかな。1回されましたよ。「なんで覚ええないの」みたいなことを言われたと思います。で、え、フィーリングが好きだからとか言ったら、言ったらもっと火に油を注ぐことになるんで、そんなこと言いませんけど、で、「覚えます」とだけ言って、なんか。ハハ。覚えれないんですよ。あの、覚える努力はしてるんですよ。その、例えば授業の合間とかに資料集を見たり、授業中に覚えようという努力はしてるんですけど、やっぱり、ちょっと厳しいというか、とにかく量が多いので苦労しました。石原先生とかにも「やばい、本当にやばいよ」みたいに真顔で言われたことありましたね。「点数がもう、やばいよ」みたいに言われて。いやその、偏差値とかじゃなくて点数。素点がやばいよって言われて。いや、何か生物から逃げてたところもあって、すぐ逃げちゃう性格で、いや、先生がちゃんと指摘してくれるので。深瀧先生に、授業中に当ててくれて、「え、おまえそんなことも分かんないの」みたいな。結構、言ってくるので。だから、ちゃんとできるだけその日に覚えようとは、覚えようというその、努力はしてました。語彙が足りないって言われて、じゃあ語彙を一生懸命、覚えました。石原先生にもあり得ないぐらいのプリント、もらって。これ、どうやん、暴力的な量なんで。できるだけ知識のところは全部やったかなって感じで。いや、そもそも自分から下さいって言って。もう、そうでもしないと覚ええないの。



### 成績のランキングについてはどうでしたか？

いや、なんかもう、何ていうんですか。すごい、意識が高い人が多いというか、敵意むき出しって言い方悪いですけど、すごい敵意むき出しというか。例えば町田君とかだと、初めてしゃべったときに、「次は1位取らせてもらいます」みたいなこと急に言われて、初対面で。初めて喋ったんですけど、で、びっくりして、あ、もうこういう人たちがばっかりなんだと思って。別に萎縮はしないですけど、高いところを目標としてる人たちが多かったので、逆にそれが自分にとって良かったですね。こんな人たちが例えば慈恵とか日医受かるんだから、この人たちぐらいできないとまずいなって思ってた。だから目標、本当に目標、ライバルとかじゃないですけど、目標としてその、実際にランキング貼り出されて、それが良かったかなと思って。僕はあんまりその、クラスがどうかは、あんまり、心配してなかったというか。その、立ち位置としてあの、分かるだけなんで。それと、受け入れちゃうほうがいいかなと思って。クラス落ちてても別にショックとかじゃなくって。そうですね。ま、M2の中にも頭いい人本当、いっぱいいるんで。

### 自分として、うまくいった秘訣みたいなのってありますか？

秘訣は、「目標」をつくること。その、受験校とかだけじゃなくて、例えば、あの人みたいに点取りたいみたいな。実際にその、目に見える、ライバルっていうか、目標といえる人がいるじゃないですか、その同じ自習室に、なので、そういった目標を立てること。あと、そういった人たちの、どれぐらいできるかっていうその度合いっていうものを見たりするっていうのが良かったかなって。あと、自習室だと、眠ってしまいそうなきときありましたけど、もう、モンスターばっか飲んで。飲んでましたよ、ハハ。あれはやばいと思いますけど。いや、ただ、周りが寝てないんでね、本当に、うん。自分だけ寝るわけにいかないみたいな。あと、まあ授業も多いんで、そもそも寝る暇もないですよ、代官山に来たら。授業が多かったのはそういう良さがあった。必要なことを、具体的な量で示してもらえて、分かるじゃないですか。授業が多いほど、こんだけやることあるんだって。例えば覚えることだってこんだけあるし、解かなきゃ駄目な問題もこんだけあるしみたいな。なので、目に見える形でその課題が増えていくので、それが良かったかなって。で、サボればサボるほど増えるし。なので、常に、勉強しなきゃ駄目っていう、サボらない、サボれない、サボれないですね。そう、サボれないっていうのが良かったかな。

### 後輩に向けて、なにかアドバイスとかあれば、いただけますか？

うーん、そうですね。まあ本当にいろんな人たちが言ってることなんですけど、先生の言うことをちゃんと、

聞いたり受け入れたりすること。そして、本当にちゃんと的確にアドバイスをしてくれるので、それで学力を徐々に伸ばしていくってことをしたほうがいいと思います。そ、そんな急激に学力って伸びないと思うんで、普通に考えて。なので、本当にちょっとずつ伸ばしてって、最終的に受かればいいぐらいの気持ちで過ごせばいいんじゃないかなと思いますね。で、あと、なんかよく言うんですけど、朝早く、朝早く来ることが大事かなって思いますね。もう当たり前…。できるだけその、やることが多いので、できるだけ朝の時間を有効に活用するのがすごい、いいかなって思いますね。本当にそれはもう、何ていうんだろう。ありがとうございますの一言に尽きるんですけど。いや本当にだって、ここじゃなかったらそんな受かってないし。1次受かったとしても2次で、落とされてるんで絶対。なので、本当にここに来てよかったなと思いますね。





卒業生が語る

# 合格への軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

|         |          |
|---------|----------|
| 東京女子医科大 | 2次合格     |
| 金沢医科大   | 前期2次正規格格 |
| 埼玉医科大   | 前期2次合格   |
| 北里大医学部  | 2次合格     |
| 獨協医科大   | 2次合格     |

私、低レベル過ぎて、医学部が  
どれだけ大変か、入るのにどれだけ  
大変かを知らなかったから。両親も  
「やばくね」って言ってましたけど(笑)。

東京女子医科大進学 松原 有希 さん(明星学園高校卒)



卒業生が語る

# 合格への軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

東京女子医科大  
金沢医科大

2次合格  
前期2次合格

夏期講習とか、自分でなんか弱い単元の  
授業とか、苦手科目も押さえて、  
結構、自習できたし、朝早く来て、  
自習時間は意外ととれたし、  
なにやるか迷わなかったし、よかった。

東京女子医科大進学 松本 莉奈 さん(秋田高校卒)



### 進学先から、それぞれお願いします。

松原：松原有希です。東京女子医科大学に進学して、で、1次は、東北医科薬科、北里、あと、東京女子医科大学、獨協、埼玉前期、金沢の前期、昭和の前期。で、2次きたのは、東北医科大学と昭和以外。5個。

松本：松本莉奈です。1次来たのが女子医と金沢で、2次もその2つです。で、東京女子医科大学に進学しました。

松原：というか、女子医多くない？代官山、12? 13人？

松本：めっちゃいるんですよ。

松原：やばくない？今年、代官山だらけ。

松本：受かり過ぎだよ。周りからよく言われるよね。「代官山の子たち？」みたいな。ウフフ。

### 代官山 MEDICAL での生活はどうでしたか？

松本：寮生活で、初めての1人暮らし、あと拘束時間っていったらあれだけど、結構朝から夜まで塾にいました、私が緩い人間なので、そうやって厳しくやってもらって、授業もめっちゃ多かったです。基礎の基礎からやる授業とか、演習とか、それになにより、マンツーマンも結構多めに入れてたんで。マンツーマンは最初生物は1週間に2回だったし、数学も取ってたし、最後のほう化学も取ってたので、めっちゃ、隙間なく。だから、自習時間が、多過ぎないから何やればいいか分からないってときがない、いい意味ですよ。だからすごいよかった。常に何すればいいか分かってた。

松原：私は、むしろ、追われてた。朝、8時までには絶対来なくちゃいけないとか、1日12時間以上勉強するっていうのを、他の予備校よりもすごい厳しくやってたと思う。

松本：なんか結構、夏期講習とか、自分でなんか弱い単元の授業とか、ピンポイントで、苦手科目も速習できたし、だから結構、自習もできたし、朝、結構早く来てたときとかも、朝もできるしみたいな。だから結構、ね、自習時間は、意外ととれたし、迷わなかったよね。

松原：私も、ここに来るまで、真っ白、なんにもやってないんで、本当に夏もそうですし、めっちゃ授業いっぱい入れなきゃ、インプットがないんで、知識が全然ないっていうか、自習時間にそんな集中がまだできてなかったの、授業を取りあえずいっぱい入れて、授業に全集中して、そこでもう全部吸収するつもりでやってました。それ、だから授業数多いのは結構良かったと思って。

松本：私、最初、生物めっちゃ本当にやばくって、最初の(マンスリー)テストが、偏差値38だったんですよ。英語も、全体で偏差値32。やばくね、よく受かったなこれって。やばいですよね。本当に、伸びしろたっぷりって感じでした。ウフフ。

松原：私もあまりにも低レベル過ぎて、医学部の、なんか、どれだけ大変か、入るのにどれだけ大変かを知らなかったから。両親も「やばくね」って言ってましたけど。高校の時から●MS行ってる。だけど割と放

置されてて、で、途中から塾もサボり気味で、全然行かなかった。マンガ喫茶に、ずっと閉じこもってました。全然伸びなくて、今更進路変えるのも申し訳なく思ってたね。浪人してから、ここ(代官山 MEDICAL)にきて、先生、先生みんな大好きだったんですよ。だから、褒められたくて褒められたくて。授業の前に、予習をすごいやってました。その時点である程度、いっぱい予習しといたら、授業で当てられても答えられるじゃないですか。で、褒められる。しかも、あの一、授業中でやる内容が復習になるみたいな。

### メンタル面は、どうでしたか？

松原：最初は、当然、本館からだったんですけど、夏から2号館に移ったんですよ、上がったんですけど、本館に友達がいっぱいいて、2号館、誰もいなくて。で、それだけでもちょっとメンタルがやられて。なんか英語が、すごいその時期、英語を詰めてて偏差値も57.5までいったんだけど、他の教科はマンスリー全然取れませんでした。

松本：私はどんどんメンタル落ちちゃって。私、多分、夏、147点(マンスリー400点満点)のときなかったですか。これは言いたかったんですけど、2号館から本館に落ちたときはメンタルめっちゃきました。夏すごい、自分的に頑張ろうって気もあって、朝も2号館で1番とかに来てたんです、5時50分とかに。夏はA3だったんですけど、すごいA3のメンバーが夏頑張ろうみたいな。例えば吉住(吉住拓真：獨協医科大進学)とか、古川(古川遼：東海大医学部進学)とか、みんな早く、6時とかに来てて。あと寺崎君(寺崎巧：東北医科薬科大医学部進学)とかも早く来てて。じゃあみんな頑張ろうみたいな感じで、私も早く来て、すごい朝から、夏だからなんか、めっちゃ頑張ってたのに、そしたら147点取っちゃったから、すごいメンタルきて、もう。そこら辺、あの～、放浪した。代官山のあたり。もう何も持たずに、もう、やめたいと…。本当に、え、もう、







受かる見込みなくなっちゃって。思っちゃ駄目なんですけど、思っちゃって。しかも、結構夏、A3のメンバーがすごい飛躍したりして、すごい上に上がったんですよ、次に。みんなA3からM5とかに、グイって上がったのに、自分だけめっちゃ悪くって。すごい落ち込みましたね、その時は。だから本館に下がって、6月ぐらいに落ちた奥村（奥村美夏：東京女子医科大進学）とか、あと一緒に落ちちゃった草野（草野真理：東京女子医科大進学）とかがいたんですけど、その3人とかで、よく、朝早く来て、いつもJ教室で3人で、しゃべって…。

松原：やってたね、見たわ（笑）。

松本：朝も、いろいろ、一緒に落ちてきた草野とかとも、いろいろ話してもらって。なんか、友達に助けられたって感じ。1人も本当にいなかったら、多分、本当に病んでたと思う。あと何だろう、いろんな先生とかにもいろいろ心配された？その時期。みんなすごい励まされたじゃないけど、やっぱり石原先生とか山崎先生とかは、よく、ずっと春から、4月からマンツーマンやってもらったんで、そこですごい、いろいろメンタルケアじゃないけどしてもらったりとかして。すごい励ましていうか。

まあ、やるしかないなって。ここで本当に諦めたら、本当になんか負けみたいな。まだ、何月だっけ。8月じゃないですか。8月だから、ここであきらめてもなと思って。ウフフ。

松原：受験生のメンタルってマジでもろ過ぎて。私、右と左分かんないだけで泣きましたもん。オガティ（緒方先生）の小テストで、グラフが右にずれるとか、左にずれるとかのやつで、右と左さえ間違えなければ、私の中では理解できてた問題だったのに。その後の授業に出ても、もう泣いちゃって、なんか怖くて。そういう時、理由は言わないでただ事務さんに泣きついてました。

### そして、合格の通知来た時ってどうでしたか？

松本：本当に受かるって思ってなくて。最後まで。親も全然。なんかもう普通に、来年度どうするみたいな（笑）。

女子医が一番最初の一次で、金沢の前期の入試終わって、2時ぐらいに終わったんですけど、その会場でお母さんから喜びのLINEが来て。めっちゃ嬉しかった記憶があります。本当に感謝してるのが、私、女子医受けるつもりが本当になくなって、あの、これ、まじ学費のこともあって、本当に私受けませんって言って、この獨協二つで出してたんですけど、石井先生と面談、親と面談するじゃないですか。そのときに、やっぱり受けたほうがいいみたいな、結構言われて。あ、じゃあ分かりましたって言って受けて、今、進学してるんで。本当に感謝してます。

松原：私も、女子医の会場で、試験全部終わったあとに、出口、出るときってちょっと整理があって、待つじゃないですか。その間に、こうやってこうやって見て。フッ。めっちゃ嬉しくて、めっちゃ震え上がりました。

松本：自分の番号があるみたいな。間違いないかな、とか。フフフ。

松原：うん、めっちゃ思った。何回も確認して、で、何回も合格だったから、ハハハ。本当に嬉しかったです。それから、あの、全部いい方向に。メンタルも勉強も、なんかどんどん、どんどんいい方向に。人生で一番嬉しかった。なんか、ここ（代官山 MEDICAL）に来て本当に良かったと思いました。一気に集中型で、がーって詰め込んだんで。

### 合格のための秘訣ってなんですか？

松原：なんかルーティーン、受験のときも、全部いっぱいルーティーン決めて、やってました。例えば、朝は、マジでお気に入りのアイシャドウ。あと、同じシャー

ペンとか使うとか。いっぱい決めてました、決め事を。  
松本：私は普通に、同じ時間に寝るとか。寝るのは結構ロングスリーパーだったんで、11 時ぐらいに寝る。えっと、多分、9 時とかに終わって、色々やってたら 9 時半じゃない。で、11 時だと結構早いほうだと思うんですよ、代官山の中で。11 時には寝る。寝て、朝は普通に 6 時とかに起きます。同じ時間に寝るのは、結構本当に大事だった。

松原：あと、秋にやる面談のアドバイスはマジでちゃんと聞いといたほうがいいし、ここで言われたことちゃんとやれば大丈夫ってメンタル戻せたのは大きかった。最初は北里と女子医と昭和は受けるつもりなかったけど、アドバイス聞いた通りに受験して全部受かったし。受験終わってみると、メンタルマジで強くなりました。

### 後輩のためにアドバイスはありますか？

松原：私は、夜の睡眠以外で寝るのが一番悪だと思ってます。あの、授業中とか、自習中も、たまにだったらまだいいですけど、寝てる科目伸びなかったし、寝たとき成績下がったし、しかも、なんか寝るのって、罪悪感は薄いんですよ、めっちゃめっちゃ。はあ、ちょっと寝ちゃったわみたいな。携帯いじるとかよりも、全然罪悪感が薄いから、その分、頑張ろうとかなんないから。そう。だから、寝るのは本当にやめたほうがいいと思う。どうしても眠かったら、取りあえずもう歩く。後は、先生になんか質問を絶対見つける。もう、どうでもいいのでもいいから。

松本：私は…うーん、まず何だろう、例えば、単科とかで、最初の 2 コマ出て、2 コマ切る人とかいるじゃん。やっぱりそういうのは、本当にやめたほうがいい。授業、切らない。当たり前なんですけど、まあ、そうやって結構サボってる人で受かったっていうのがいないし、めっちゃ何年も浪人してる人っていうイメージだから。お金を払ってもらってるんだし、絶対切らないっていうの。あと、頑張ってるメンタルは自分で保つ、なんか、

やっぱ上のクラスの人たちとか見てると、すごい、やっぱりこう、圧、圧じゃないけど、こう、引いちゃうくらい強い。下のクラスだからって上に受からないわけじゃないじゃん、意外と。なんか、私は最後 A4 だったけど、普通に A2 だから私よりすごい受かるってわけでもないし。だから、そういうところは全然引け目とか感じないで、自分だけ見て、なんか周り気にし過ぎないで頑張ってるほしいなって思います。

松原：代官山が無かったら、本当に、あの、そもそも受験できるスタートラインに立てなかったと思うので。だから、絶対諦めて違うところ行ってるか、もうずーっと、何十浪もしてるかもしれないので、ここに出会えて良かったと思います。

松本：まあ、でも私も多分、代官山じゃなかったら、本当に受かってなかったなって思ってた。普通に授業のカリキュラムとかもだけど、先生とか、そのマンツーマンとかで、すごい、もう先生とかにいっぱい質問できる環境とか、そういうのはすごい、本当に良かったなって思うし、石井先生とかとも、塾長と関わるってあんまり、他の塾では無いっぽいですけど。石井先生は、一人一人名前とか性格も覚えてるし、だから、ちゃんと見てくれてるんだなっていう、そういう先生との距離も近いから、実家とかじゃなかったけど、1 人じゃないっていうか、ちゃんと応援してくれてる人いるっていう、そういうのが良かったなって感謝しています。





卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

愛知医科大

2次合格

1年目はスタートがやっぱ、  
バカだったのもあるし。2年目のほうが、  
ちょっと心に余裕を持ってましたね。

愛知医科大進学 杉浦 るみの さん(秀明高校卒)



卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2021年

WAY TO SUCCESS

獨協医科大  
金沢医科大  
埼玉医科大

2次正規合格  
前期2次合格  
後期2次合格

私は代官山に来て良かった。  
本当に先生たちが大好きで。ハハハハ。

獨協医科大進学 盧 雛乃さん(西武学園文理高校卒)



**それでは、今年の結果とここに来るまでのきっかけなど、それぞれお願いします。**

盧：盧雛乃です。1次が来たのが、獨協と金沢と埼玉後期で、2次は全部来ました。獨協は正規です。金沢は、補欠81番で、埼玉後期は8番です。31日に来ました。

杉浦：よかったよね、本当、来て。

盧：はい、私はえっと2年前に、あの昭和に行った河野君(昭和大学医学部進学:河野有哉)から紹介してもらって来ました。前の予備校で知り合いで知り合って、で、メディカ●●ボです。私が1浪んときに彼がここに来て、受験が終わった後にまた会って。で、代官山なら、受かるかもしれないからつつて薦められた、薦められました。フフフフ。

杉浦：えと、私は、現役んときに、何だっけ、攻略本もらって受験会場で。見て、いいなって思って。で、あと、家庭教師で須藤幹君が見てくれてたんで、須藤、この卒業生、家庭教師だったんですよ。家、2軒隣で。ハハハ。幹君(東京医科大進学:須藤幹)が薦めてくれたんで。フフフ。そうです。それで来ました。ここきたとき、須藤君も全然だめだったって聞いてたし、うん。盧：ここ来て、授業とかレビューとか多かったけど、なんか前にマンツーマンだけ、ずっと個人、マンツーマンのだけの塾だったんで、なんかうれしかったです。

### 合格の秘訣は？

盧：私は結構、先生ありきというか、先生の存在が結構、大事だったりして。マンツーマンを取って、その先生にめっちゃ質問行って、自分の中でこう問題解決して、吸収してっていうのもそうだし、メンタル面もいろいろ話したりとかして、なんかこう、勉強面も向上できたし、なんかメンタルも結構保てたから、先生との時間が多かったから受かった、っていうか。中村先生、太郎推し。なんかでも私は2年間ずっと太郎先生のマンツーマン取ってて。とにかく太郎先生がいなかったら、2年目ここでやろうと思えなかったぐらい結構、支えてもらってたかなって。

杉浦：感動すんだけど、なんか。

盧：でも、なんかまあ一つのきっかけでもっていうことで考えると、やっぱ先生、太郎先生がいたっていうのは結構、大きかったなって。あの本当に、全く否定しないでなんか、一つのいいところを毎回、こう褒めてくれるというか。なんかマンスリー1年目は一回も平均越えなかったけど。ハハハハハ。今回はここができるようになったから、次はここできるようになろうとか、そういうなんかプラスなことを言ってアドバイスしてくれるから、次も頑張ろうと思えたし。なんか2年目は結構、1年目よりは厳しくて毎日すごい難しい数Ⅲとかプリントを専用に、私専用に作ってくれて、それを毎日ついて、なんか分かんなかったら、もう結構、毎日いつも行って、ここはこうだああだっていって。

杉浦：太郎先生がいる日、絶対、行ったもんね。

盧：絶対行って。

杉浦：でもさ、行ったときにさ、深井君(東京慈恵会医科大:深井悠介)が質問してて行けなかったときとかあった。

盧：でも深井君が頑張ってるから、私もやんなきゃいけないとか思ったし。もっと頑張んなきゃいけないと思うし、そのおかげでマンスリー載ったりとかもしたし。安定したから、なんかそれぐらいしつこく行くのは、なんか自分のためだったから。

杉浦：私は、本当に良平先生が、ハハハハハ。良平先生がもう最高でした。なんか、え、何だろう。私、文法めっちゃ嫌いで。なんか文法はなんちゃら法とか、なんか漢字で勉強するのめっちゃくちゃ嫌いで。雰囲気教えていうか、英会話とか結構やってたんで、秀明で。なんちゃら制限法みたいな、なんたら倒置法みたいななんか、めっちゃ漢字のなんか日本語っぽい教え方だと、本当に分かんなくて。なんか良平先生、なんか私がそのなんちゃら法みたいな分かんないやつとか持ってくと、めっちゃ、こういうときに使うみたいな例文みたいな、わあって書いて、めっちゃ分かったんですよ。もうなんか英単語とかも、なんかもう、わあって分かんないやつ書いたら、この似てるやつ、似てる語感とかのやつ、ばあって書いてつながって、もうどんどん覚ええましたね。もうすごいです。それで、全く知らない単語見ても、なんかその構造見れば意味、大体、推測できるようになって。こういう意味かなと思ったら当たったりして、何となくでも。良平先生は、教え方とかが自分に合ったっていうか、人間的にも。でも、いいなと思ったのは受験期に全くなにか私に、なんか今どうなのとか聞けなかったんですよ、先生。なんか会ったときも、その取りあえず、その勉強と関係ないことを話してくれて。結構、受験期メンタル、ちょっとメンタルっていうか、なんか嫌だったんであんま言われるの、どこ1次来た?とか。だから何も言わないんで。なんかすごい話しやすかったし、良かったですね。良平の授業のなんか、M4のときなんか、余計なこと、





あんまなくて。ぱっぱって進むんで。たまに入る雑談が、なんかもう誰得みたいなの(笑)、なんか、オチもよく分かんない誰得情報な、なんか雑談が入るのが面白かった。あ、あと、三ツ橋先生も、めっちゃ好きでしたよ。

盧：じゃあ良平だけじゃないじゃん。あ、似てるな。あの2人。

杉浦：三ツ橋先生も、もう最高でした。

盧：ああ、ブルドーザー。

杉浦：もうなんか、あの、ぼんってたとくと、ブボボボって出てくる感じが、めっちゃ良かったです。

すごいなんか、処理がすごい。処理。スピードがすごい。添削とかしてもらって結構良かったです。でも、難、難民、英語難民だったら、ちょっと良平はきついかもしれないけど。

盧：きつい、きつい。あの、三ツ橋先生は大丈夫だと思います。

杉浦：英語難民の子とか取ってた子、いたんですけど、ちょっと無理みたいなの。

盧：千葉ちゃんは英語だけ、なんか他、すごいできるから、なんか英語で結構、大変そうだったけど。でもなんか彼女なりに頑張ってた。

### 昨年と比べて、勉強法とか、最も変わったところは？

杉浦：一番変わったところは、代官山は、小さくクラスが分かれてて、なんかレベル、自分のレベルっていうか、その全体の中での自分の位置が分かったこと、良かったと思います。●一マス、分かんないですね、模試みたいなのあるんですけど、外部の人も受けるし、なんか順位とか出るんですけど、ちょっとよく分かんなくて。フフ、何がよく分かんないの、なんか気まぐれで取ってる人とかもいるかもしれないし、(ここだと)ランキングとか、毎週、毎月、ばあって名前が出ると、

ああ、あの人やってたからなみたいなるじゃないですか。毎日見てる人の行動とその成績が連動してるっていうか、代官山は。●一マスだと名前とかは出ないんで、なんか緊張感もないし、まあいっかなみたいなの感じだった。マンスリーは名前が、貼り、貼り出しは意識してた、英語だけは絶対、載ろうと思ってました。なんか石井先生になんか、何だっけ。ランキング 1 桁じゃないと得意って言っちゃ駄目だよみたいなの言われて、ずっと 1 桁を狙ってました。3 位とか。ありました。8 月、なんか偏差値が一番、高かったやつ。

盧：なんか、去年は自分はやってる方だと思い込んでいて、周りよりもやってるって思っていたけど、今年になって、やっぱもっとやんなきゃいけないなって。化学は割とできるほうかなって思ったけど、でもなんか質問されると全然、答えられなかったりとか、渡された問題の解説を、なんかここはどういう解釈とか聞かれても答えられなかったりとかしたから、なんかそういうのを鍛えてもらったなっていうところかな。で、いっぱいプリントもらって、それをとにかく解いてました。で、化学はテキストも何回も解き直して、理解を深める。ただやるんじゃないって、ここはこういう意味だから、こういうふうに計算してとかをいちいち考えながら。で、それが分かんなかったらノート見返して、そこにメモし、こういう理、こういう解釈っていうのを必ずメモして復習ノートとかにしたりしてました。

杉浦：1 年、1 年目はスタートがやっぱ、バカだったのもあるし。2 年目のほうが、ちょっと心に余裕を持ってましたね。なんか 1 年目、まあ 1 年目のほうが多分、朝とか早かったし、あれだったんですけど、2 年目はもうなんか、なんかストレスためないことだけ考えて。なんか朝遅くても、その駄目だ駄目だと思うと、もっとなんか嫌んなるんで、なんかもう開き直って、もう今この時間に来たから、なんだろ休み時間ちょっと頑張ろうみたいな。きょう、しゃべんないようにしよう



とか、は思っていました。でも、あんまなんか自分、責めると悲しくなっちゃうんで、あんまりしてなかった。フフ。悪い点取っても、やっちゃったあぐらい、はい。結構ゆっくり、うん。好きなようにしてました。朝は、ハハハ、パン屋さんでパン買って食べたりしてました。フフ、のんびりしてた、ハハハ。でもまあ、謎にやる気があるときは、めっちゃ早かった。頑張ろうみたいな思ったときは、なんか一時期、絶対に前の日より1分でも早く来るってやった時期があって、そのときは一気に早くなりましたね。1人、1人でチャレンジして、なんか後藤君がなんかいるんですけど絶対、早いんですけど、私が行くとなんか「昨日より早いじゃん」とか褒めてくれて、そう。めっちゃ。うれしかったです。

### 後輩たちに、アドバイスなどあれば。

盧：私はまず、やっぱり生活リズムをしっかりするのは大事かなと思っていて、私は6時半に来て、数学の積分とグラフ書いて。ウィークリーの英語の文を覚えるやつ、をやるってのは必ずやってて。で、そこからその数学の予習とか復習とかマンツールのプリントとかをやるとかを決めてやってたりとかして。その朝のルーティンをちゃんとつくったほうがいいっていうのは大事かなと思って。あと質問行くのが、やっぱりなんか行きづらい人とかもいるかもしれないけど、質問に行くことで、結構、分かんなかったところがすぐ分かるから時間も無駄にならないし、ちょっと人に話すコミュニケーションをすることで結構メンタルもなんか安定したりとかもすると思うから、なんか質問たくさんして勉強面もメンタル面もなんか向上させるっていうのは、いいかなと思う。あと石井先生の授業、絶対、前に座ったほうがいい。私も一番、私は絶対、一番前の真ん中に座ってて。毎回当ててもらって、私の予習の和訳に対して結構いろいろ言ってもらって。で、なんか。杉浦：いろいろね。

盧：それで結構、なんか病んだりとかなんか。や、や、なんか、「きょうはなんか初心者」って言われたとか結構、あった。「初心者の英語です」とか言われてた。なんか、でも褒めてもらったときもあったりとかして、いろんな波があったけど、でもなんかそこで得るものが多かった。

杉浦：いや、私も前、結構、座ってたんですけど、めっちゃ当ててくれるんで。いや、当たんの、まあ、でも、やだっちゃやだだったんですけど。でも当たったら緊張感が全然、違って。私、途中から2、2列目になったんですけど超、気抜けて。もうなんか、ああ全然、違うわって思いました。超、気が楽になっちゃいました。なんか全然、当たなくなつて。なんか、だらあんって感じになって。ああ、前、違うんだなみたいな思って。前、良かったです。

盧：予習をなんか当てられるって分かっているから絶対、予習を完璧に、全力出して予習の和訳つくっていくってのが基本トレーニングになったし。そう、なんか毎回、

緊張感があるから、あの入試の情報の細かいところとかマンスリーとか戦略とかの話も。

杉浦：授業で、訳やってくださいって言われて失敗すると、めちゃうちゃ恥ずかしくて。なんか「杉浦さん、ここの訳はもっとこうやって訳さなきゃ」みたいに言われて。もう、はあ、はあ。石井先生になんか言われると、ちょっとやだ、やだから頑張ってた。ちょっとやだった。でもいいんですけど。石井先生、結構、仲良かった、仲良くなれたんで。あの一番、前、座ったんで。いじられて、仲良くなれたんで、良かったと思います。

盧：いじられたほうだね。結構ね。うちらは。

### 今年の受験勉強を振り返って

杉浦：なんか、あんまり、何だろ、何て言えばいいの。受験期に、その帰り道とかに代官山生としゃべってて、なんかマンスリーで一喜一憂してた自分たち、ばかだったねみたいな話したんですよ。なんか受験は、めっちゃもうその毎日その、何ていうの、毎日あるじゃないですか、チャンスが。それに。マン、マンスリーとかクラス分けとかで、なんか、わあとか言ってたの、めっちゃ昔のことみたいに感じて。結局その1次受けたら、その何ていうの、受かる人は受かるし、駄目な人は駄目だし。ばって結果出るんで。なんか普通に自分ができないことをなくすことだけ考えて、あとはあんまり自分を追い詰め過ぎないで、なんか気長にやったほうが、私はなんか、今年も今年っていうか全然、去年のほうが結構メンタルやばくて、なんか友達とかも、あんまり友達できなくてあれだったんですけど、今年はみんななんか平和に過ごせたし。なんかメンタルも全然、病まなかったんで結構よかったと思います。

盧：私は代官山に来て良かった。本当に先生たちが大好きで。ハハハハ。

杉浦：でもなんかな。でも本当にマンツールの先生たちが良かったし。

盧：ハハハ。めっちゃ支えてもらってたのもあるし、



周りの人たちに支えてもらって、なんか泣いたり、結構泣いたりとかいろいろあったけど、何だかんだ。

杉浦：仲間が良かったよね、みんな。

盧：みんな支え合って、ちゃんと受験乗り越えられたから、すごい代官山来て良かったし、今でも代官山生と仲いいぐらい、代官山愛が強い。

杉浦：愛知医大の子とかよりも全然、仲いいし。なんか全然。なんか愛知医大の子たち、まず会わない。リモートなんで。なんか全然、代官山生のほうが、ウエーイって感じ。何でも話せるみたい。ハハハ、え、でも本当に何だろう、友達とかは、なんかちょっと選ぶっていうのは、あれなんですけど、なんかちゃんと（勉強）やってる友達と関わったほうがいいなと思いますね。A6 んときとか、なんか、ダレ過ぎて、周りに流され過ぎて、あれだったんで。でも、M4 になって、みんな真面目にやってるっていうのも、あったんですけど、やっぱり真面目にやってる子たちと一緒にいれば、なんか自然と、会話も休み時間の会話とかも頭いいんですよ。なんかちょっと、その A6 とかにいた頃はすごい変な、なんかそのくっだらな話ばっかしてたんですけど、M4 のときはめっちゃみんな話、勉強のこととか、もうなんか、全然違う、真面目で。最初の授業かなんかのときに、予習これどうやって解いたみたいな話始めてみんなが、A6 のとき、こんな話したことないと思って、私びっくりしちゃって、去年一回もしたことないなと思って。だから、ちょっとそういうところも良かったです。みんなで予習どうやって解いたとかを話して、あ、そうやって解く人もいるんだって。なんか感動したりとかしたんで。